

LP-M720F

リファレンスガイド

マークの意味

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見誤って誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。



使い方のヒントや注意していただきたいことを記載しています。

掲載画面

- ・ 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。Apple、AppleTalk、Mac、Macintosh、Mac OS、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、PostScript は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- ・ 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

ソフトウェア使用許諾契約書	10
1 Mac OS X での使い方	30
プリンタードライバーの動作環境	31
プリンタードライバーのインストール	32
プリンタードライバーのインストール	32
プリンタードライバーのアンインストール	33
Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合	33
Mac OS X 10.5/10.6 の場合	34
プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.3.9)	35
USB 接続の場合	35
ネットワーク接続の場合	37
AppleTalk 設定	37
IP プリント設定 (LPD 設定／IPP 設定／ポート 9100 設定)	38
Rendezvous 設定	41
プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.4)	44
USB 接続の場合	44
ネットワーク接続の場合	46
AppleTalk 設定	46
Bonjour 設定	49
IP プリント設定 (IPP 設定／LPD 設定／ポート 9100 設定)	53
プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.5/10.6)	59
USB 接続の場合	59
ネットワーク接続の場合	62
AppleTalk 設定	62
Bonjour 設定	65
IP プリント設定 (IPP 設定／LPD 設定／ポート 9100 設定)	68
オプションの設定	73
Mac OS X 10.3.9 の場合	73

Mac OS X 10.4 の場合	74
Mac OS X 10.5/10.6 の場合	76
ページ設定画面の設定	78
[ページ属性] メニュー	79
カスタムページサイズの設定	79
プリント画面の設定 (Mac OS X 10.4)	81
プリント設定のメニュー	81
共通のボタン	82
[印刷部数と印刷ページ] メニュー	83
[レイアウト] メニュー	84
[スケジューラ] メニュー	85
[用紙処理] メニュー	86
[ColorSync] メニュー	87
[表紙] メニュー	87
[エラー処理] メニュー	88
[給紙] メニュー	88
[カラーオプション] メニュー	89
[カラー詳細設定] / [イメージ]	90
[カラー詳細設定] / [テキスト]	91
[カラー詳細設定] / [グラフィックス]	93
[カラー詳細設定] / [シミュレーション]	94
[プリンタの機能] メニュー	95
[サプライのレベル] メニュー	95
[一覧] メニュー	96
プリント画面の設定 (Mac OS X 10.5/10.6)	97
プリント設定のメニュー	97
共通のボタン	98
[レイアウト] メニュー	99
[カラー・マッチング] メニュー	100
[用紙処理] メニュー	100
[給紙] メニュー	101
[表紙] メニュー	102
[スケジューラ] メニュー	103
[カラーオプション] メニュー	104
[カラー詳細設定] / [イメージ]	105
[カラー詳細設定] / [テキスト]	106
[カラー詳細設定] / [グラフィックス]	107
[カラー詳細設定] / [シミュレーション]	108
[プリンタの機能] メニュー	109
[サプライのレベル] メニュー	109
[一覧] メニュー	110
スキャナードライバーの動作環境	111
スキャナードライバーのインストール	112
スキャナードライバーのインストール	112
TWAIN ドライバーからスキャンする	113
基本スキャン	113

Network Utility について	113
スキャナードライバーのアンインストール	116
トラブルシューティング	117
2 NetWare での使い方	119
NetWare による利用	120
NetWare 環境でのネットワーク印刷方法	120
NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンターモードの場合	120
NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバーモードの場合	121
NetWare 4.x リモートプリンターモード (NDS) の場合	122
NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバーモード (NDS) の場合	123
NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合	124
NetWare サーバーを使用するときのクライアント (Windows) の設定 ...	125
3 Local Setup Program (LSP) の使い方	127
Local Setup Program (LSP) について	128
LSP の動作環境	129
LSP をご使用になる前に	130
LSP の起動	130
LSP 画面	131
LSP の操作方法	132
本機に接続する	132
本機から登録内容をダウンロードする	132
本機へ登録内容をアップロードする	132
ダイアルのインポート/エクスポート	132
ダイアル登録の設定	133
短縮ダイアルの登録	133
短縮ダイアルの登録 (ファクス/メール)	134
ファクス登録	134
メール登録	134
短縮ダイアルの登録 (FTP/SMB)	135
FTP 登録	135
SMB 登録	136
短縮ダイアルの編集	137
短縮ダイアルの削除	138
グループダイアルを編集する	138
常用の登録	138
短縮ダイアル、グループダイアル、常用の印刷	140
本体情報の確認	141
トータルカウンターの確認	141
設定概要の確認	141
LSP のアンインストール	142
トラブルシューティング	143

4 ネットワーク設定メニューについて	144
ネットワーク設定メニュー	145
設定メニューの構成	145
ネットワーク設定メニューの表示	151
ネットワーク設定メニューの設定項目	151
TCP/IP	152
IP アドレス設定	152
DHCP	154
BOOTP	154
ARP/PING	154
HTTP	154
FTP サーバー	155
FTP 送信	155
SMB 宛先	155
BONJOUR	155
ダイナミック DNS	156
IPP	156
RAW ポート	156
SLP	157
SNMP	157
WSD 印刷	158
WSD スキャン	158
IPSEC	158
IP アドレス フィルター	158
IPv6	159
NETWARE	160
APPLETALK	160
SPEED/DUPLEX	160
IEEE802.1X	161
5 ネットワーク印刷	162
ネットワーク接続	163
概念図	163
接続方法	163
イーサネット接続の場合	163
DHCP を使用する場合	163
アドレスを手動設定する場合	164
ネットワーク印刷	166
AppleTalk	166
Bonjour	166
BOOTP	167
DDNS (Dynamic DNS)	167
DHCP	167
FTP	167
HTTP	167
IEEE802.1X	168

IPP	168
IPsec	168
IPv6	168
IPX/SPX	168
LLMNR	168
LLTD	168
LPD/LPR	169
SLP	169
ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト	169
SMTP	169
SNMP	170
Port 9100	170
WSD プリント	170
IPP (Internet Printing Protocol) 印刷	171
Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合	171
[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows XP/ Server 2003 の場合)	171
[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows Vista/ 7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合)	173
Web サービスプリント	176
Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合	176
ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる	176
ネットワークウィンドウからプリンターを追加	178
プリンターの追加ウィザードでプリンターを追加する	181
本機へ接続後にドライバーを更新する	186
サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応	188
追加ドライバーのインストール方法	188
トラブルシューティング	192
 6 EpsonNet Config の使い方	 193
EpsonNet Config について	194
表示言語	194
動作環境	194
本機内蔵 Web ページの設定	196
本機の名前の設定	196
Web ブラウザーの設定	196
Internet Explorer (Windows 版バージョン 6.0)	197
Mozilla Firefox (Mac OS X 10.6 バージョン 3.6)	197
EpsonNet Config ウィンドウについて	199
操作方法	199
ステータス表示	200
ログインの方法	201
ログイン画面	201
言語設定	201
パブリックユーザーモード	201
レジスタユーザーモード	201

管理者モード	202
本機の状態の表示	203
[システム] タブ	203
[デバイス情報]	203
[カウンタ]	208
[オンラインヘルプ]	209
[ユーザー認証]	209
[ジョブ] タブ	211
[処理中ジョブリスト]	211
[処理済ジョブリスト]	211
[処理済ジョブリスト] (詳細)	212
[プリント] タブ	212
[デフォルト設定]	212
[フォント / フォーム]	219
[レポート印刷]	220
[ダイレクトプリント]	220
[スキャン] タブ	221
[常用]	221
[短縮ダイヤル設定]	221
[グループダイヤル設定]	222
本機の設定	223
[システム] タブ	223
[デバイス情報]	223
[カウンタ]	230
[オンラインヘルプ]	231
[インポート / エクスポート]	232
[認証]	233
[日付 / 時刻]	235
[管理者パスワード]	237
[設定の保存]	238
[マシン設定]	238
[ROM バージョン]	240
[メンテナンス]	241
[通知先設定]	242
[ジョブ] タブ	244
[処理中ジョブリスト]	244
[処理済ジョブリスト]	245
[プリント] タブ	246
[ローカルインターフェース]	246
[デフォルト設定]	247
[フォント / フォームのダウンロード]	260
[スキャン] タブ	263
[常用]	263
[短縮ダイヤル設定]	265
[短縮ダイヤル登録] (Scan to Server)	269
[グループダイヤル設定]	275

[ファクス設定]	276
[相手先リストのダウンロード／アップロード]	285
[ネットワーク] タブ	285
[TCP/IP]	285
[Bonjour]	297
[LDAP]	298
[Web サービス設定]	301
[LLTD]	302
[NetWare]	302
[IPP]	304
[FTP]	307
[SNMP]	308
[AppleTalk]	311
[E-mail]	312
[SMB]	316
[SSL/TLS]	316
[認証]	322

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはセイコーエプソン株式会社（以下、「エプソン」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをエプソンにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
 2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
 3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するとき限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
 4. 本契約の元、お客様はライセンサーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限りです。
 5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
 6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
 7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全てエプソン及びそのライセンサーに帰属します。
 8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
-

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. エプソン及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。エプソン及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. **Notice to Government End Users**（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）**The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.**
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

本製品には、第三者より作成された以下のソフトウェアコンポーネントが搭載されております（以下、当該ソフトウェアコンポーネントを作成した第三者を、作成者といいます）。これらのソフトウェアコンポーネントには、一部セイコーエプソン株式会社またはその業務委託先による改変部分が含まれております。

ソフトウェアコンポーネント

- (1) OpenLDAP
 - (2) Cyrus SASL
 - (3) Kerberos
 - (4) Open SSL
 - (5) Open SLP
 - (6) Bonjour
 - (7) SMB
-

これらのソフトウェアコンポーネントについて、作成者は、明示または黙示を問わず、いかなる保証（商品性、特定の目的に対する適合性、第三者の権利を侵害しない旨の保証を含みますがそれらに限定されません。）もいたしません。また、作成者は、これらのソフトウェアコンポーネントの使用に関連して発生する直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、逸失利益などの派生的損害を含め、一切の損害について責任を負担いたしません。これらのソフトウェアコンポーネントの使用許諾条件は、それぞれ以下のとおりです。

(1) Open LDAP

The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

(2) Cyrus SASL

CMU libsasl

Tim Martin

Rob Earhart

Rob Siemborski

Copyright (c) 2001 Carnegie Mellon University. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For permission or any other legal details, please contact

Office of Technology Transfer
Carnegie Mellon University
5000 Forbes Avenue
Pittsburgh, PA 15213-3890

(412) 268-4387, fax: (412) 268-7395

tech-transfer@andrew.cmu.edu

4. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (<http://www.cmu.edu/computing/>)."

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

(3) Kerberos

Copyright and Other Legal Notices

Copyright (C) 1985-2007 by the Massachusetts Institute of Technology. All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Individual source code files are copyright MIT, Cygnus Support, Novell, OpenVision Technologies, Oracle, Red Hat, Sun Microsystems, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (MIT). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of MIT.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the MIT trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

Portions of src/lib/crypto have the following copyright:

Copyright (C) 1998 by the FundsXpress, INC. All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of FundsXpress. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. FundsXpress makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED

(4) Open SSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact* openssl-core@openssl.org.
 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"
-

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

(5) OpenSLP License

Copyright (C) 2000 Caldera Systems, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Caldera Systems nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE CALDERA SYSTEMS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(6) Bonjour

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives,

including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from
-

the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or

redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

► APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

(7) SMB

Copyright 1994-2008 The FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE FREEBSD PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FREEBSD PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

NetSNMP License

Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like)

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University
Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California
All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD)

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2003-2004, Sparta, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
-

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> and contributors

All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Mac OS X での使 い方

1

プリンタードライバーの動作環境

プリンタードライバーのインストールをする前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピューター	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : <ul style="list-style-type: none">● PowerPC G3 以上 (PowerPC G4 以上を推奨)● Intel プロセッサー
コンピューターと本機の接続方法	USB 接続 (USB.2.0 (High Speed))、ネットワーク接続 (10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)
OS	Mac OS X (10.3.9 ~ 10.6.x) (最新のパッチの適用を推奨)
メモリー	128 MB 以上
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上 (イメージ展開用)
対応言語	日本語、英語

💡 最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをごらんください。
アドレス : <http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

プリンタードライバーのインストール

💡 プリンタードライバーのインストールをするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

💡 プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

プリンタードライバーのインストール

- 1 ソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
- 2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、[LP-M720FMac] - [Printer] フォルダをダブルクリックし、お使いの OS バージョンのフォルダ内のパッケージファイルをダブルクリックします。
- 3 この後は画面の指示に従ってインストールを進めます。
続いて、以下のページに進んでください。
Mac OS X10.3.9 の場合：「プリンターの選択と接続（Mac OS X 10.3.9）」（p.35）
Mac OS X10.4 の場合：「プリンターの選択と接続（Mac OS X 10.4）」（p.44）
Mac OS X10.5/10.6 の場合：「プリンターの選択と接続（Mac OS X 10.5/10.6）」（p.59）

プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でプリンタードライバーを削除してください。

Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合

- 1 削除するプリンターを選択します。
 - Mac OS X 10.3.9 の場合：ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] から [プリンタ設定ユーティリティ] 画面を開きます。
 - Mac OS X 10.4 の場合：アップルメニューの [システム環境設定] - [プリントとファクス] 画面を開きます。
- 2 選択したプリンターを削除します。
 - Mac OS X 10.3.9 の場合：[削除] をクリックします。
 - Mac OS X 10.4 の場合：[-] をクリックします。選択したプリンターが削除されます。
- 3 [プリンタ設定ユーティリティ] 画面、または [プリントとファクス] 画面を閉じます。
- 4 インストールしたハードディスクの [ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] 内の、以下のフォルダにある、[EPSON LP-M720PS.gz] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ja.lproj]
 - [en.lproj]
 - [zh_CN.lproj]
 - [zh_TW.lproj]
- 5 [ライブラリ] - [Printers] 内の不要なファイルを削除します。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [PDEs] 内の [EPSON LP-M720 PS.plugin] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [filter] 内の [pstoLP-M720PS] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Icons] 内の [LPM720.icns] と [EPSON LP-M720 PS.icns] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。

- [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Profiles] 内の [LP-M720ps.icc] と [EPSON LP-M720 PS.icns] ファイルを [ゴミ箱] ヘドラッグします。

6 [ライブラリ] - [Receipts] 内の [LP-M720 OSX Installer_103104.pkg] ファイルをゴミ箱ヘドラッグします。

7 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

1 アップルメニューから [システム環境設定] を開きます。

2 [プリントとファクス] をクリックします。

3 削除するプリンター名を選択し、[-] をクリックします。

4 確認メッセージが表示されたら、以下のボタンをクリックします。

Mac OS X 10.5 の場合：[OK]

Mac OS X 10.6 の場合：[プリンタを削除]

選択したプリンターが削除されます。

5 [プリントとファクス] 画面を閉じます。

6 インストールしたハードディスクの [ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] 内の [EPSON LP-M720PS.gz] ファイルを [ゴミ箱] ヘドラッグします。

7 [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] 内の [LP-M720] フォルダーを [ゴミ箱] ヘドラッグします。

8 [ライブラリ] - [Receipts] 内の以下のファイルをゴミ箱ヘドラッグします。

Mac OS X 10.5 の場合：[LP-M720 OSX Installer_105.pkg]

Mac OS X 10.6 の場合：[LP-M720 OSX Installer_106.pkg]

9 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.3.9)

USB 接続の場合

💡 プリントセンターで設定を行う前に、必ず操作パネルから [設定メニュー] - [管理者設定] - [USB 設定] の設定値を [Mac] に設定してください。
詳細については、[プリンター／コピー／スキャナー ユーザーズガイド] (ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル) をごらんください。

- 1 USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。
- 2 本機の電源がオンであることを確認し、コンピューターを再起動します。
- 3 ハードディスクから [アプリケーション] - [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 4 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 5 ポップアップリストから [USB] を選択します。

6 [製品] リストから [LP-M720] を選択します。



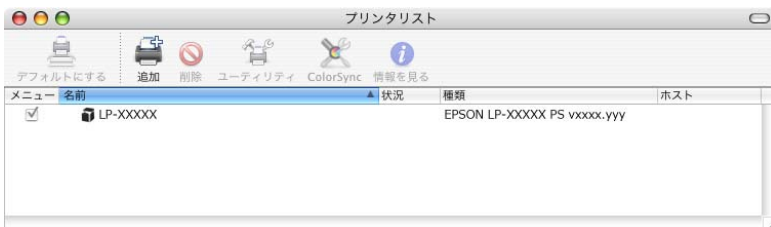
💡 [LP-M720] が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

7 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

8 [機種名] リストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

9 [追加] をクリックします

[プリンタリスト] 画面に新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは「オプションの設定」(p.73)をごらんください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、AppleTalk 設定と IP プリント設定（LPD 設定、IPP 設定、ポート 9100 設定）、Rendezvous 設定があります。

AppleTalk 設定

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] - [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 4 ポップアップリストから、[AppleTalk] を選択します。
- 5 [名前] リストから、[LP-M720-xxxxxx] を選択します。

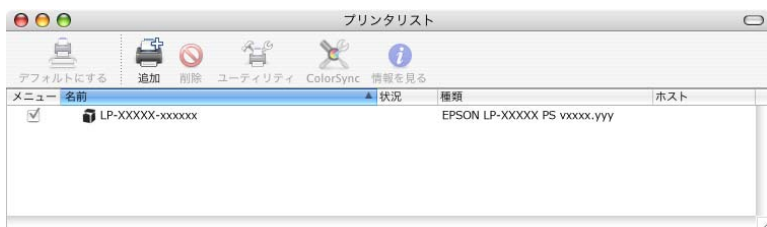
💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



- 6 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。
- 7 [機種名] リストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。



- 8 [追加] をクリックします。
[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは、「オプションの設定」(p.73) をごらんください。

IP プリント設定 (LPD 設定 / IPP 設定 / ポート 9100 設定)

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] - [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。

3 [プリンタリスト] 画面で [追加] をクリックします。



4 ポップアップリストから [IP プリント] を選択します。

5 [プリンタのタイプ] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。



💡 LPD 設定の場合は、[LPD/LPR] を選択します。

💡 IPP 設定の場合は、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。

💡 ポート 9100 設定の場合は、[Socket/HP JetDirect] を選択します。

6 [プリンタのアドレス] ボックスに本機の IP アドレスを入力します。

IP プリント

プリンタのタイプ: IPP (Internet Printing Protocol)

プリンタのアドレス: 192.168.1.2
完全で正しいアドレスです。

キュー名:
デフォルトキューを空のままにする

プリンタの機種: 一般設定

キャンセル 追加

💡 IPP 設定の場合、[キュー名] テキストボックスに「ipp」と入力します。

7 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

8 [機種名] リストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

IP プリント

プリンタのタイプ: IPP (Internet Printing Protocol)

プリンタのアドレス: 192.168.1.2
完全で正しいアドレスです。

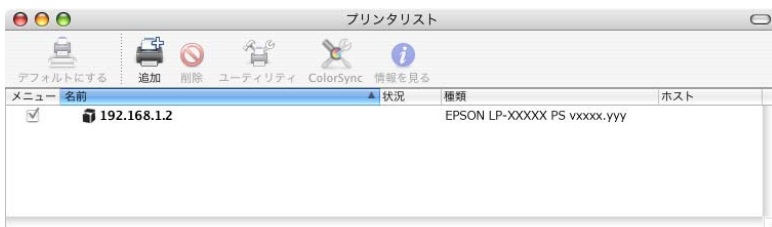
キュー名:
デフォルトキューを空のままにする

プリンタの機種: EPSON

機種名
EPSON LP-XXXX PS vxxxx.yyy

キャンセル 追加

- 9 [追加] をクリックします。
[プリンタリスト] 画面に新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは「オプションの設定」(p.73) をごらんください。

Rendezvous 設定

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] - [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 4 ポップアップリストから、[Rendezvous] を選択します。
- 5 [名前] リストから、[LP-M720-xxxxxx.local] を選択します。

💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



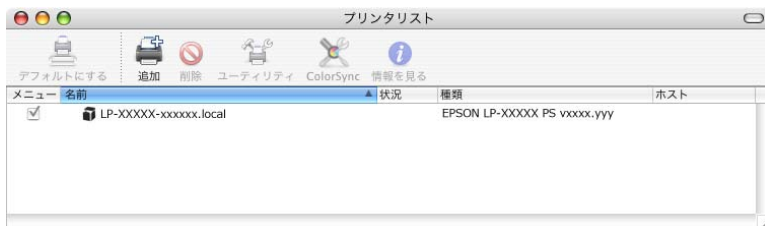
6 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

7 [機種名] リストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。



8 [追加] をクリックします。

「プリンタリスト」画面に、新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは「オプションの設定」(p.73)をごらんください。

プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.4)

💡 プリンター設定ユーティリティで設定を行う前に、必ず操作パネルから [設定メニュー] - [管理者設定] - [USB 設定] の設定値を [Mac] に設定してください。詳細については、[プリンター／コピー／スキャナー ユーザーズガイド] (ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル) をご覧ください。

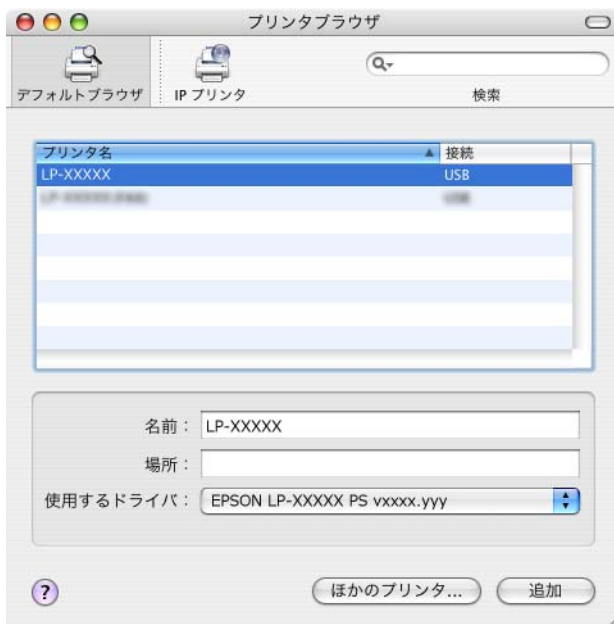
USB 接続の場合

- 1 USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。
- 2 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。
- 4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。



[プリンタブラウザ] 画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

- 5 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから [LP-M720] を選択します。



💡 [LP-M720] が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

- 6 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

- 7 [追加] をクリックします。

「プリントとファクス」画面に新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは「オプションの設定」(p.73)をごらんください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、AppleTalk 設定と Bonjour 設定、IP プリント設定 (IPP 設定、LPD 設定、ポート 9100 設定) があります。

AppleTalk 設定

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。
- 3 「プリントとファクス」をクリックします。

4 「プリントとファクス」画面で、[+] をクリックします。



「プリンタブラウザ」画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

- 5 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから、
[LP-M720-xxxxxx] を選択します。

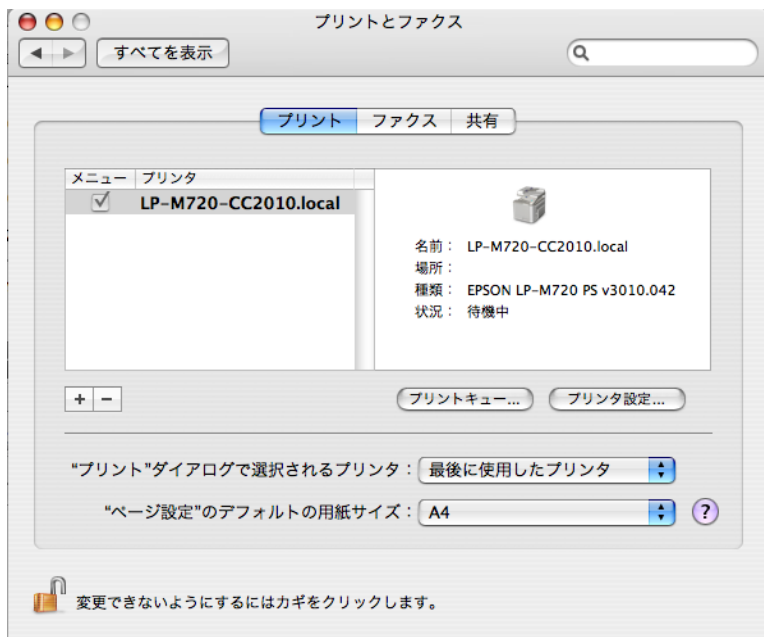
💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



- 6 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS
vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

7 「追加」をクリックします。

「プリントとファクス」画面に、新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳しくは「オプションの設定」(p.73) をご覧ください。

Bonjour 設定

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。
- 3 「プリントとファクス」をクリックします。

4 「プリントとファクス」画面で、[+] をクリックします。



「プリンタブラウザ」画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

- 5 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから、
[LP-M720-xxxxxx.local] を選択します。



- 6 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS
vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

- 7 [追加] をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や **Readme**、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 9 「続ける」をクリックします。
「プリントとファクス」画面に、新しいプリンターが表示されます。



IP プリント設定（IPP 設定／LPD 設定／ポート 9100 設定）

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより「システム環境設定」を選択します。
- 3 「プリントとファクス」をクリックします。

4 「プリントとファクス」画面で、[+] をクリックします。



5 「IP プリンタ」 をクリックします。



6 [プロトコル] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。



💡 IPP 設定の場合、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。

💡 LPD 設定の場合、[LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。

💡 ポート 9100 設定の場合、[Socket/HP Jet Direct] を選択します。

7 [アドレス] ボックスに本機の IP アドレスを入力します。



💡 IPP 設定の場合、[キュー] テキストボックスに [ipp] と入力します。

8 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

9 [追加] をクリックします。

10 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や **Readme**、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 11** [続ける] をクリックします。
[プリントとファクス] 画面に新しいプリンターが表示されます。



プリンターの選択と接続 (Mac OS X 10.5/10.6)

💡 プリンター設定ユーティリティで設定を行う前に、必ず操作パネルから [設定メニュー] - [管理者設定] - [USB 設定] の設定値を [Mac] に設定してください。詳細については、[プリンター／コピー／スキャナー ユーザーズガイド] (ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル) をご覧ください。

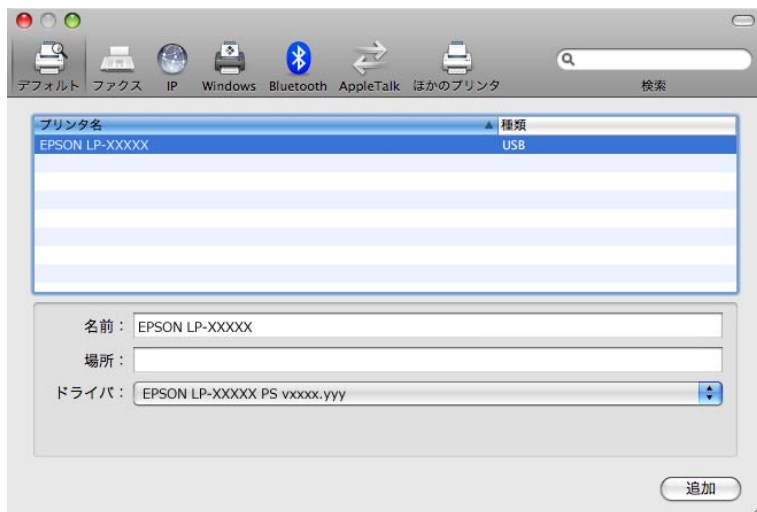
USB 接続の場合

- 1 USB ケーブルで、本機とコンピューターを接続します。
- 2 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。
- 4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。



プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

5 [プリンタ名] リストから [EPSON LP-M720] を選択します。

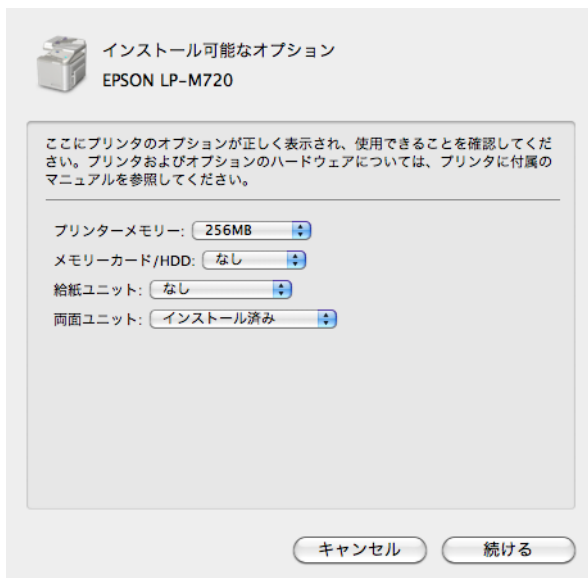


💡 [EPSON LP-M720] が表示されないときは、本機の電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

6 [ドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

7 [追加] をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や **Readme**、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 9 [続ける] をクリックします。
[プリントとファクス] 画面が表示されます。



ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、AppleTalk 設定と Bonjour 設定、IP プリント設定（IPP 設定、LPD 設定、ポート 9100 設定）があります。

AppleTalk 設定

💡 Mac OS X 10.6 は AppleTalk 接続に対応していません。

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。

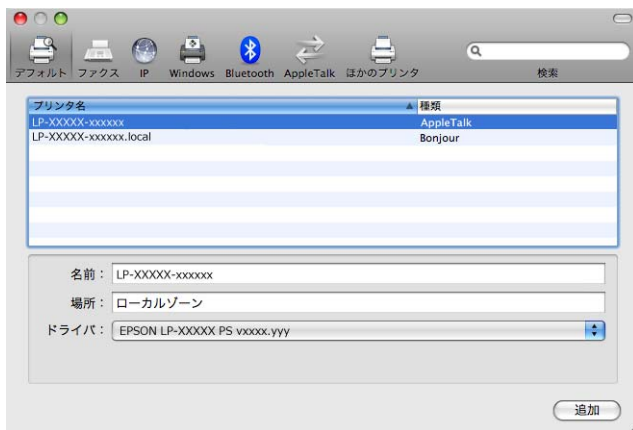
4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。



プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

5 [プリンタ名] リストから、[LP-M720-xxxxxx] を選択します。

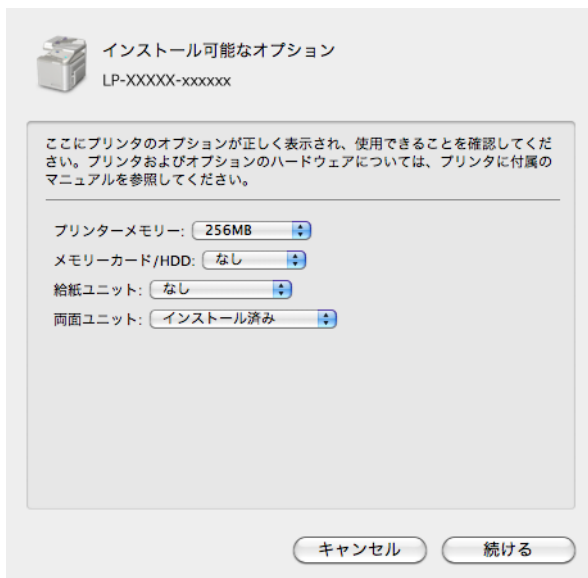
💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



6 [ドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。

7 [追加] をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や **Readme**、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 9 [続ける] をクリックします。
[プリントとファクス] 画面に、新しいプリンターが表示されます。



Bonjour 設定

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。

4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。

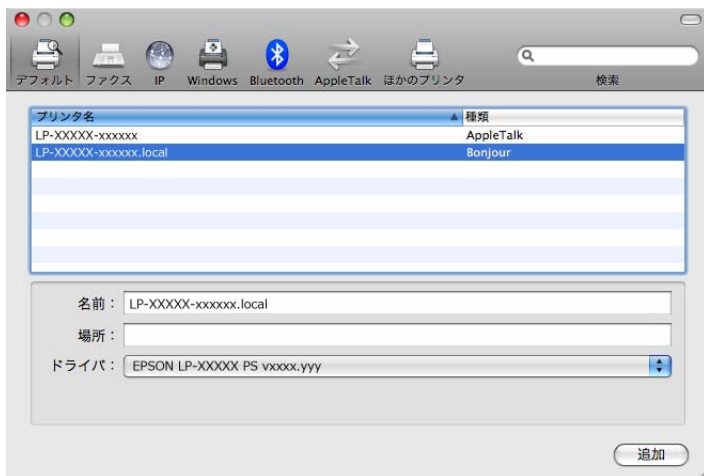


プリンターブラウザー画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

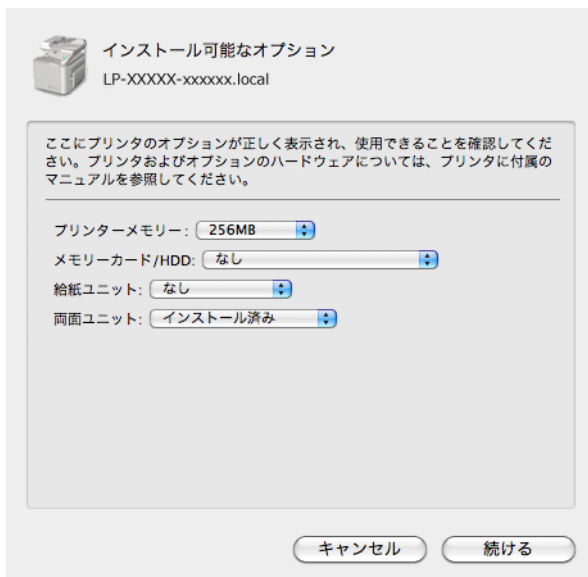
5 [プリンタ名] リストから [LP-M720-xxxxxx.local] を選択します。



“xxxxxx” は MAC アドレスの後半 6 桁です。

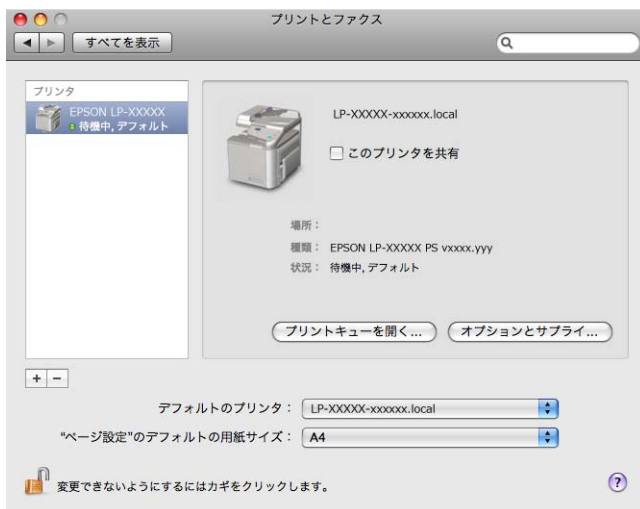


- 6 [ドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。
- 7 [追加] をクリックします。
- 8 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



- 💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
- 💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 9 [続ける] をクリックします。
[プリントとファクス] 画面が表示されます。



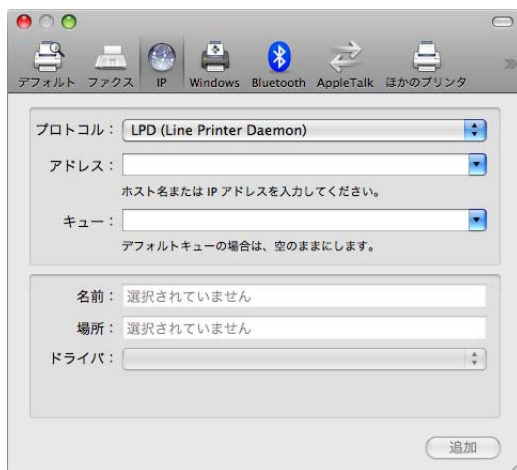
IP プリント設定 (IPP 設定／LPD 設定／ポート 9100 設定)

- 1 本機を Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。

4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。



5 [IP] をクリックします。



6 [プロトコル] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。



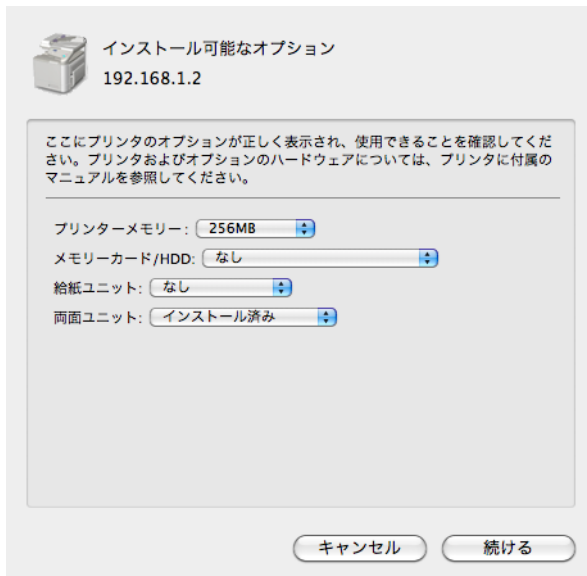
- 💡 — IPP 設定の場合、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。
- LPD 設定の場合、[LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。
- ポート 9100 設定の場合、[HP Jetdirect - Socket] を選択します。

7 [アドレス] ボックスに本機の IP アドレスを入力します。



- IPP 設定の場合、[キュー] テキストボックスに「ipp」と入力します。

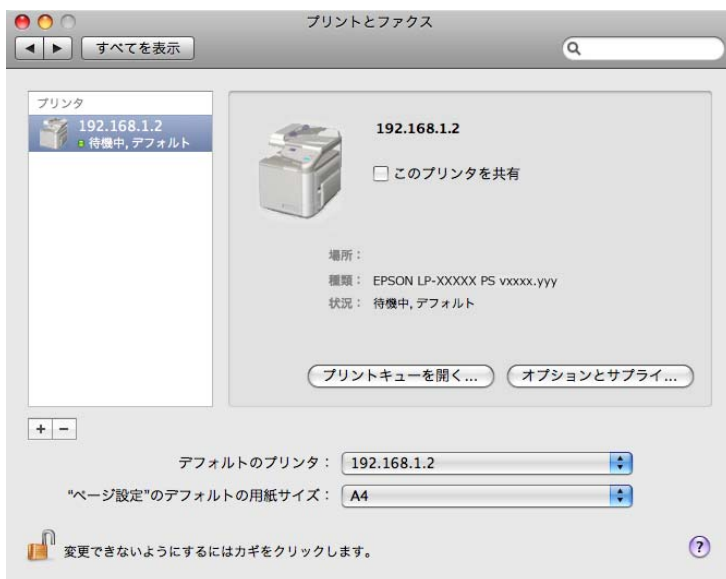
- 8 [ドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-M720 PS vxxxx.yyy] が選択されていることを確認します。
- 9 [追加] をクリックします。
- 10 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



- 💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
- 💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 11 [続ける] をクリックします。

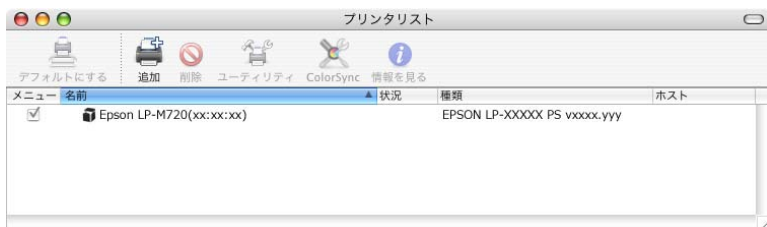
「プリントとファクス」画面が表示されます。



オプションの設定

Mac OS X 10.3.9 の場合

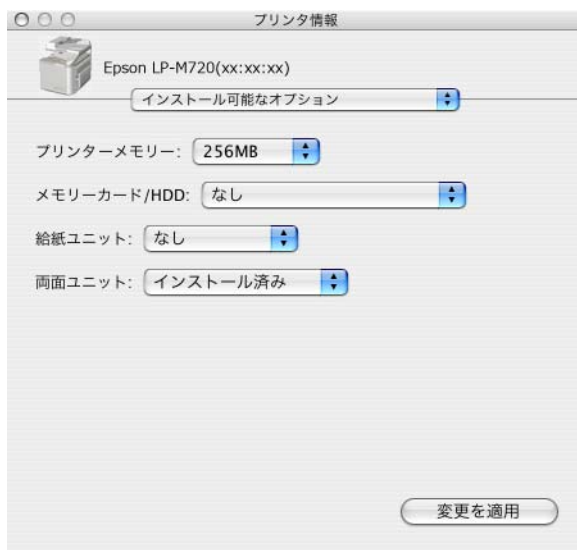
- 1 ハードディスクから [アプリケーション] - [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 2 [プリンタリスト] 画面で本機を選択し、[情報を見る] をクリックします。



- 3 ポップアップメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。



- 4 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定し、[変更を適用] をクリックします。



- 💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
- 💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 5 [プリンタ情報] 画面を閉じます。

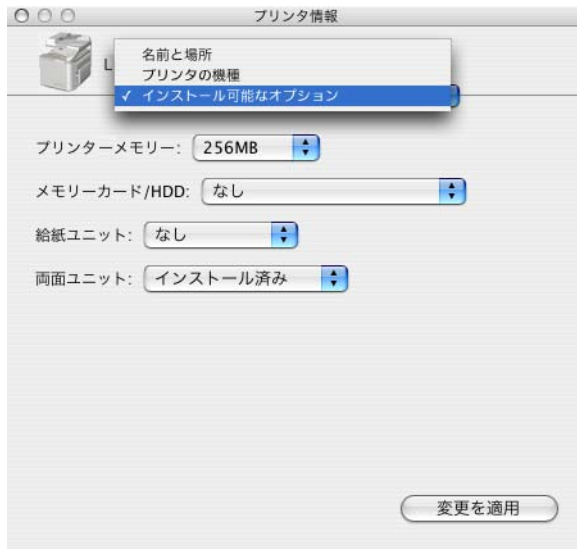
Mac OS X 10.4 の場合

- 1 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] をクリックします。

- 3 プリンターリストから本機を選択し、[プリンタ設定] をクリックします。



- 4 ポップアップメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

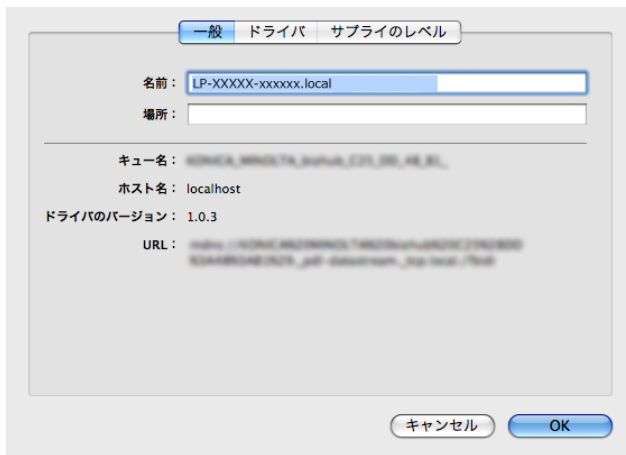
- 5 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定し、[変更を適用] をクリックします。
- 6 [プリンタ情報] 画面を閉じます。
- 7 [プリントとファクス] 画面を閉じます。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

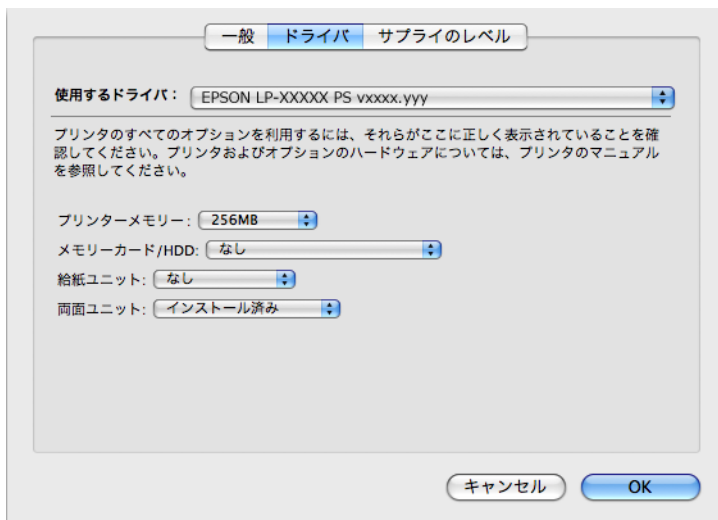
- 1 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] をクリックします。
- 3 プリンターリストから本機を選択し、[オプションとサブライ] をクリックします。



4 [ドライバ] を選択します。



5 お使いの環境に合わせて、[プリンターメモリー]、[メモリーカード / HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定し、[OK] をクリックします。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

6 [プリントとファクス] 画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで［ファイル］メニューから［ページ設定 ...］を選択したときに表示されます。

- 1 ［ファイル］メニューから［ページ設定 ...］を選択します。
ページ設定画面が表示されます。
- 2 ［対象プリンタ］ポップアップメニューから本機を選択します。



ページ設定画面の［設定］ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
［ページ属性］	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
［デフォルトとして保存］	変更した設定を初期値として保存します。

【ページ属性】メニュー

【ページ属性】画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

設定： ページ属性

対象プリンタ： EPSON LP-XXXXX
EPSON LP-XXXXX PS vxxxx.yyy

用紙サイズ： A4
20.99 cm × 29.70 cm

方向：

拡大縮小： 100 %

? キャンセル OK

■ 【用紙サイズ】

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 【方向】

印刷方向を選択します。

■ 【拡大縮小】

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します
(25 ～ 400%)。

💡 どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

カスタムページサイズの設定

【カスタムページサイズ】画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

- 1 【ページ属性】画面（前ページ）の【用紙サイズ】ポップアップメニューから【カスタムサイズを管理】を選択します。

[カスタム・ページ・サイズ] 画面が表示されます。



■ [+]

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ [-]

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ [複製]

すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ [ページサイズ]

幅と高さのサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。
本機で設定できる数値は、以下のとおりです。

[幅] : 9.2 cm ~ 21.6 cm

[高さ] : 14.8 cm ~ 35.6 cm

■ [プリンタの余白]

ページの上下左右のプリントされない領域（マージン）の値を設定します。

2 設定を終えたら、[OK] をクリックします。



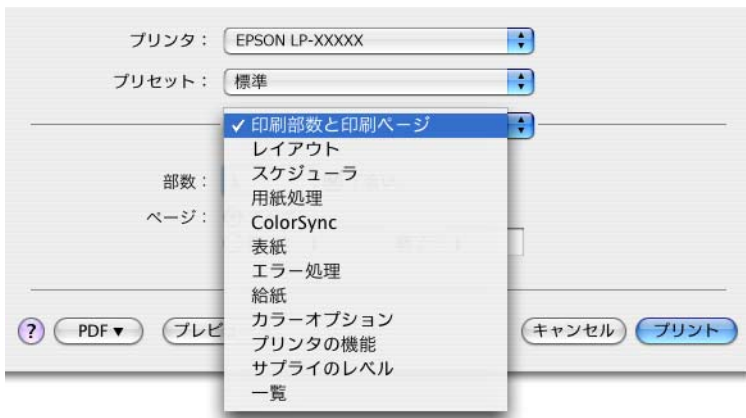
どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

プリント画面の設定 (Mac OS X 10.4)

ここでは、アプリケーションソフトウェアで [ファイル] メニューから [プリント ...] または [印刷 ...] を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

- 1 [ファイル] メニューから [プリント ...] または [印刷 ...] を選択します。
プリント画面が表示されます。
- 2 [プリンタ] ポップアップメニューから本機を選択します。
プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー



メニュー	設定内容
[印刷部数と印刷ページ]	印刷するページや部数を設定します。
[レイアウト]	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
[スケジューラ]	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
[用紙処理]	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
[ColorSync]	ColorSync の設定をします。
[表紙]	表紙の設定を行います。

メニュー	設定内容
[エラー処理]	エラーの出力方法を指定します。
[給紙]	給紙方法を設定します。
[カラーオプション]	カラー印刷の設定を行います。
[プリンタの機能]	用紙種類とソートの設定を行います。
[サプライのレベル]	消耗品の状態を表示します。
[一覧]	現在の印刷設定を確認することができます。

 同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- [?] (ヘルプボタン)
プリント画面のヘルプを表示します。
- [PDF]
PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。
- [プレビュー]
印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。
- [キャンセル]
変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。
- [プリント]
変更した設定を有効にして、印刷を行います。

【印刷部数と印刷ページ】メニュー

【印刷部数と印刷ページ】画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

The screenshot shows a dialog box titled '印刷部数と印刷ページ' (Print Range and Pages). It contains the following fields and controls:

- プリンタ:** A dropdown menu showing 'EPSON LP-XXXXX'.
- プリセット:** A dropdown menu showing '標準' (Standard).
- 印刷部数と印刷ページ:** A dropdown menu showing the current selection.
- 部数:** A text input field containing the number '1'.
- 丁合い:** A checked checkbox.
- ページ:** A radio button selection with 'すべて' (All) selected.
- 開始:** A text input field containing the number '1'.
- 終了:** A text input field containing the number '1'.
- Buttons:** At the bottom, there are buttons for '?', 'PDF', 'プレビュー' (Preview), 'キャンセル' (Cancel), and 'プリント' (Print).

■ 【部数】

印刷部数を設定します。【丁合い】にチェックをつけると、丁合い機能が働き、文書全体が1部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして【丁合い】にチェックをつけると、文書の最初のページから最後のページまでが5回印刷されます。

💡 丁合い機能を使用する場合は、プリンターにオプションの増設ストレージ HDD が装着されている必要があります。

アプリケーションが独自に丁合い機能を提供している場合は、アプリケーション側の機能が優先され、プリンタードライバー側の機能は無視されます。

■ 【ページ】

【すべて】： 全ページを印刷します。

【開始】 【終了】： 印刷するページを指定します。

【レイアウト】メニュー

【レイアウト】画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

レイアウト

ページ数／枚： 1

レイアウト方向：

境界線： なし

両面： ☒ 切
☐ 長辺とじ
☐ 短辺とじ

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

■ 【ページ数／枚】

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば【2】を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ 【レイアウト方向】

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 【境界線】

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 【両面】

両面印刷に関する設定を行います。

【切】： 両面印刷を行いません。

【長辺とじ】： 長辺とじで両面印刷を行います。

【短辺とじ】： 短辺とじで両面印刷を行います。

【スケジューラ】メニュー

【スケジューラ】画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

The screenshot shows the Epson Scheduler menu with the following settings:

- プリンタ: EPSON LP-XXXXX
- プリセット: 標準
- スケジュール
- 書類をプリント: ☒ 今すぐプリント, ☐ 後でプリント: 9:00, ☐ 保留
- 優先順位: 中
- Buttons: ? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

■ 【書類をプリント】

【今すぐプリント】: すぐに印刷を開始します。

【後でプリント】: 印刷を開始する時刻を指定します。

【保留】: プリントジョブを保留します。

■ 【優先順位】

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

【用紙処理】メニュー

【用紙処理】画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ 【ページの順序】

【自動】： 文書のページ順序で印刷するときに選択します。

【通常】： 通常のページ順序で印刷するときに選択します。

【逆送り】： 印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ 【プリント】

【すべてのページ】： 全てのページを印刷します。

【奇数ページ】： 奇数ページのみ印刷します。

【偶数ページ】： 偶数ページのみ印刷します。

■ 【出力用紙サイズ】

【使用する出力用紙サイズ】：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

【用紙サイズに合わせる】： 書類の用紙サイズを、本機で使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。

本機で使用されている用紙サイズを指定します。

【縮小のみ】： 出力サイズを縮小するときに選択します。

【ColorSync】メニュー



The screenshot shows the ColorSync menu with the following settings: プリンタ: EPSON LP-XXXXX, プリセット: 標準, ColorSync (selected), カラー変換: 標準, and Quartz フィルタ: なし. At the bottom are buttons for a help icon, PDF, プレビュー, キャンセル, and プリント.

■ [カラー変換]

コンピュータでカラーマッチングを行うか、本機でカラーマッチングを行うかを選択します。

■ [Quartz フィルタ]

Quartz フィルタを選択します。

【表紙】メニュー



The screenshot shows the Table Cover menu with the following settings: プリンタ: EPSON LP-XXXXX, プリセット: 標準, 表紙 (selected), 表紙をプリント: なし (selected), 書類の前, 書類の後, 表紙のタイプ: 標準, and 課金情報: (empty field). At the bottom are buttons for a help icon, PDF, プレビュー, キャンセル, and プリント.

■ [表紙をプリント]

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ [表紙のタイプ]

表紙の種類を選択します。

■ [課金情報]

表紙に印刷される課金情報を設定します。

【エラー処理】メニュー

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

エラー処理

PostScript エラー

☒ 特にレポートは行わない

☐ 詳細レポートをプリント

トレイの切り替え

☐ プリンタのデフォルトを使用

☐ 同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える

☒ 警告を表示

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [PostScript エラー]

PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。

■ [トレイの切り替え]

このプリンタードライバーでは使用しません。

【給紙】メニュー

【給紙】画面では、給紙方法の設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

給紙

☒ 全体： 自動選択

☐ 先頭ページのみ： トレイ 1

残りのページ： トレイ 1

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [全体]

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [先頭ページのみ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [残りのページ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

💡 オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」(p.73) で [給紙ユニット] を選択しておいてください。

[カラーオプション] メニュー

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

クイックカラー: 自動

明度: 0%

☐ グレースケール

☐ 色分解

☐ エコノミー印刷

エッジ強度: 中

☐ 自動トラッピング

ブラックオーバープリント: オフ

カラー詳細設定

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [クイックカラー]

カラー設定を選択します。

■ [明度]

明るさを選択します。

■ [グレースケール]

この項目をチェックすると、カラー部分をグレースケールで印刷します。

■ [色分解]

この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。

- [エコノミー印刷]
トナーを節約する印刷を行うかどうかを選択します。
 - [エッジ強度]
エッジ強度を選択します。
 - [自動トラッピング]
絵柄の周囲に白い隙間が出ないように、隣り合う色を重ねて印刷します。
 - [ブラックオーバープリント]
黒文字や図形の周囲に、白い隙間が出ないように、隣り合う色に黒を重ねて印刷します。
 - [カラー詳細設定]
クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。
- 💡 [クイックカラー] を [カスタム] に設定している場合に有効です。

【カラー詳細設定】 / 【イメージ】

The screenshot shows the 'Color Options' section of the Epson printer settings. The 'Image' tab is selected, showing settings for RGB color, RGB color transformation, RGB grayscale reproduction, output profile, screen, and edge enhancement. The printer is set to 'EPSON LP-XXXXX' and the preset is 'Standard'.

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

イメージ テキスト グラフィックス シミュレーション

RGBカラー: sRGB

RGB色変換: 写真調

RGBグレイ再現: 4色(CMYK)トナー

出カプロファイル: 自動

スクリーン: 詳細

エッジ強調: しない

プロファイルの管理

詳細設定を隠す

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

- [RGB カラー]
イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。
- [RGB 色変換]
イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

[カラー詳細設定] / [テキスト]

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

イメージ テキスト グラフィックス シミュレーション

RGBカラー: sRGB

RGB色変換: 鮮やか

RGBグレー再現: 全て黒(K)トナー

出力プロファイル: 自動

スクリーン: 高精細

エッジ強調: する

プロファイルの管理

詳細設定を隠す

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [RGB カラー]

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

【カラー詳細設定】 / 【グラフィックス】

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

イメージ テキスト **グラフィックス** シミュレーション

RGBカラー: sRGB

RGB色変換: 鮮やか

RGBグレー再現: 全て黒(K)トナー

出力プロファイル: 自動

スクリーン: 詳細

エッジ強調: する

プロファイルの管理

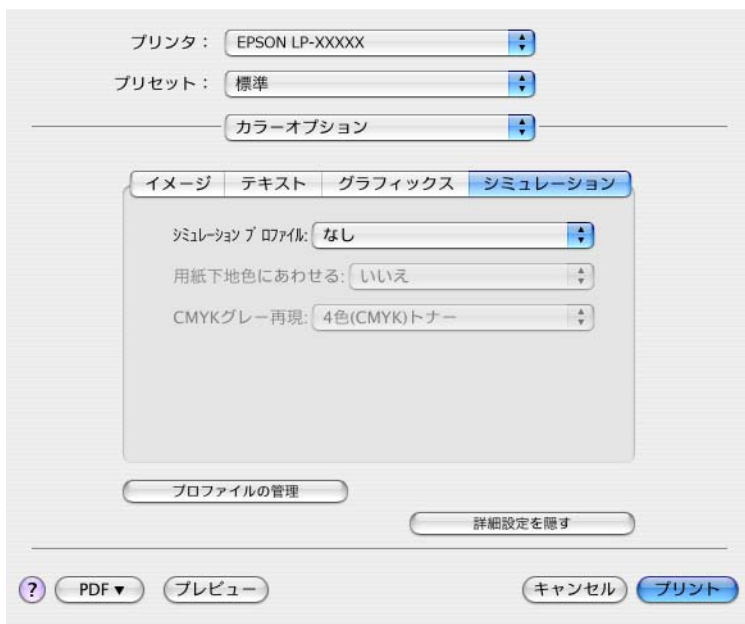
詳細設定を隠す

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

- [RGB カラー]
グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。
- [RGB 色変換]
グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。
- [RGB グレー再現]
RGB のグラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。
- [出力プロファイル]
印刷に使用する出力プロファイルを選択します。
- [スクリーン]
グラフィックスの中間色の再現性を選択します。
- [エッジ強調]
エッジ強調を行うかどうかを選択します。
- [プロファイルの管理]
カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。
- [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

【カラー詳細設定】 / 【シミュレーション】



■ [シミュレーション* プロファイル]

RGB カラープロファイルを選択します。

■ [用紙下地色にあわせる]

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ [CMYK グレー再現]

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

【プリンタの機能】メニュー

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

プリンタの機能

☐ 近似サイズに拡大縮小

☐ 印刷済み用紙の裏に印刷

用紙種類： 自動（プリンターの設定に従う）

☐ ソート

両面： 長辺を綴じる

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

■ [近似サイズに拡大縮小]

トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。

■ [印刷済み用紙の裏に印刷]

用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。

■ [用紙種類]

用紙の種類を選択します。

■ [ソート]

部単位で印刷を行うかどうかを選択します。

ソート機能を使用する場合は、プリンターにオプションの増設ストレージ HDD が装着されている必要があります。

■ [両面]

両面印刷に関する設定を行います。

【サプライのレベル】メニュー

【サプライのレベル】画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

💡 サプライのレベルメニューは、Mac OS X 10.4 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

💡 サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

【一覧】メニュー

【一覧】画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

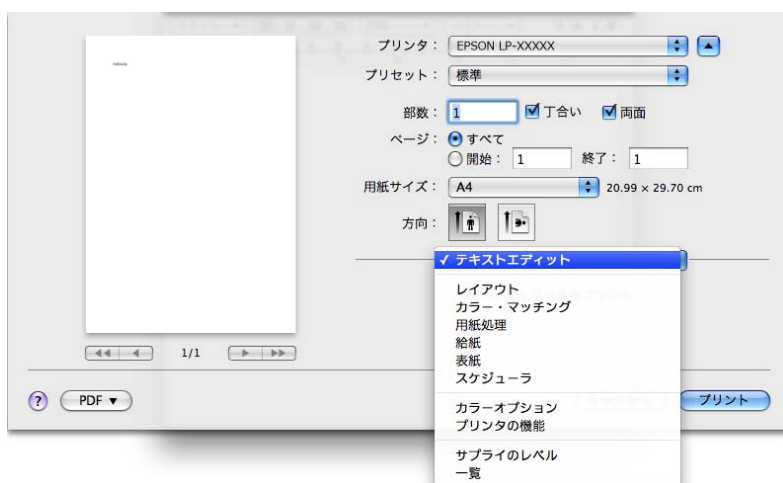


プリント画面の設定 (Mac OS X 10.5/10.6)

ここではアプリケーションソフトウェアで「[ファイル]」メニューから「[プリント ...]」または「[印刷 ...]」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

- 1 「[ファイル]」メニューから「[プリント ...]」または「[印刷 ...]」を選択します。
プリント画面が表示されます。
- 2 「[プリンタ]」ポップアップメニューから本機を選択します。
プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー



メニュー	設定内容
[レイアウト]	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
[カラー・マッチング]	カラーマッチングの方法を設定します。
[用紙処理]	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
[給紙]	給紙方法を設定します。
[表紙]	表紙の設定をします。

メニュー	設定内容
[スケジュール]	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
[カラーオプション]	カラー印刷の設定を行います。
[プリンタの機能]	用紙種類とソートの設定を行います。
[サプライのレベル]	消耗品の状態を表示します。
[一覧]	現在の印刷設定を確認することができます。

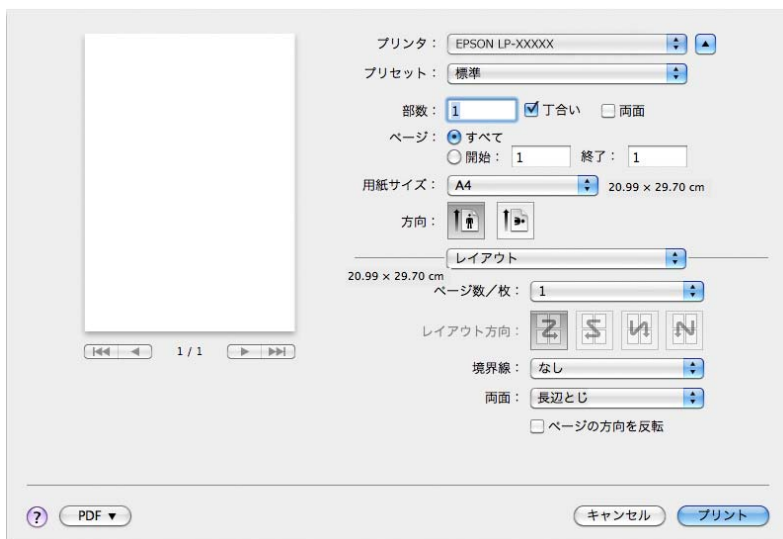
 同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- [?] (ヘルプボタン)
プリント画面のヘルプを表示します。
- [PDF]
PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。
- [キャンセル]
変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。
- [プリント]
変更した設定を有効にして、印刷を行います。
- [部数]
印刷部数を設定します。[丁合い] にチェックをつけると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。
例えば部数を「5」にして [丁合い] にチェックをつけると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。
[両面] にチェックをつけると、文書を紙の両側に印刷します。
- [ページ]
[すべて]：すべてのページを印刷します。
[開始] [終了]：印刷するページを指定します。
- [用紙サイズ]
用紙サイズをポップアップメニューから選択します。
- [方向]
印刷方向を選択します。

【レイアウト】メニュー

【レイアウト】画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。



■ [ページ数／枚]

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば [2] を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ [レイアウト方向]

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ [境界線]

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ [両面]

両面印刷に関する設定を行います。

【切】：両面印刷を行いません。

【長辺とじ】：長辺とじで両面印刷を行います。

【短辺とじ】：短辺とじで両面印刷を行います。

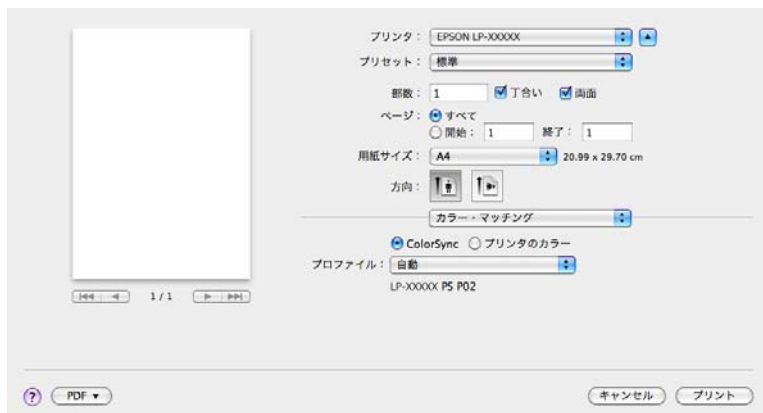
■ [ページの方向を反転]

印刷する方向を上下反転させます。

■ [左右反転] (OS X 10.6 のみ)

左右反転して印刷するかどうか指定します。

【カラー・マッチング】メニュー



■ 【カラー・マッチング】

【ColorSync】： コンピューターでカラーマッチングを行います。

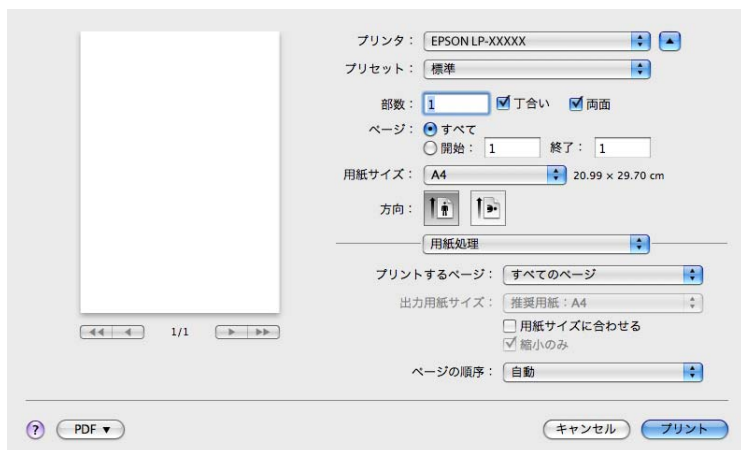
【プリンタのカラー】： 本機でカラーマッチングを行います。

■ 【プロファイル】

カラーマッチングを行うためのプロファイルを選択します。

【用紙処理】メニュー

【用紙処理】画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。



■ 【プリントするページ】

[すべてのページ] : すべてのページを印刷します。

[奇数ページのみ] : 奇数ページのみ印刷します。

[偶数ページのみ] : 偶数ページのみ印刷します。

■ [出力用紙サイズ]

ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

[用紙サイズに合わせる] : 書類の用紙サイズを、本機で使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。本機で使用されている用紙サイズを指定します。

[縮小のみ] : 印刷サイズを縮小する場合に選択してください。

■ [ページの順序]

[自動] : 文書のページ順序で印刷するときに選択します。

[通常] : 通常のページ順序で印刷するときに選択します。

[逆送り] : 印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

[給紙] メニュー

[給紙] 画面では、給紙方法の設定を行います。

プリンタ: EPSON LP-XXXXX
プリセット: 標準
部数: 1 ☒ 丁合い ☒ 両面
ページ: ☒ すべて
開始: 1 終了: 1
用紙サイズ: A4 20.99 x 29.70 cm
方向:
給紙
☒ 全体: 自動選択
☐ 先頭ページのみ: トレイ 1
残りのページ: トレイ 1
PDF キャンセル プリント

■ [全体]

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [先頭ページのみ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [残りのページ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

💡 オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」(p.73) で「給紙ユニット」を選択しておいてください。
給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

【表紙】メニュー

プリンタ: EPSON LP-XXXXX
プリセット: 標準
部数: 1 ☒ 丁合い ☒ 両面
ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1
用紙サイズ: A4 20.99 x 29.70 cm
方向:
表紙
表紙をプリント: ☒ なし ☐ 書類の前 ☐ 書類の後
表紙のタイプ: 標準
課金情報:
PDF キャンセル プリント

- [表紙をプリント]
書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。
- [表紙のタイプ]
表紙の種類を選択します。
- [課金情報]
表紙に印刷される課金情報を設定します。

【スケジューラ】メニュー

【スケジューラ】画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。



■ 【書類をプリント】

【今すぐプリント】：すぐに印刷を開始します。

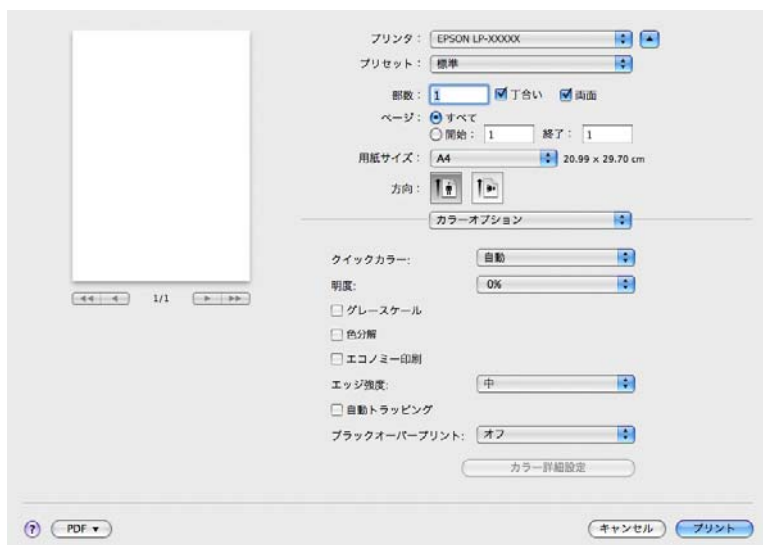
【後でプリント】：印刷を開始する時刻を指定します。

【保留】：プリントジョブを保留します。

■ 【優先順位】

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

【カラーオプション】メニュー

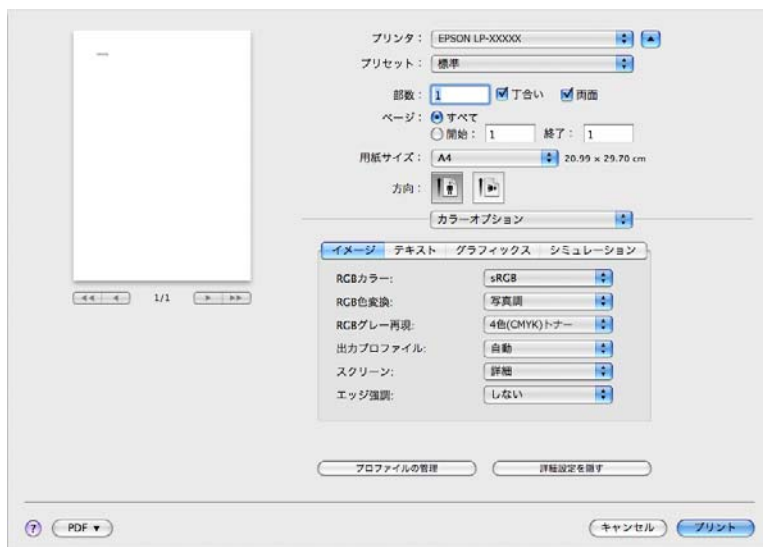


- 【クイックカラー】
クイックカラーを選択します。
- 【明度】
明るさを選択します。
- 【グレースケール】
この項目にチェックをつけると、カラー部分をグレースケールで印刷します。
- 【色分解】
この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。
- 【エコノミー印刷】
トナーを節約する印刷を行うかどうかを選択します。
- 【エッジ強度】
エッジ強度を選択します。
- 【自動トラッピング】
絵柄の周囲に白い隙間が出ないように、隣り合う色を重ねて印刷します。
- 【ブラックオーバープリント】
黒文字や図形の周囲に、白い隙間が出ないように、隣り合う色に黒を重ねて印刷します。
- 【カラー詳細設定】

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

💡 [クイックカラー] を [カスタム] に設定している場合に有効です。

[カラー詳細設定] / [イメージ]



■ [RGB カラー]

イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

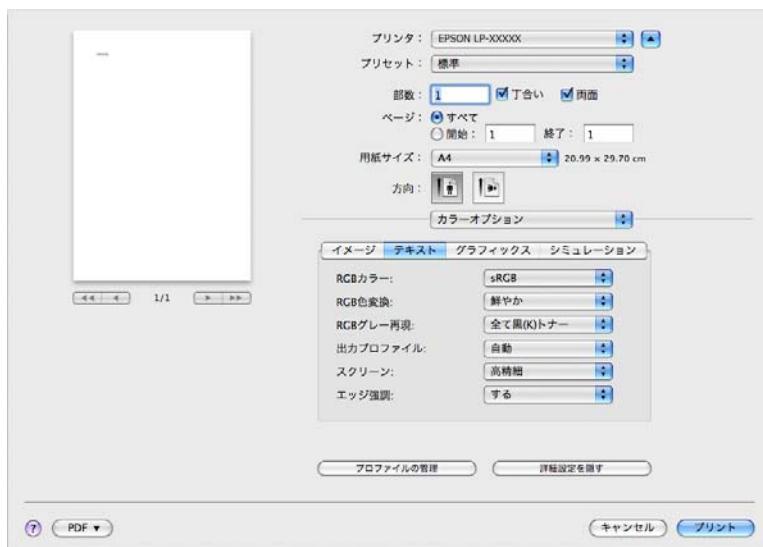
■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

[カラー詳細設定] / [テキスト]



■ [RGB カラー]

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB テキストの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

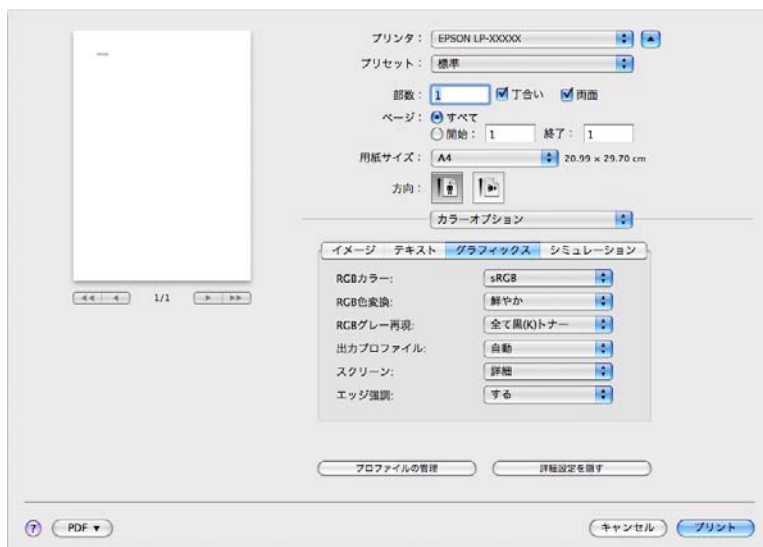
■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

[カラー詳細設定] / [グラフィックス]



■ [RGB カラー]

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB グラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

[カラー詳細設定] / [シミュレーション]



■ [シミュレーション° プロファイル]

RGB カラープロファイルを選択します。

■ [用紙下地色にあわせる]

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ [CMYK グレー再現]

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

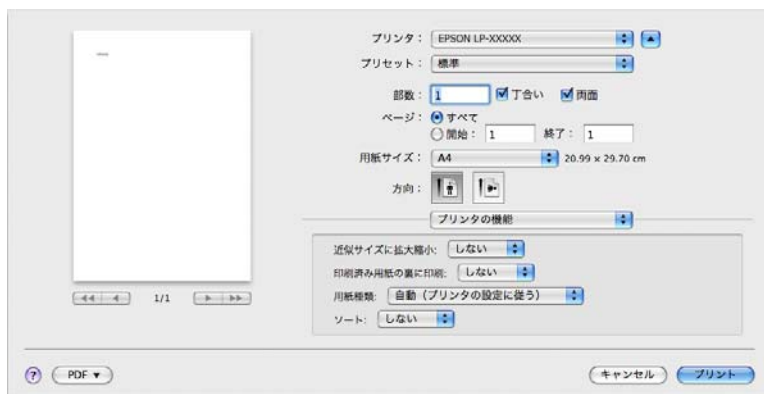
■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

[カラー詳細設定] ページを隠し、[カラーオプション] ページを表示します。

【プリンタの機能】メニュー



■ [近似サイズに拡大縮小]

トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。

■ [印刷済み用紙の裏に印刷]

用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。

■ [用紙種類]

用紙の種類を選択します。

■ [ソート]

部単位で印刷を行うかどうかを選択します。

💡 ソート機能を使用する場合は、プリンターにオプションの増設ストレージ HDD が装着されている必要があります。

【サプライのレベル】メニュー

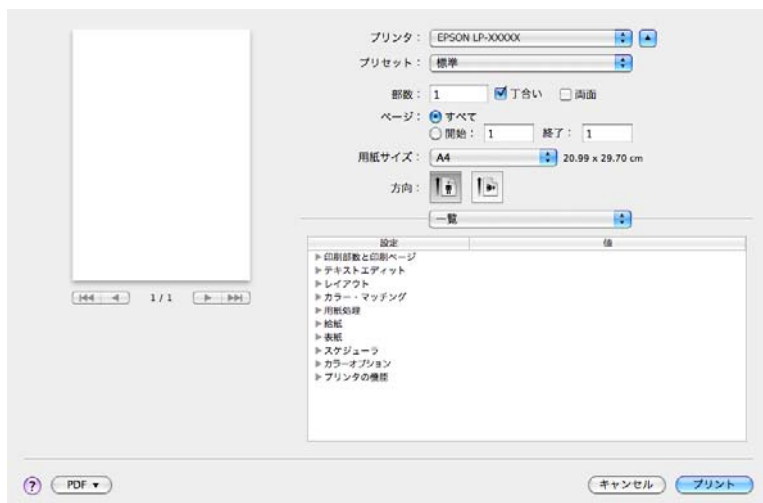
【サプライのレベル】の画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

💡 【サプライのレベル】メニューは、Mac OS X 10.5/10.6 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続された場合に表示されます。

💡 【サプライのレベル】メニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

【一覧】メニュー

【一覧】画面では、現在のプリント設定を確認することができます。



スキャナードライバーの動作環境

スキャナードライバーのインストールをする前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピューター	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : - PowerPC G3 以上 (PowerPC G4 以上を推奨) - Intel プロセッサー
コンピューターと本機の接続方法	ネットワーク接続 (10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T)
OS	Mac OS X (10.3.9 ~ 10.6. x)
メモリー	128 MB 以上
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上
対応言語	日本語、英語

💡 最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをごらんください。

アドレス :<http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

スキャナードライバーのインストール

- 💡 スキャナードライバーのインストールをするには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 💡 スキャナードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- 💡 以降の説明では、スキャナードライバーを TWAIN ドライバーと表現することがあります。

スキャナードライバーのインストール

- 1** ソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
- 2** デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、[LP-M720FMac] - [Scanner] フォルダーをダブルクリックし、お使いの OS バージョンのフォルダー内のパッケージファイルをダブルクリックします。
スキャナードライバーのインストーラーが起動します。
- 3** この後は画面の指示に従ってインストールを進めます。

TWAIN ドライバーからスキャンする

TWAIN ドライバーをご使用になる前に、本機とコンピューターを USB ケーブルまたはネットワークで接続し、コンピューターに TWAIN ドライバーをインストールする必要があります。

TWAIN 対応のアプリケーションソフトウェアから、スキャナーの設定と操作を行うことができます。

💡 Mac OS X 10.3.9/10.6 でネットワーク接続の場合、OS 標準のイメージキャプチャより TWAIN ドライバーを使用（起動）することはできません。

基本スキャン

ここでは、Adobe Photoshop からスキャンする手順について説明します。

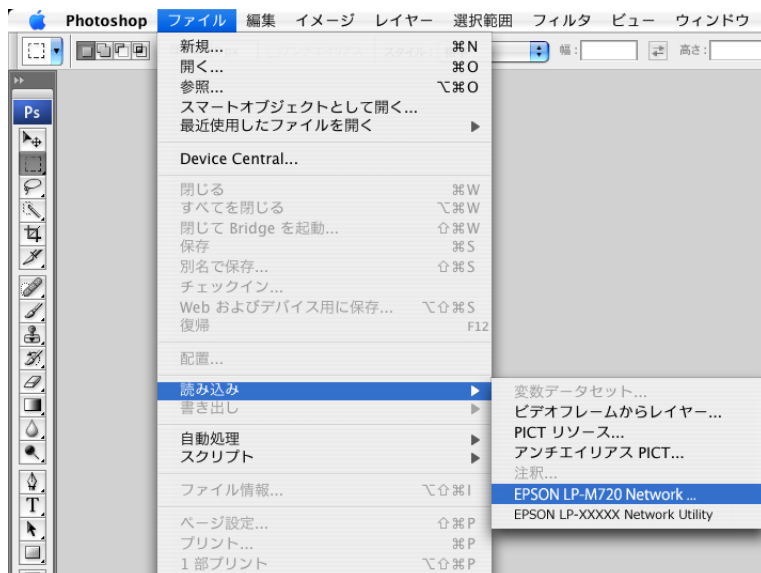
- 1 原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。
- 2 Adobe Photoshop を起動します。
- 3 [ファイル] メニューから [読み込み] を選択し、スキャナードライバーを起動します。
 - － ネットワーク接続の場合、[EPSON LP-M720 Network] を選択し、画面の指示にしたがってネットワークスキャナーを選択します。
 - － ネットワークスキャンについて詳しくは、「Network Utility について」(p.113) も合わせてご覧ください。
 - － USB 接続の場合、[EPSON LP-M720] を選択します。
- 4 必要に応じてスキャナードライバーの設定を行います。
- 5 スキャナードライバーの [スキャン] ボタンをクリックします。

Network Utility について

ネットワークに接続されているデバイスを使用する際の IP アドレスを設定するためのユーティリティです。

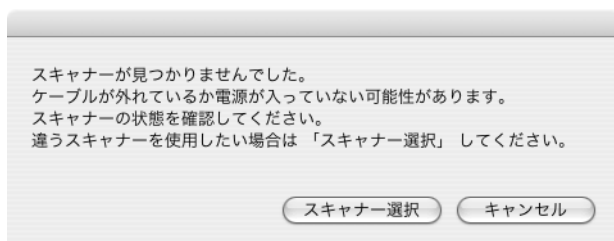
下記は、Adobe Photoshop を使用した手順について説明しています。お使いのアプリケーションによっては操作方法が異なりますので、お使いのアプリケーションマニュアルをご覧ください。

- 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動後、[EPSON LP-M720 Network] を選択します。



- 2 デバイスとのネットワーク接続を確認できなかった場合は、下記の画面が表示されます。

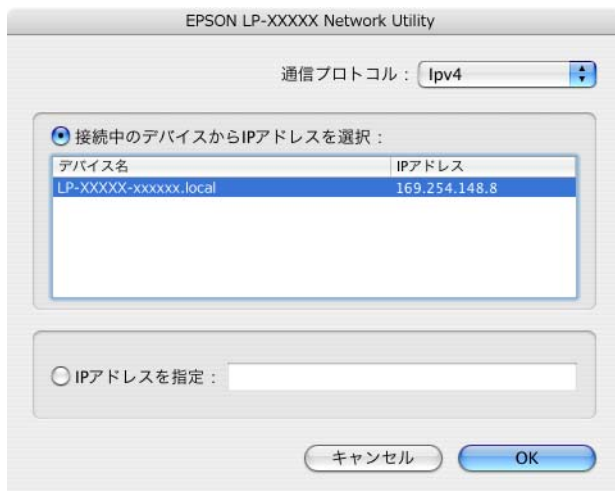
[スキャナー選択] をクリックすると、Network Utility を起動します。
[キャンセル] をクリックすると、Network Utility を起動せずに
TWAIN ドライバーを終了します。



- 3 Network Utility を起動すると自動的にネットワーク上のデバイスを検索し、[接続中のデバイスから IP アドレスを選択] リストにデバイスが表示されます。

[OK] をクリックすると、デバイスの IP アドレスを確定して Network Utility を終了します。

[キャンセル] をクリックすると、デバイスの IP アドレスを確定せずに **Network Utility** を終了します。



💡 [IP アドレスを指定] ボタンを選択すると、直接デバイスの IP アドレスを指定することができます。IP アドレスとして入力できる文字は、「123456789.」です。

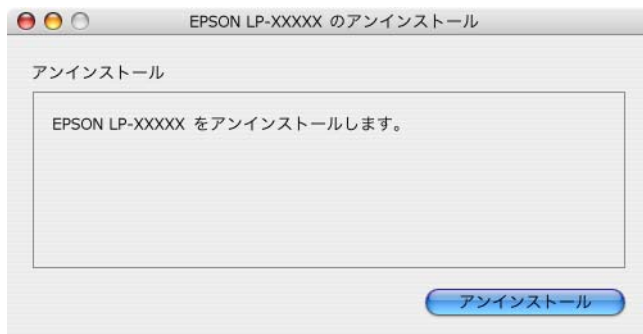
💡 ハードディスクの [ライブラリ] - [Application Support] - [EPSON_P1] - [LP-M720] フォルダ内の [EPSON LP-M720 Network Utility.app] をダブルクリックすると、直接 **Network Utility** を起動することができます。

4 再度 TWAIN 対応アプリケーションより [EPSON LP-M720 Network] を選択し、画面の指示に従って操作します。

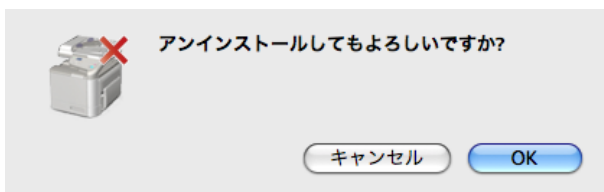
スキャナードライバーのアンインストール

1 ハードディスクから [ライブラリ] - [Applications Support] - [EPSON_P1] - [LP-M720] フォルダー内の [EPSON LP-M720 Uninstaller] をダブルクリックします。

2 [アンインストール] をクリックします。

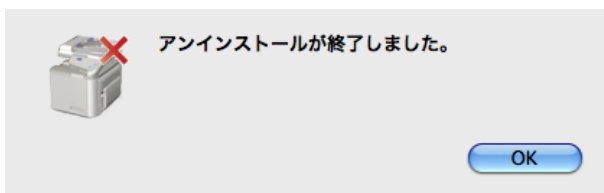


3 [OK] をクリックします。



4 [認証] 画面で、管理者の名前とパスワードをダイアログボックスに入力し、[OK] をクリックします。
アンインストールを開始します。

5 [OK] をクリックします。



これでスキャナードライバーのアンインストールが完了しました。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンターの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンターがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンターがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
Bonjour でプリンターが検出できない。	EpsonNet Config の管理者モードで、[ネットワーク] タブ - [Bonjour] メニュー - [Bonjour] を [有効] に設定してください。
プリンタードライバーのバージョンを確認したい。	<p>Mac OS X 10.4 の場合： アップルメニューの [システム環境設定] - [プリントとファクス] より本機を選択します。[プリンタ設定] をクリックし、ポップアップリストから [名前と場所] を選択します。</p> <p>Mac OS X 10.5/10.6 の場合： アップルメニューの [システム環境設定] - [プリントとファクス] より本機を選択します。[オプションとサプライ] をクリックし、[一般] タブをクリックします。</p>
他社製のプリンターから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	単位変換をする時の四捨五入誤差に関する OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。(例：14.70 cm → 14.69 cm)
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	<p>OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。</p> <p>Legal、GLG、HLT、F4</p>
N-up 印刷を複数部行ったとき、[丁合い] を指定していると、連続して印刷される。	N-up 印刷を複数部行うときは、[丁合い] を指定しないでください。

症状	対応・処置
Acrobat Reader からの印刷時、[丁合い] が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の [プレビュー] で印刷してください。
Mac OS X 10.5/10.6 を使用した場合、印刷時に一部の設定で禁則処理が行われない。	OS の制限事項です。Apple 社のデータベースを確認してください。
Mac OS X 10.4 を使用して、カスタム用紙サイズを選択し、幅を 21.6 cm に設定し、ジョブを送信すると Letter サイズの用紙を要求される。	カスタム用紙サイズの幅を 21.59cm に変更し、再度ジョブを送信してください。
大量のページを印刷していて、[排紙トレイいっぱいです用紙を除いてください] が表示された後に用紙を取り除いても、最初のページから印刷される。	OS の制限事項です。エラーメッセージが表示される前に、排紙トレイから用紙を取り除いてください。

NetWare での 使い方

2


NetWare による利用


本機のプリンターコントローラーは、以下の環境をサポートしています。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	Bindery/NDS	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS (lpr)	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンターモードの場合

 バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。


- 1 クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバーにログインします。
 - 2 Pconsole を起動します。
 - 3 [利用可能な項目] から [クイックセットアップ] を選択し、[Enter] キーを押します。
 - 4 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他 / 不明] に設定して、保存します。
 - 5 [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。
 - 6 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。
-  キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。
- 7 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] - [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。
 - [NetWare 印刷] : [無効]

- [フレームタイプ]：[自動]（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- [モード]：[無効]
- [プリンター名]：プリンター名を設定します。（初期値：LP-M720-xxxxxx）
- [プリンター番号]：プリンター番号（0 ～ 255）を設定します。255 を設定すると [Auto] になります。

8 本機の電源の再投入（オフ／オン）を行います。

9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが [ジョブの待機中] になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバーモードの場合

 バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバーにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 [利用可能な項目] から [クイックセットアップ] を選択し、[Enter] キーを押します。

4 [プリントサーバー名]、[プリンター名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他 / 不明] に設定して、保存します。

5 [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。

6 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] - [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。

- [NetWare 印刷]：[無効]
- [フレームタイプ]：[自動]（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- [モード]：[無効]
- [プリントサーバー名]：手順 4 で作成したプリントサーバー名

- [プリントサーバーパスワード]：NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- [プリントキュー取得間隔]：1（必要に応じて変更してください）
- [Bindery/NDS]：[Bindery/NDS]
- [優先ファイルサーバー]：Pserver を接続するファイルサーバー名

7 本機の電源の再投入（オフ／オン）を行います。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。


NetWare 4.x リモートプリンターモード（NDS）の場合

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから [プリントサービスクイックセットアップ] を選択します。

4 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他 / 不明] に設定して、保存します。

 キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。


5 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] - [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。

- [NetWare 印刷]：[無効]
- [フレームタイプ]：[自動]（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
- [モード]：[無効]
- [プリンター名]：プリンター名を設定します。（初期値：LP-M720-xxxxxx）


- [プリンター番号]：プリンター番号（0 ～ 255）を設定します。
255 を設定すると [Auto] になります。

- 6 本機の電源の再投入（オフ／オン）を行います。
- 7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。
- 8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが [ジョブの待機中] になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバーモード（NDS）の場合

 プリントサーバーモードを使用する場合は、NetWare サーバーに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

- 1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2 NWadmin を起動します。
- 3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから [プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）] を選択します。
- 4 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他 / 不明] に設定して、[作成] をクリックします。


 キューを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。


- 5 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] - [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。
 - [NetWare 印刷]：[無効]
 - [フレームタイプ]：[自動]（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
 - [モード]：[無効]
 - [プリントサーバー名]：手順 4 で作成したプリントサーバー名

- [プリントサーバーパスワード]：NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- [プリントキュー取得間隔]：1（必要に応じて変更してください）
- [Bindery/NDS]：[NDS]
- [優先 NDS コンテキスト名]：Pserver を接続するコンテキスト名
- [優先 NDS ツリー名]：Pserver がログインするツリー名


- 6 本機の電源の再投入（オフ／オン）を行います。
- 7 NetWare サーバーのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。
- 8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合

 NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカーと NDPS マネージャーが作成、ロードされていることを確認してください。

 NetWare サーバーで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

- 1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2 NWAdmin を起動します。
- 3 プリンターエージェントを作成する [組織]、[部門] コンテナを右クリックし、作成より、[NDPS プリンタ] を選択します。
- 4 [NDPS プリンタ名] 欄に、[プリンタ名] を入力します。
- 5 [プリンターエージェントのソース] 欄で [新規プリンターエージェントを作成する] を選択し、[作成] をクリックします。
- 6 プリンターエージェント名を確認し、[NDPS マネージャ名] 欄で、NDPS マネージャーをブラウズし、登録します。
- 7 [ゲートウェイタイプ] で、[Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、登録します。

- 8 [Novell NDPS の設定] ウィンドウで、プリンター [(なし)]、ポートハンドラー [Novell ポートハンドラ] を選択し、登録します。
 - 9 [接続タイプ] で、[リモート (IP 上で LPR)] を選択し、登録します。
 - 10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンター名に [Print] と入力して [完了] を押して登録します。
 - 11 プリンタードライバーの登録画面が現れますが、各 OS とも [なし] を選択して登録を終了してください。
-  プリンターを使用するユーザー権限、プリンター通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバーを使用するときのクライアント (Windows) の設定

- 1 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから、[プリンタと FAX] をクリックします。
-  [スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。
- 2 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[プリンターの追加] をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。
Windows XP の場合は、[プリンタのタスク] メニューから [プリンタのインストール] をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] をダブルクリックします。
[プリンタの追加ウィザード] が起動します。

- 3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。
- 4 プリンタモデルの一覧で、使用する OS やプリンタードライバーに応じて、ソフトウェアディスク内のプリンタードライバーのあるフォルダーを指定します。
- 5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

Local Setup Program (LSP) の使い方

3

Local Setup Program (LSP) について

本機に接続されたコンピューターに Local Setup Program (LSP) をインストールすることにより、コンピューターから以下の操作を行うことができます。

- 本機の短縮ダイアル、グループダイアル、常用の登録情報をコンピューターに保存
- 本機の短縮ダイアル、グループダイアル、常用の登録情報の変更
- トータルカウンターと本機の設定内容の確認
- 本機の短縮ダイアル、グループダイアル、常用の登録情報の印刷

LSP の動作環境

LSP のインストールをする前に、以下の動作環境を確認してください。

OS	Windows XP (32bit/64bit) Windows Vista (32bit/64bit) Windows 7 (32bit/64bit) Windows Server 2003 (32bit/64bit) Windows Server 2008 (32bit/64bit) Windows Server 2008 R2
CPU	Pentium 2 以上の CPU
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ハードディスク空き容量	100 MB 以上推奨
インターフェース	USB 2.0 (High Speed)
ウェブブラウザ	Internet Explorer Ver 6.0 以降
対応言語	日本語、英語

💡 USB ケーブルは、A タイプ (4 ピンオス) と B タイプ (4 ピンオス) のものを使用してください。また、USB ケーブルの長さが、3 m 以下のものを使用することをおすすめいたします。


💡 本機にプリンタードライバーと TWAIN ドライバーがインストールされていることを確認してください。


LSP をご使用になる前に

LSP をご使用になる前に、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続し、コンピューターに LSP をインストールする必要があります。

1 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続します。

2 コンピューターにドライバーをインストールします。

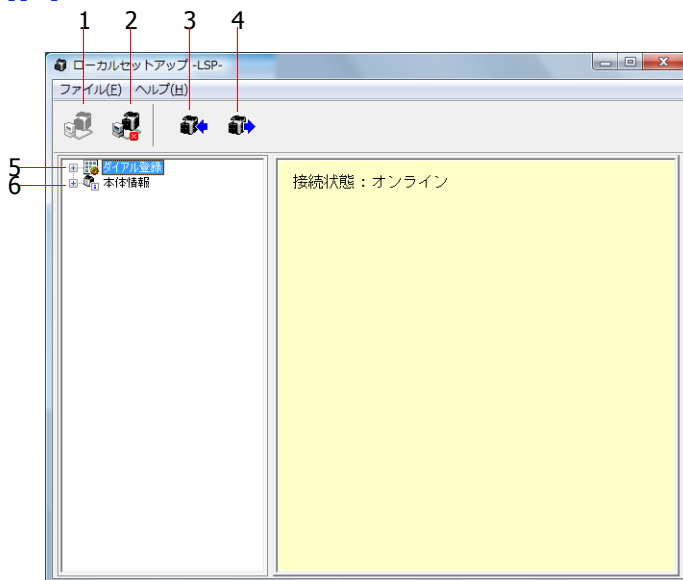
 ドライバーのインストールについて詳しくは、[インストールレーションガイド] をごらんください。

 インストール時に [簡単インストール] を実行していれば、LSP はインストールされます。

LSP の起動

1 [スタート] メニューから [EPSON] - [EPSON LP-M720] - [LSP] - [EPSON LP-M720 Local Setup Program] をクリックします。LSP 画面が表示されます。


LSP 画面




No.	名前	説明
1	[接続] アイコン	LSP と本機を接続します。
2	[切断] アイコン	LSP と本機の接続を切断します。
3	[アップロード] アイコン	設定ファイルを本機に送信します。
4	[ダウンロード] アイコン	本機の設定をコンピュータに送信します。
5	[ダイヤル登録]	[+] をクリックすると、本機に登録されている短縮ダイヤル、グループダイヤル、常用を表示します。
6	[本体情報]	[+] をクリックすると、本体の情報を確認できます。 詳しくは、「本体情報の確認」(p.141) をご覧ください。

LSP の操作方法

本機に接続する

- 1  をクリックします。

LSP と本機を接続すると、メイン画面上に [接続状態：オンライン] と表示されます。


 LSP で操作を行っているとき、本機の操作パネルから操作できません。

本機から登録内容をダウンロードする

 をクリックします。

本機に登録されているすべての情報がダウンロードされます。


本機へ登録内容をアップロードする


 をクリックします。

本機に登録されているすべての情報がアップロードされます。

ダイアルのインポート／エクスポート

短縮ダイアル、グループダイアル、常用の情報は、[ファイル] メニューから [ダイアルのインポート] を選択し、本機に情報の読み込みを行います。これらの項目は、[ファイル] メニューから [ダイアルのエクスポート] を選択し、書き出すこともできます。






 本機の情報を読み込む、または書き出す場合は、前回読み込んで、保存されたファイルを開きます。

 Excel で編集した CSV ファイルはインポートしないでください。

ダイアル登録の設定

ここでは、短縮ダイアル、グループダイアル、常用の登録、編集、削除の操作について説明します。

短縮ダイアルの登録


- 1 [ダイアル登録] 横の [＋] をクリックし、[短縮ダイアル] 横の [＋] をクリックします。
- 2 短縮ダイアルの登録先を指定します。
 - － ファクスまたはメールに登録したい場合、[ファクス / メール] 横の [＋] をクリックします。
 - － FTP または SMB に登録したい場合、[FTP/SMB] 横の [＋] をクリックします。
- 3 ツリーから短縮ダイアル番号を選択し、[新規登録] ボタンをクリックします。
 -  [ファクス / メール] には最大 220 件、[FTP/SMB] には最大 30 件の宛先を登録することができます。
 -  [短縮ダイアル設定] を変更し、短縮ダイアルリストの表示を切り替えることができます。
 -  ツリーから [ファクス / メール] または [FTP/SMB] を選択し、短縮ダイアルを登録すると、空きの短縮ダイアル番号に自動で割り当てられます。
- 4 短縮ダイアル登録画面で、必要な項目を入力します。
 -  [ファクス]、[メール] に登録する方法について詳しくは、「短縮ダイアルの登録（ファクス / メール）」(p.134) をご覧ください。
 -  [FTP]、[SMB] に登録する方法について詳しくは、「短縮ダイアルの登録（FTP/SMB）」(p.135) をご覧ください。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
短縮ダイアルの登録が完了します。

短縮ダイアルの登録（ファクス / メール）

ここでは、ファクスやメール送信を行うときに使用する、短縮ダイアルを登録する手順を説明します。送信条件や宛先などの設定を、短縮ダイアルに登録できます。


ファクス登録

- 1 [新規登録] ボタンをクリックします。
- 2 [ファクス] を選択します。
- 3 短縮ダイアルに必要な情報を入力します。
 - － [宛先名]：短縮ダイアルの名前を、半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字以内で入力します。
 - － [宛先名説明]：相手先の説明を、半角 20 文字以内、または全角 10 文字以内で入力します。
 - － [ファクス番号]：ファクス番号を、半角（数字、スペース、*、#、-、P（ポーズ））50 文字以内で入力します。

 P（ポーズ）は大文字のみ入力できますが、ファクス番号の先頭には入力できません。

- 4 [詳細設定] ボタンをクリックし、[速度] と [一括送信タイム（時：分）] を指定します。

- 5 短縮ダイアルをグループに登録する場合、[グループに追加] から追加したいグループ番号を選択します。

 グループダイアルの編集について詳しくは、「グループダイアルを編集する」(p.138) をごらんください。


- 6 [OK] ボタンをクリックします。
登録された宛先が [ダイアル登録] リストに表示されます。

メール登録

- 1 [新規登録] ボタンをクリックします。
- 2 [メール] を選択します。
- 3 短縮ダイアルに必要な情報を入力します。

- [宛先名]：短縮ダイアルの名前を、半角（カタカナ、英数字、記号）20 文字以内で入力します。
- [宛先名説明]：相手先の説明を、半角 20 文字以内、または全角 10 文字以内で入力します。
- [E-mail アドレス]：相手先のメールアドレスを半角 64 文字以内（英数字、記号）で入力します。

4 短縮ダイアルをグループに登録する場合、[グループに追加] から追加したいグループ番号を選択します。

 グループダイアルの編集について詳しくは、「グループダイアルを編集する」(p.138) をごらんください。

5 [OK] ボタンをクリックします。 登録された宛先が [ダイアル登録] リストに表示されます。

短縮ダイアルの登録（FTP/SMB）

ここでは、サーバー経由でのスキャンデータ送信を行うときに使用する、短縮ダイアルを登録する手順を説明します。送信条件や宛先などの設定を、短縮ダイアルに登録できます。

FTP 登録

1 [新規登録] ボタンをクリックします。

2 [FTP] を選択します。

3 必要に応じて FTP の設定を行います。

- [相手名]：相手先の名前を、半角 20 文字以内で入力します。
- [宛先名説明]：相手先の説明を、半角 20 文字以内、または全角 10 文字以内で入力します。
- [FTP サーバーアドレス]：FTP サーバーの IP アドレスまたは FTP サーバーのホスト名を半角（英数字、記号）64 文字以内で入力します。
- [ディレクトリ]：FTP サーバーのフォルダーを指定します。サブフォルダーを指定する場合は、サブフォルダーのパスを半角（英数字、記号、/）128 文字以内で入力します。
- [リモートポート番号]：FTP サーバーと通信するときに使用するポート番号を設定します。
- [プロキシサーバーを使用する]：プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

- [PASV モード]：PASV モードを使用するかどうかを設定します。
- [カラー設定]：カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを選択します。
- [符号化方式]：白黒画像を送信する時の圧縮方式を選択します。
- [添付ファイル形式]：スキャンした画像を保存するファイル形式を選択します。
- [モード]：原稿の画質を選択します。
- [解像度]：スキャンする解像度を選択します。
- [スキャン範囲]：スキャンする画像のサイズを選択します。
- [メール送信通知]：FTP サーバーへの送信を行った後、メール通知をするかどうかを設定します。
- [通知先アドレス]：通知先のメールアドレスを半角（英数字、記号）64 文字以内で入力します。
- [匿名]：FTP サーバーへログインする際に、ユーザー名とパスワードが不要な場合に選択します。
- [プライベートサイト]：FTP サーバーへログインする際に、ユーザー名とパスワードが必要な場合に選択します。
- [ユーザー名]：FTP サーバーへログインするためのユーザー名を半角（英数字、記号）20 文字以内で入力します。
- [パスワード]：FTP サーバーへログインするためのパスワードを半角（英数字、記号）20 文字以内で入力します。
- [パスワードの再入力]：確認のため、パスワードを再入力します。

4 [OK] ボタンをクリックします。

登録された宛先が [ダイアル登録] リストに表示されます。

SMB 登録

1 [新規登録] ボタンをクリックします。

2 [SMB] を選択します。

3 必要に応じて SMB の設定を行います。

- [相手名]：相手先の名前を、半角 20 文字以内で入力します。
- [相手名説明]：相手先の説明を、半角 20 文字以内、または全角 10 文字以内で入力します。
- [送信先アドレス]：SMB サーバーの IP アドレス、SMB サーバーのホスト名、共有 PC の名前のいずれかを半角（英数字、記号）64 文字以内で入力します。

- [ディレクトリ]：SMB サーバーまたは共有 PC のフォルダーを指定します。サブフォルダーを指定する場合は、サブフォルダーのパスを半角（英数字、記号、/）128 文字以内で入力します。



SMB サーバーのフォルダー名と共有名が異なる場合、共有名を入力します。

- [カラー設定]：カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを選択します。
- [符号化方式]：白黒画像を送信する時の圧縮方式を選択します。
- [添付ファイル形式]：スキャンした画像を保存するファイル形式を選択します。
- [モード]：原稿の画質を選択します。
- [解像度]：スキャンする解像度を選択します。
- [スキャン範囲]：スキャンする画像のサイズを選択します。
- [メール送信通知]：SMB サーバーへの送信を行った後、メール通知をするかどうかを設定します。
- [通知先アドレス]：通知先のメールアドレスを半角（英数字、記号）64 文字以内で入力します。
- [匿名]：SMB サーバーへログインする際に、ユーザー名とパスワードが不要な場合に選択します。
- [プライベートサイト]：SMB サーバーへログインする際に、ユーザー名とパスワードが必要な場合に選択します。
- [ユーザー名]：SMB サーバーへログインするためのユーザー名を半角（英数字、記号）20 文字以内で入力します。
- [パスワード]：SMB サーバーへログインするためのパスワードを半角（英数字、記号）20 文字以内で入力します。
- [パスワードの再入力]：確認のため、パスワードを再入力します。

4

[OK] ボタンをクリックします。

登録された宛先が [ダイアル登録] リストに表示されます。

短縮ダイアルの編集

1

編集したい短縮ダイアルをツリーから選びます。

2

[編集] ボタンをクリックします。

3

短縮ダイアルの登録画面で、必要に応じて設定を行います。

4

[OK] ボタンをクリックします。


編集が完了し、登録リストの画面に戻ります。


短縮ダイアルの削除

- 1 削除したい短縮ダイアルをツリーから選びます。
- 2 [削除] ボタンをクリックします。
選択した登録ダイアル番号から、登録されている宛先情報が削除されます。

グループダイアルを編集する


ここでは、グループダイアルの名称を編集する操作について説明します。


 グループの編集またはグループからの削除は、短縮ダイアルの設定のなかで行います。詳しくは、「短縮ダイアルの編集」(p.137)をごらんください。

- 1 [ダイアル登録] 横の [+] をクリックし、[グループダイアル] 横の [+] をクリックします。
- 2 表示されたツリーから編集したいグループを選択します。
- 3 [編集] ボタンをクリックします。
 グループ内の短縮ダイアル番号を選択すると、短縮ダイアルの登録内容を変更することができます。
詳しくは、「短縮ダイアルの編集」(p.137)をごらんください。
- 4 グループ名を編集します。
 - [グループ名説明]：相手先の説明を、半角 20 文字以内、または全角 10 文字以内で入力します。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
グループ名の編集が完了しました。

常用の登録


ここでは、常用を登録する操作について説明します。常用には、よく使う短縮ダイアルやグループダイアルを登録できます。

 常用には、最大 20 件の宛先を登録することができます。

- 1 【ダイヤル登録】横の【+】をクリックし、【常用】をクリックします。
 - 2 【新規登録】 ボタンをクリックします。
 【常用登録】 画面が表示されます。
 - 3 【短縮 ダイヤル】 または 【グループ ダイヤル】 のどちらかをクリック
 します。
 それぞれのダイヤルに登録されている宛先が【短縮ダイヤル - グループ
 ダイヤルリスト】に表示されます。
 - 4 【短縮ダイヤル - グループダイヤルリスト】 から登録したい宛先を選択
 し、【OK】 ボタンをクリックします。
 登録された宛先が【ダイヤル登録】 リストに表示されます。
-  常用から宛先を削除する場合、ツリーから常用を選択し、【削除】 ボ
タンをクリックします。

短縮ダイアル、グループダイアル、常用の印刷

本機に登録された短縮ダイアル、グループダイアル、常用のリストを印刷することができます。

 印刷を行う前に本機との接続を切断してください。接続中は印刷することはできません。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
 [印刷項目選択] 画面が表示されます。
- 2 印刷したい項目のチェックボックスを選択します。
 - － [すべて] を選択すると、リスト内のすべての項目が印刷されます。
 - － [No. 指定] を選択すると、印刷する項目の番号を指定できます。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
- 4 必要に応じて印刷設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。
 リストが印刷されます。

本体情報の確認

本機よりダウンロードした設定内容を表示します。トータルカウンターとマシン状態を確認することができます。

トータルカウンターの確認


[本体情報] 横の [+] をクリックし、[トータルカウンター] をクリックします。


トータルカウンターが表示されます。

設定概要の確認

[本体情報] 横の [+] をクリックし、[設定の概要] をクリックします。
本体の情報が表示されます。

LSP のアンインストール

 LSP のアンインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 を使用時に [ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。

1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson LP-M720] - [LSP] - [アンインストール] をクリックします。

2 画面の指示に従って操作します。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
LSP 使用中、プリンタードライバーの画面が表示されるまでに時間がかかる。	プリンタードライバーの画面が表示されるまでお待ちください。

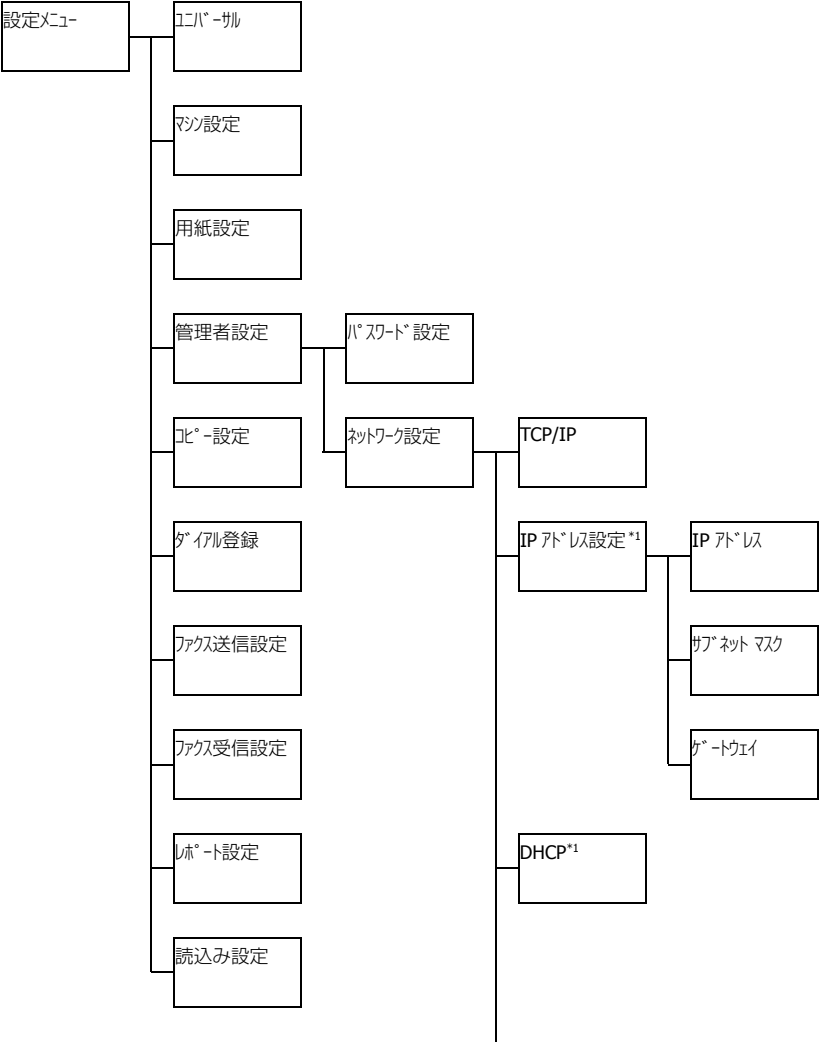
ネットワーク設定 メニューについて

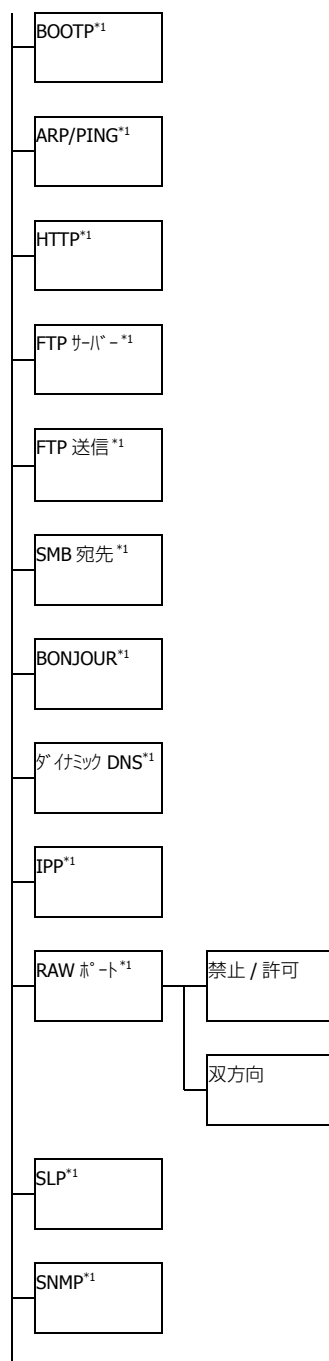
4

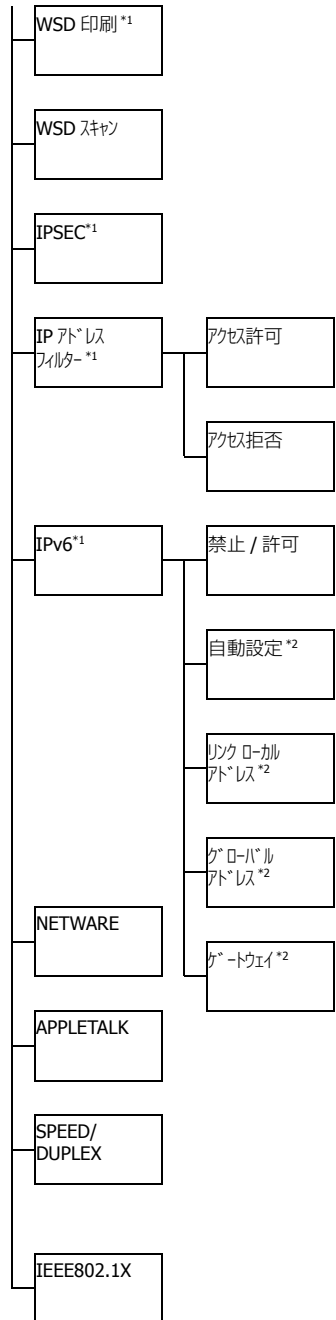
ネットワーク設定メニュー

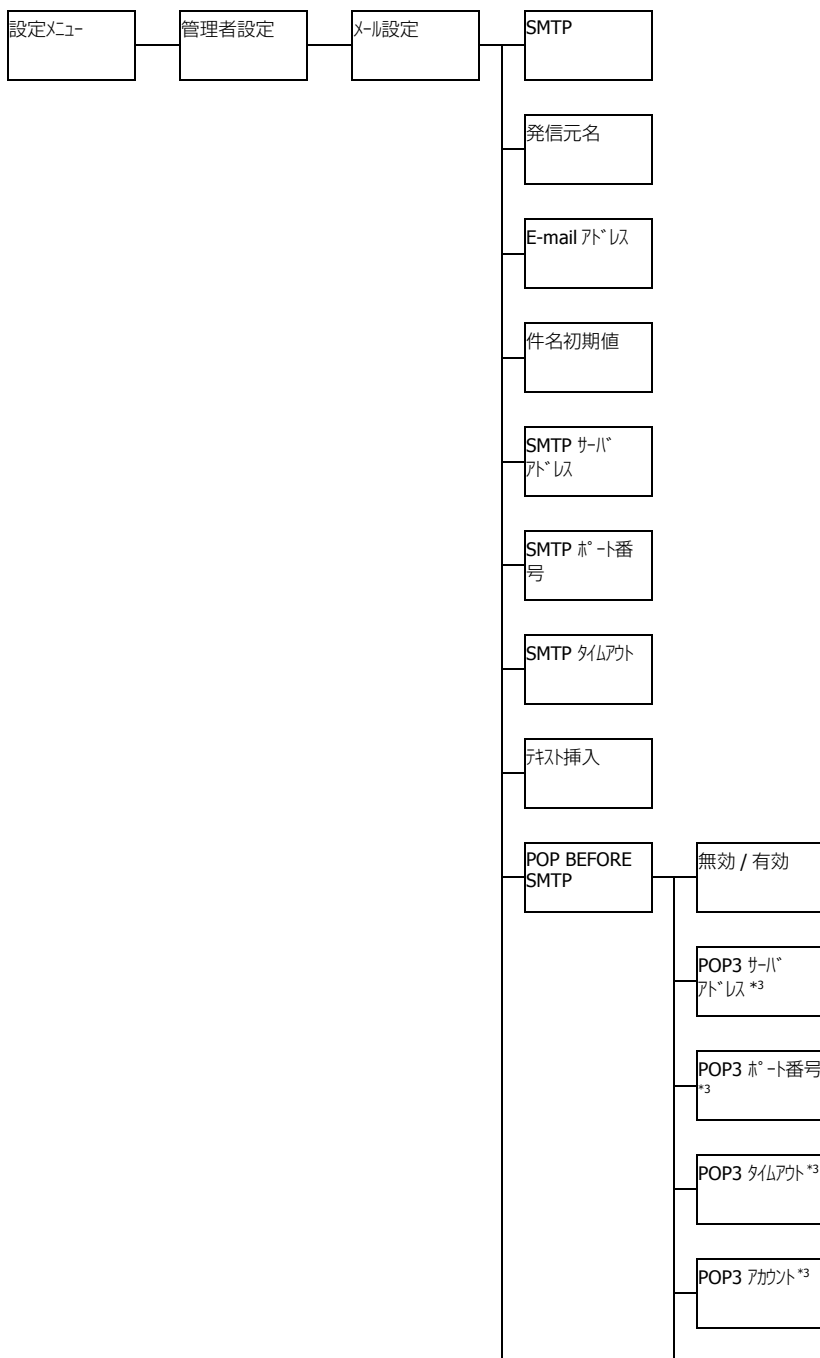
設定メニューの構成

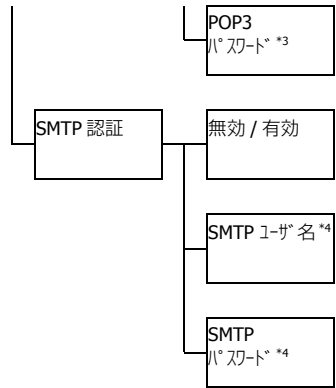
💡 [管理者設定] は、管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、[管理者設定] を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（初期値：000000）を入力してから選択キーを押してください。

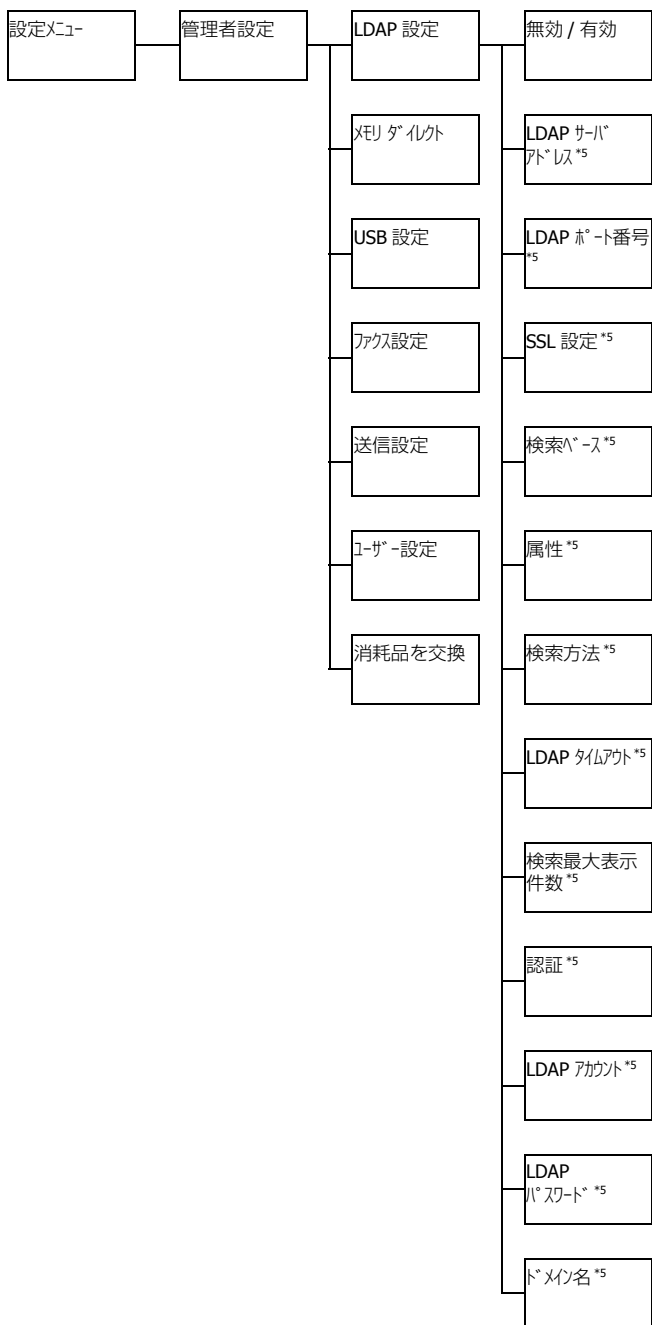














- *1 この項目は [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が [有効] に設定されている場合のみ表示されます。
- *2 この項目は [ネットワーク設定] - [IPv6] - [禁止 / 許可] が [有効] に設定されている場合に表示されます。
- *3 この項目は [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [無効 / 有効] が [有効] に設定されている場合のみ表示されます。
- *4 この項目は [メール設定] - [SMTP 認証] - [無効 / 有効] が [有効] に設定されている場合のみ表示されます。
- *5 この項目は [LDAP 設定] - [禁止 / 許可] が [有効] に設定されている場合のみ表示されます。

ネットワーク設定メニューの表示

本機の操作パネルで以下のキー操作を行い、本機のネットワークメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	メッセージウィンドウ
[▼] キー	[設定メニュー]
[選択] キー	[エディット]
[▼] キー	[管理者設定]
[選択] キー	テンキーで 6 桁の管理者番号（初期値：000000）を入力します。
[選択] キー	[管理者番号]
[▼] キー	[ネットワーク設定]
[選択] キー	[TCP/IP]

ネットワーク設定メニューの設定項目

本機がネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。



- IP アドレスを設定する際に、クラス D (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255) またはクラス E (240.0.0.0 ~ 255.255.255.255) の IP アドレスは設定しないでください。また、IP アドレスの下 3 桁に「255」を使用することはできません。

TCP/IP

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、TCP/IP が無効になります。 [有効] に設定すると、TCP/IP が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

IP アドレス設定

IP アドレス

目的	本機のネットワーク上の IP アドレスを設定します。
初期値	[0.0.0.0]
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、[◀]、[▶] キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
備考	■「.001」のような入力はできません。「.1」として [◀]、[▶] キーで移動させます。 ■[戻る] キーは、削除に使用します。IP アドレスメニューをキャンセルするには、1 秒以上 [戻る] キーを長押しして、すべての設定をクリアした後に、再度 [戻る] キーを押してください。

サブネットマスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、本機の利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
初期値	[0.0.0.0]

範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、[◀]、[▶] キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ■ [.001] のような入力はできません。[.1] として [◀]、[▶] キーで移動させます。 ■ [戻る] キーは、削除に使用します。IP アドレスメニューをキャンセルするには、1 秒以上 [戻る] キーを長押しして、すべての設定をクリアした後に、再度 [戻る] キーを押してください。

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルーター／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザーからも本機を利用できるようにする場合に、ルーター／ゲートウェイのアドレスを設定します。
初期値	[0.0.0.0]
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 テンキーを押して数値を入力し、[◀]、[▶] キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ■ [.001] のような入力はできません。[.1] として [◀]、[▶] キーで移動させます。 ■ [戻る] キーは、削除に使用します。IP アドレスメニューをキャンセルするには、1 秒以上 [戻る] キーを長押しして、すべての設定をクリアした後に、再度 [戻る] キーを押してください。

DHCP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合に、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

BOOTP

目的	ネットワーク内に BOOTP サーバーがある場合に、BOOTP サーバーから自動的に IP アドレスを取得、または他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

ARP/PING

目的	DHCP もしくは BOOTP によって IP アドレスを取得できず、また固定の IP アドレスを割り当てられていない場合は、はじめに本機に届いた ICMP(Ping) パケットのあて先 IP アドレスを、本機の IP アドレスとして取得できます。 [無効] に設定すると、IP アドレスを自動的に取得しません。 [有効] に設定すると、IP アドレスを自動的に取得します。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

HTTP

目的	HTTP を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、HTTP が無効になります。 [有効] に設定すると、HTTP が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

FTP サーバー

目的	FTP サーバー機能を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、FTP サーバー機能が無効になります。 [有効] に設定すると、FTP サーバー機能が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

FTP 送信

目的	FTP クライアント機能を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、FTP クライアント機能が無効になります。 [有効] に設定すると、FTP クライアント機能が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

SMB 宛先

目的	SMB を有効にするかどうかを選択します。 [無効] を選択すると、SMB が無効になります。 [有効] を選択すると、SMB が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

BONJOUR

目的	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、Bonjour が無効になります。 [有効] に設定すると、Bonjour が有効になります。
----	---

設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

ダイナミック DNS

目的	ダイナミック DNS を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、Dynamic DNS が無効になります。 [有効] に設定すると、Dynamic DNS が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

IPP

目的	IPP を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、IPP が無効になります。 [有効] に設定すると、IPP が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

RAW ポート

禁止／許可

目的	RAW ポートを有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、RAW ポートが無効になります。 [有効] に設定すると、RAW ポートが有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

双方向

目的	RAW ポートを使用した通信を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、RAW ポートを使用した通信が無効になります。 [有効] に設定すると、RAW ポートを使用した通信が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

SLP

目的	SLP を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、SLP が無効になります。 [有効] に設定すると、SLP が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

SNMP

目的	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、SNMP が無効になります。 [有効] に設定すると、SNMP が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

WSD 印刷

目的	WSD 印刷を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、WSD 印刷が無効になります。 [有効] に設定すると、WSD 印刷が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

WSD スキャン

目的	WSD スキャンを有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、WSD スキャンが無効になります。 [有効] に設定すると、WSD スキャンが有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

IPSEC

目的	IPsec を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、IPsec が無効になります。 [有効] に設定すると、IPsec が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

IP アドレス フィルター

アクセス許可

目的	IP アドレスによるアクセス許可を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、アクセス許可が無効になります。 [有効] に設定すると、アクセス許可が有効になります。
----	---

設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

アクセス拒否

目的	IP アドレスによるアクセス拒否を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、アクセス拒否が無効になります。 [有効] に設定すると、アクセス拒否が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

IPv6

禁止／許可

目的	IPv6 を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、IPv6 が無効になります。 [有効] に設定すると、IPv6 が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

自動設定

目的	自動設定を有効にするかどうかを設定します。 [はい] に設定すると、自動設定が有効になります。 [いいえ] に設定すると、自動設定が無効になります。
設定値	[はい] [いいえ]
初期値	[はい]

リンクローカルアドレス

目的	リンクローカルアドレスを表示します。
----	--------------------

グローバルアドレス

目的	グローバルアドレスを表示します。
----	------------------

ゲートウェイ

目的	ゲートウェイを表示します。
----	---------------

NETWARE

目的	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、NetWare が無効になります。 [有効] に設定すると、NetWare が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

APPLETALK

目的	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、AppleTalk が無効になります。 [有効] に設定すると、AppleTalk が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[有効]

SPEED/DUPLEX

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	[自動] [10BASE FULL] [10BASE HALF] [100BASE FULL] [100BASE HALF] [1000BASE FULL]
初期値	[自動]

IEEE802.1X

目的	IEEE802.1X を有効にするかどうかを設定します。 [無効] に設定すると、IEEE802.1X が無効になります。 [有効] に設定すると、IEEE802.1X が有効になります。
設定値	[無効] [有効]
初期値	[無効]

ネットワーク印刷

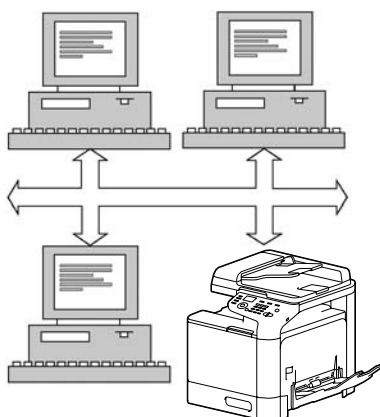
5

ネットワーク接続

概念図

本機を TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスを本機に設定しておく必要があります。

💡 多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルーター）アドレスも入力する必要があります。



接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクターです。

本機をイーサネットネットワークに接続するときは、本機の IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。本機の工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）


ネットワーク上にある各コンピューターと本機の IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常本機の初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、本機の電源をオンにすると、DHCP サーバーによって本

機の IP アドレスが自動的に割り当てられます。(DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」(p.166) を参照してください。)

 本機の IP アドレスが自動的に設定されない場合は、本機の設定で DHCP が有効になっているかを確認してください。([設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [DHCP] を選択してください。)

1 本機をネットワークに接続します。


イーサネットケーブルのコネクター (RJ45) を、本機のイーサネットインターフェースポートに差し込んで、本機をネットワークに接続します。

2 コンピューターと本機の電源をオンにします。

3 本機のメッセージ画面から [ウォームアップ 中] という表示が消えたら、設定メニューリストを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。


設定メニューリストを印刷する場合は、[レポート / ステータス] - [レポート] - [設定メニューリスト] を選択してください。

4 プリンタードライバーをインストールします。

 DHCP サーバーに接続できない場合、169.254.0.0 から 169.254.255.255 の範囲で、IP アドレスが自動的に設定されます。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。

 手動で IP アドレスを設定する場合は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [DHCP]、[BOOTP]、[ARP/PING] で [無効] を選択してください。

また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタードライバーを再インストールしてください。

！重要

本機の IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 本機をネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクター (RJ45) を、本機のイーサネットインターフェースポートに差し込んで、本機をネットワークに接続します。

2 コンピューターと本機の電源をオンにします。

3 IP アドレスの設定を行います。

- IP アドレスを指定する場合は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス設定] - [IP アドレス] を選択してください。
- 設定を変更したら [選択] キーを押してください。

4 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 6 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

- サブネットマスクを設定する場合は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス設定] - [サブネットマスク] を選択します。
- 設定を変更したら [選択] キーを押してください。

5 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 6 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

- ゲートウェイアドレスを設定する場合は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス設定] - [ゲートウェイ] を選択します。
- 設定を変更したら [選択] キーを押してください。

6 設定変更を保存し、本機を印刷可能な状態に戻します。

7 設定情報リストを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

設定情報リストを印刷する場合は、[レポート / ステータス] - [レポート] - [設定情報リスト] を選択します。

8 プリンタードライバーをインストールします。

ネットワーク印刷

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- AppleTalk
- Bonjour
- BOOTP
- DDNS
- DHCP
- FTP
- HTTP
- IEEE802.1X
- IPP
- IPsec
- IPv6
- IPX/SPX
- LLMNR
- LLTD
- LPD/LPR
- SLP
- ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト
- SMTP
- SNMP
- Port 9100
- WSD プリント

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

AppleTalk

AppleTalk は、Apple 社の Macintosh で使用されている通信プロトコル群の総称です。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は *Rendezvous* と呼ばれていましたが、Mac OS X 10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP (Bootstrap Protocol) は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバーの IP アドレス、起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DDNS (Dynamic DNS)

DDNS (Dynamic Domain Name System) は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。

近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバーとして公開しようとするユーザーが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダーから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。

DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバーにアクセスすることが可能になります。

DHCP

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

FTP

FTP (File Transfer Protocol) は、インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

HTTP

HTTP (HyperText Transfer Protocol) は、ワールドワイドウェブ (WWW) で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバーとブラウザーの動作が規定されています。例えば、ブラウザーで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバーに送られます。

IEEE802.1X

LAN でのユーザー認証の方式を定めたプロトコルで、無線だけでなく有線で利用することもできます。RADIUS サーバー（認証サーバー）により認証を行い、認証に成功したユーザーは通信を行うことができます。認証に失敗したユーザーとの通信は行われません。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザーは、プリンターの機能の確認、プリンターへのプリントジョブの送信、プリンターやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳しくは、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p.171）をごらんください。

IPsec

TCP/IP で使用されているセキュリティ技術です。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティを強化したサービス提供が可能となります。

IPv6

IPv6（Internet Protocol version 6）は、インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルです。IP アドレスが 128 ビット化され、セキュリティ機能が追加されています。

IPX/SPX

IPX/SPX（Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange）は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LLMNR

LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）は、近隣のコンピューターの名前解決を実行するためのプロトコルです。リクエストおよび応答メッセージの単純な交換を使用して、DNS サーバーまたは DNS クライアントの構成を必要とせずに近隣のコンピューターの名前解決を実行できます。

LLTD

LLTD（Link Layer Topology Discovery）は、ネットワーク上に存在する機器がどのようにつながっているかを調べるための技術です。この技術を搭載したネットワーク機器は、ネットワーク上の Windows Vista/7/Server 2008 から存在を認識され、Windows Vista/7 のネットワークマップ上にアイコンとして表示されます。

LPD/LPR

LPD/LPR (Line Printer Daemon/Line Printer Remote) は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザーが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンターなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザーはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか (ユニキャスト)、受信可能な全エージェントに同時に送信されます (マルチキャスト)。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード (機器) に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード (機器) にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルーターはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルーターに接続された他のどのサブネットにも転送されません (ルーター側から見ると、1 つのサブネットは、ルーターのポートに接続されたすべてのコンピュータになります)。

これに対し、マルチキャストはルーターによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルーターから転送されます。

SMTP

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバー同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバーにメールを送信するためにも利用されています。

SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス (エージェントと呼ばれます) は、そのデバイスに関するデータを MIB (Management Information Bases) に記録し、そのデータを SNMP リクエスターに返します。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

WSD プリント

Web サービス機能を使用した印刷方法です。Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、Web サービス機能により、ネットワーク接続されたプリンターを自動的に検出して WSD プリンターとしてインストールします。印刷時に WSD プリンターを指定することで、通信に HTTP を使用して印刷できます。

IPP (Internet Printing Protocol) 印刷

- 💡 プリンタードライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 💡 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 を使用時に [ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
- 💡 IPP 印刷をするときは、ネットワーク設定が必要です。詳しくは「接続方法」(p.163) と「IPP」(p.168) をご覧ください。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

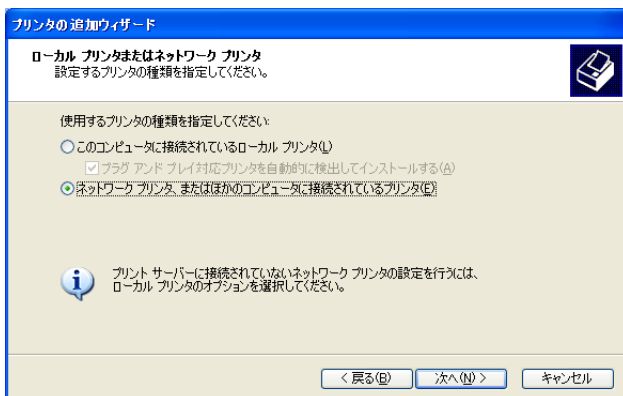
Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合、プリンタードライバのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [管理ツール] から [サーバーマネージャ] を選択します。
 - 💡 ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[許可] または [続行] をクリックします。
- 3 サーバーマネージャ画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。
- 4 [インターネット印刷クライアント] にチェックして機能をインストールします。
- 5 コンピューターを再起動します。

[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows XP/Server 2003 の場合)

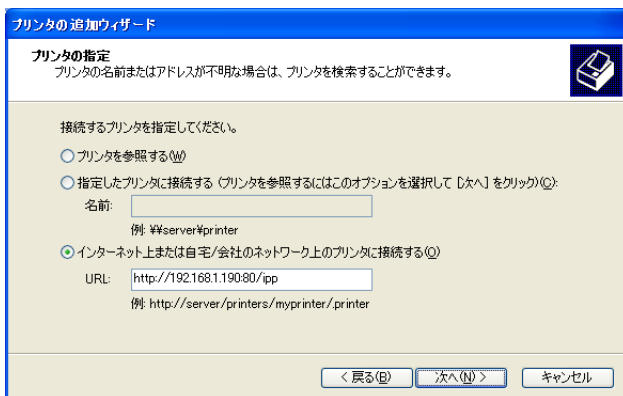
- 1 [スタート] をクリックして、[プリンタと FAX] を選択します。
- 2 [プリンタの追加] をクリックします。

- 3 2 番目に表示される画面で [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。



- 4 次に表示される画面で、[URL] に以下のいずれかの形式で本機のネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp



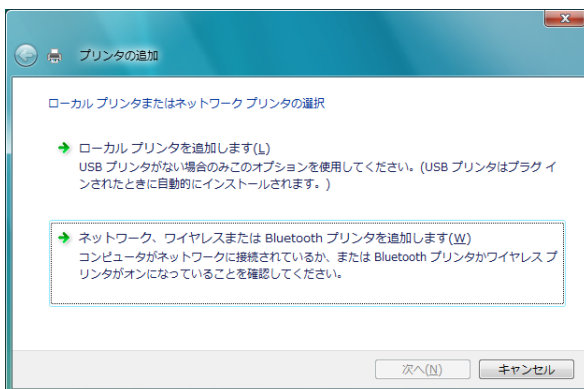
💡 本機へ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

- [プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。]

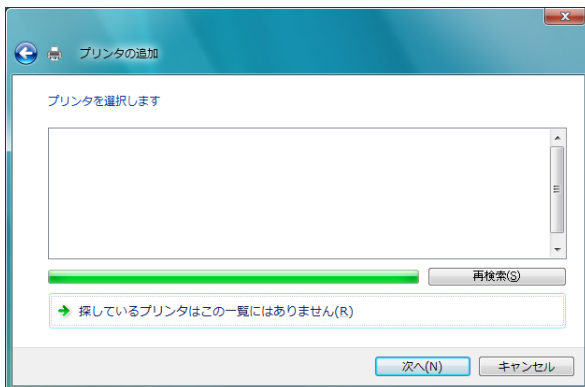
- 5 [ディスク使用] をクリックして、本製品のソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
- 6 [参照] を選択します。
- 7 ソフトウェアディスクの目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し（例：Printer\Driver\Drivers\Win_x86\PS\Japanese）、[開く] をクリックします。その後は画面の指示に従って設定を終了します。

【プリンタの追加】 ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合)

- 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
 - 💡 Windows 7 の場合、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンタの表示] をクリックします。
 - 💡 Windows Server 2008 R2 の場合、[ハードウェア] の [デバイスとプリンタの表示] をクリックします。
- 3 [プリンタの追加] をクリックします。
- 4 [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] をクリックします。

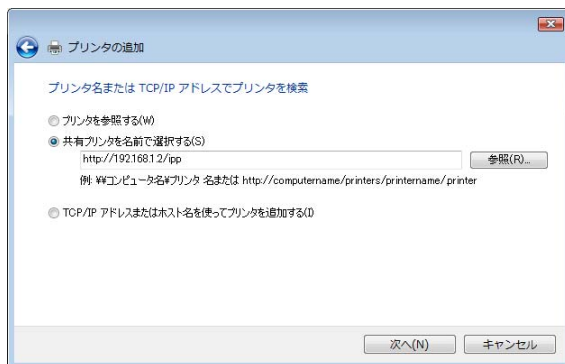


5 [探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。



6 次に表示される画面で、[共有プリンタを名前で選択する] に以下のいずれかの形式で本機のネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp



💡 本機へ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。

- [プリンタへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。]

7 [ディスク使用] をクリックして、本製品のソフトウェアディスクを CD/DVD ドライブに入れます。

8 [参照] をクリックします。

- 9 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し（例：Printer\Driver\Drivers\Win_x86\PS\Japanese）、[開く]をクリックします。その後は画面の指示に従って設定を終了します。

Web サービスプリント

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールできます。

- 💡 プリンタードライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 💡 プリンタードライバのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- 💡 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、[ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
- 💡 詳しくは「接続方法」(p.163)、「WSD プrint」(p.170) をご覧ください。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合

Windows Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合、プリンタードライバのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [管理ツール] から、[サーバーマネージャ] を選択します。
 - 💡 [ユーザーアカウント制御] が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
- 3 [サーバーマネージャ] 画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。
- 4 [印刷サービスツール] または [印刷とドキュメントサービスツール] を選んでインストールします。

ネットワークウィンドウからプリンタードライバを認識させる

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で Web サービスプリントを利用する場合は、プリンタードライバを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバを認識させます。

- 1 本機のプリンタードライバをインストールします。

インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバをインストールします。インストールするポートはどのポートでも構いません。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源をオン にします。

- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

3 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。

4 [ネットワーク] 画面を開きます。


- Windows Vista/Server 2008 の場合：[スタート] から [ネットワーク] をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合：[コンピューター] を開き、[ネットワーク] をクリックします。
[コンピューター] に [ネットワーク] がない場合、[コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット] - [ネットワークのコンピューターとデバイスの表示] を選択します。


接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。


5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの [インストール] をクリックします。

本機のプリンタードライバーが検出され、印刷できる状態になります。

6 インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。


 プリンタードライバーが正しくインストールされていない場合、[ドライバー設定の更新] でドライバーを更新する必要があります。詳しくは、「本機へ接続後にドライバーを更新する」(p.186) をごらんください。

 Windows Vista/Server 2008 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引き続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。[新しいハードウェアが見つかりました] 画面が表示されたら、画面の指示にしたがって操作します。詳しくは「ネットワークウィンドウからプリンターを追加」(p.178) をごらんください。

 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定することができません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください (手順 1)。


ネットワークウィンドウからプリンターを追加


Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。「ネットワークウィンドウからプリンタードライバを認識させる」(p.176) で説明されているように本機を接続します。

1 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが起動します。

 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに入れると、[自動再生] ダイアログボックス内から、[EPSetup.exe の実行] を選択します。

 インストーラーが自動で起動しなかった場合、ソフトウェアディスク内の [EPSetup.exe] をダブルクリックします。

2 インストーラーを閉じます。

3 本機をネットワークに接続した状態で電源をオン にします。

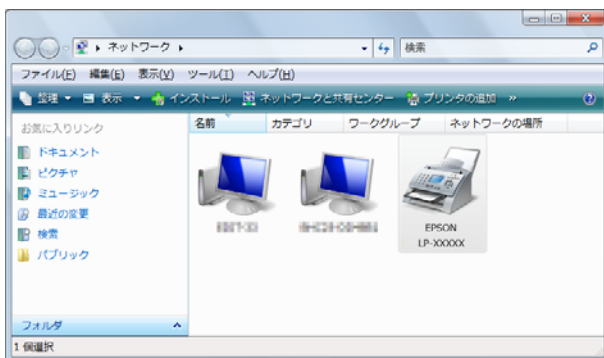
- インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

4 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。

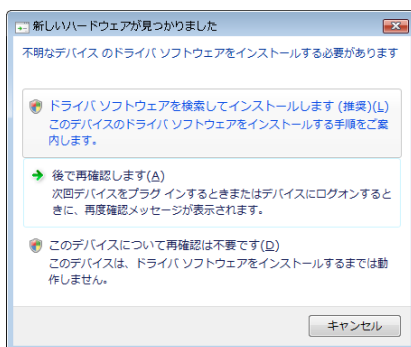
5 [ネットワーク] 画面を開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして、[ネットワーク] をクリックします。

- 6 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。

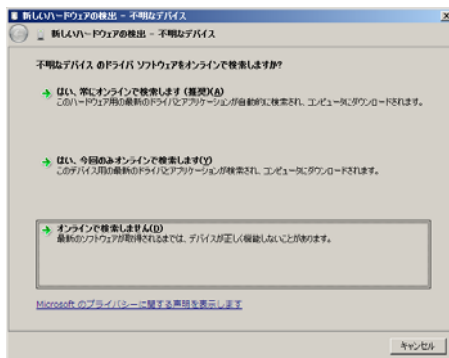


- 7 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。



- 8 Windows Vista の場合、手順 9 へお進みください。

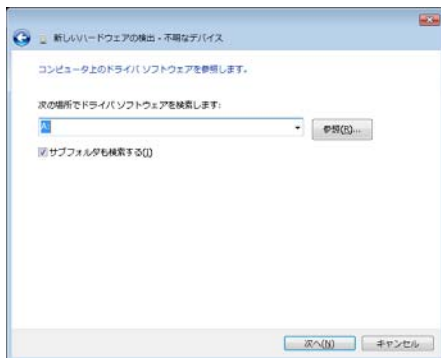
Windows Server 2008 の場合、[オンラインで検索しません] をクリックします。



9 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。




10 [参照] をクリックします。






- 11 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。
- 12 [次へ] をクリックします。
- 13 [閉じる] をクリックします。

プリンターの追加ウィザードでプリンターを追加する

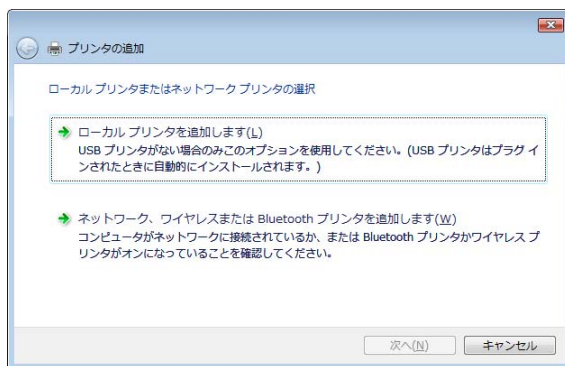
Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。詳しくは、[ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる] をごらんください。

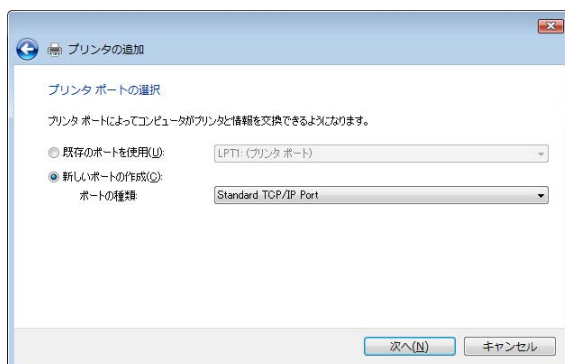
 Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

- 1 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。
- 2 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
インストーラーが起動します。
 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに入れると、[自動再生] ダイアログボックス内から、[EPSetup.exe の実行] を選択します。
 インストーラーが自動で起動しなかった場合、ソフトウェアディスク内の [EPSetup.exe] をダブルクリックします。
- 3 インストーラーを閉じます。
- 4 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] をクリックします。
- 5 ツールバーの [プリンタの追加] をクリックします。

6 ダイアログボックス内の「ローカル プリントを追加します」を選択します。

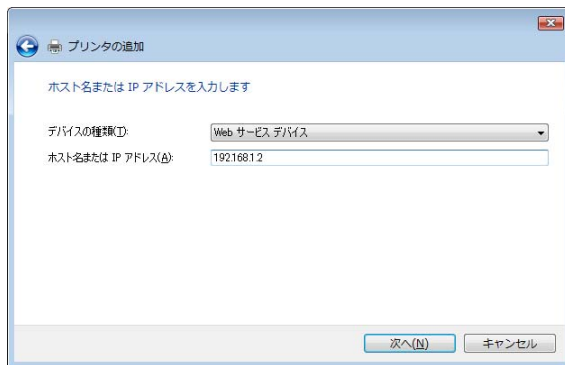


7 「新しいポートの作成」をクリックし、「Standard TCP/IP Port」を選択します。



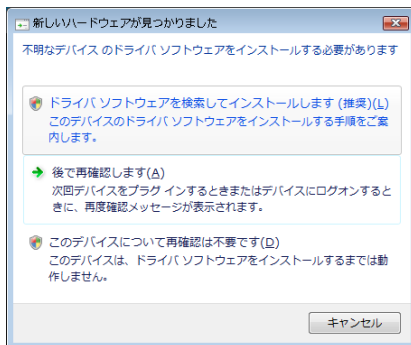
8 「次へ」をクリックします。

- 9 [Web サービスデバイス] を選択し、ホスト名または IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。

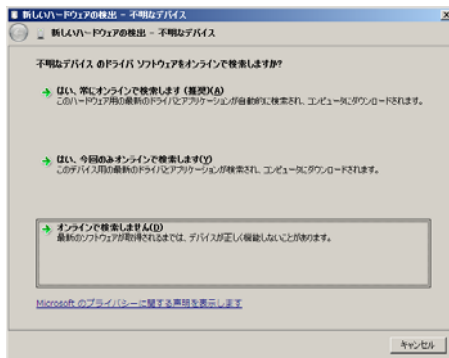


[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されます。

- 10 [ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



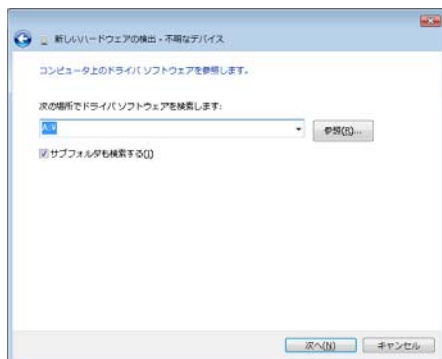
- 11** Windows Vista の場合、手順 12 へお進みください。
Windows Server 2008 の場合、[オンラインで検索しません] をクリックします。



- 12** [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



13 [参照] をクリックします。



14 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

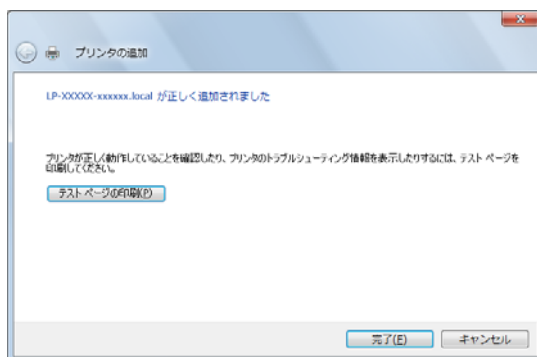
15 [次へ] をクリックします。

16 [閉じる] をクリックします。

17 [次へ] をクリックします。

18 プリンタードライバーを共有にするかどうか選択して、[次へ] をクリックします。

19 [完了] をクリックします。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

本機へ接続後にドライバーを更新する

Windows 7/Server 2008 R2 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。

1 ソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが起動します。



ソフトウェアディスクをコンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに入れると、[自動再生] ダイアログボックス内から、[EPSetup.exe の実行] を選択します。



インストーラーが自動で起動しなかった場合、ソフトウェアディスク内の [EPSetup.exe] をダブルクリックします。

2 インストーラーを閉じます。

3 [デバイスとプリンター] 画面を開きます。

- [コントロール パネル] で [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- [コントロール パネル] がアイコン表示になっている場合は、[デバイスとプリンター] をダブルクリックします。

4 [未指定] カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- 本機のデバイス名でなく [不明なデバイス (Unknown Device)] と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。詳しくは、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」(p.176) をごらんください。

5 [ハードウェア] タブの [プロパティ] をクリックします。

6 [全般] タブの [設定の変更] をクリックします。

7 [ドライバー] タブの [ドライバーの更新 ...] をクリックします。

8 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。

9 [参照] をクリックします。

10 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

11 [次へ] をクリックします。


12 画面の指示にしたがって操作します。

- [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

13 [閉じる] をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 ソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブから取り出します。これで、プリンタードライバーの更新が完了しました。

-  Windows Vista/Server 2008 でも、[ドライバの更新 ...] を利用できます。Windows Vista/Server 2008 の場合は、[デバイスマネージャ] で [ほかのデバイス] に表示されている本機の [プロパティ] を開くと、[ドライバの更新 ...] が指定できます。
[デバイスマネージャ] は、[コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックし、表示される [タスク] で選択できます。

サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008/Server 2008 R2 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするときに、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定することで、解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

💡 あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。

💡 プリントサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てたドライブを共有するよう設定する必要があります。

追加ドライバーのインストール方法

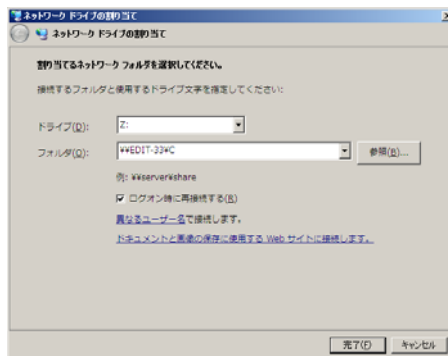
ここでは、例として、プリントサーバーに Windows Server 2008 (64bit)、クライアントコンピューターに Windows Vista (32bit) をインストールした場合の操作について説明します。

1 クライアントコンピューターの、OS がインストールされているドライブ (通常は C ドライブ) を、共有するように設定します。

💡 この設定は PostScript ドライバーのみ利用できます。

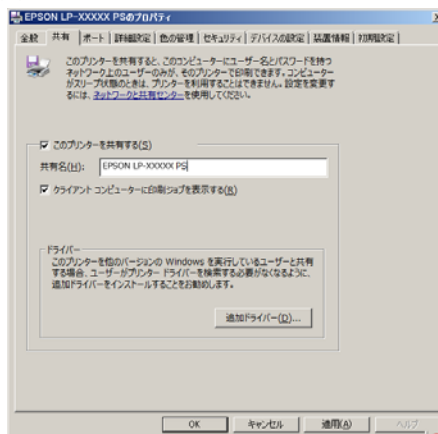
2 プリントサーバー (64bit) で、手順 1 で共有した、クライアントコンピューター (32bit) のドライブ (例: 「C」) を、ネットワークドライブ (例: 「Z」) として割り当てます。

💡 この設定は PostScript ドライバーのみ利用できます。



3 プリントサーバー（64bit）に、64bitOS 用のドライバーをインストールします。

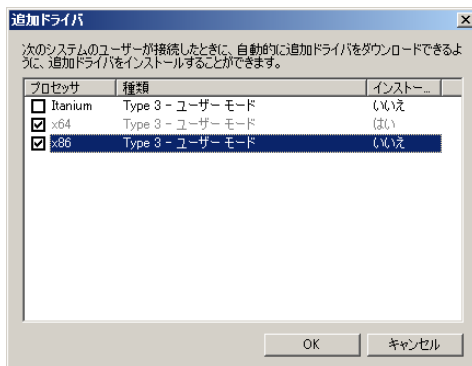
4 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] の画面を開きます。



5 [共有] タブを選択し、[このプリンターを共有する] にチェックを入れます。

6 [追加ドライバ] をクリックします。[追加ドライバ] 画面が表示されます。

- 7 [プロセッサ] の列の [x86] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 8 32bitOS 用のドライバーがあるフォルダーを指定します。セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。

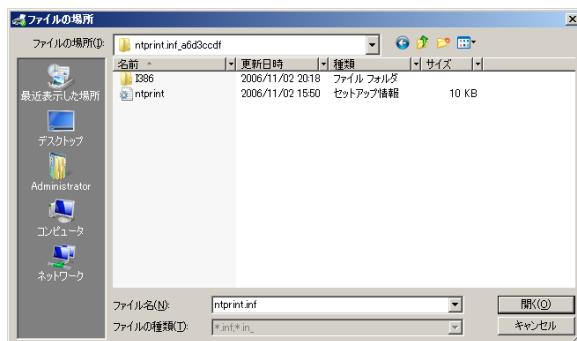
- 9 [参照] をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピュータにある、セットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定します。



この設定は PostScript ドライバーのみ利用できます。

- 以下のファイルを指定します。
「Z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xx x」
- 上記のパスで、「Z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。

- － お使いのクライアントコンピュータによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。
[ntprint.inf] と同じ階層に [amd64] というフォルダーが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、[ntprint.inf] と同じ階層に [I386] というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。



10 [開く] をクリックします。

インストールを開始します。

11 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。

これで、32bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

トラブルシューティング

症状	対応処置
サーバーが Windows Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 で、クライアントが Windows XP/Vista/7 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタードライバをインストールしてください。

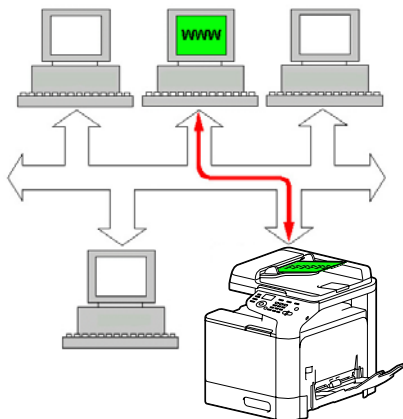
EpsonNet Config の使い方

6

EpsonNet Config について

EpsonNet Config は、本機に内蔵されている HTTP (Hyper-Text Transfer Protocol) ベースの Web ページで、Web ブラウザーを使用してアクセスすることができます。

EpsonNet Config を使用すると、本機のステータス（状況）や、本機で頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザーを使用してネットワーク上の本機にアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上で本機の設定を変更することができます。



💡 管理者からパスワードを知らされていないユーザーは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

EpsonNet Config 上で表示される言語は、本機の操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、「プリンター／コピー／スキャナーユーザーズガイド（ソフトウェアディスク内に収録される PDF マニュアル）」をごらんください。

また、EpsonNet Config の［言語］プルダウンリストから言語を選択することもできます。詳しくは、「言語設定」（p.201）をごらんください。

動作環境

EpsonNet Config を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
Mac OS X 10.3.9/10.4/10.5/10.6
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
Mozilla Firefox version 3.0 以降

💡 インターネットへ接続する必要はありません。

- お使いのコンピュータに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（EpsonNet Config で使用されます）
- お使いのコンピュータと本機の両方がネットワークに接続されていること

💡 ローカル接続（USB 接続）の場合は、EpsonNet Config にアクセスできません。

本機内蔵 Web ページの設定

本機内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

- 本機の名前とアドレスを設定します。
- Web ブラウザー上で「プロキシなし」の設定を行います。

本機の名前の設定

本機の内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由で本機の名前を指定することもできます。

- 本機に割り当てられた名前を使用する

本機の名前はコンピューター内の IP ホストテーブル（ファイル名は“hosts”）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：LP-M720）。IP アドレスよりも本機の名前を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピューター内のホストテーブルファイルの場所

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
\\windows\\system32\\drivers\\etc\\hosts

- 本機の IP アドレスを使用する

本機の IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンターが動作している場合は、入力する値として識別しやすい必要があります。本機の IP アドレスは、設定情報リストページに記載されています。

本機の設定メニュー内の設定情報リストページの場所

- [レポート / ステータス] - [レポート] - [設定情報リスト]

Web ブラウザーの設定

本機はイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザーで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザーの設定画面の「プロキシなし」のリストに本機の名前または IP アドレスを追加する必要があります。

💡 この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

💡ここでの例では、本機の IP アドレスの部分を [xxx.xxx.xxx.xxx] と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずに IP アドレスを入力してください。例えば、[192.168.001.002] の場合は [192.168.1.2] として入力します。

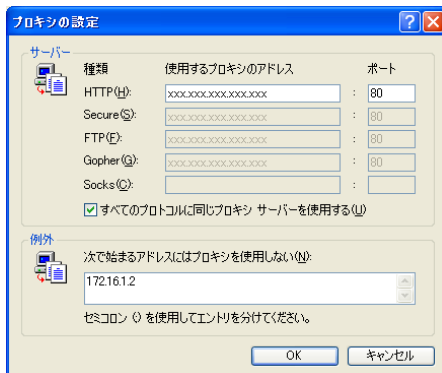
Internet Explorer (Windows 版バージョン 6.0)

1 Internet Explorer を起動します。

2 [ツール] メニューから [インターネット オプション] を選択します。

3 画面の [接続] タブをクリックします。

4 [LAN の設定] ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定画面を表示します。



5 プロキシ サーバー内の [詳細設定] ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて [例外] テキストボックスに本機の名前または IP アドレスを入力します。

7 [OK] を 3 回クリックして、Web ブラウザーのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスに本機の IP アドレスを入力して、本機の Web ページにアクセスします。



Mozilla Firefox (Mac OS X 10.6 バージョン 3.6)

1 Mozilla Firefox を起動します。

2 [Firefox] メニューから、[環境設定] を選択します。

3 ダイアログボックスの上部から [詳細] を選択します。

4 [ネットワーク] タブを選択します。

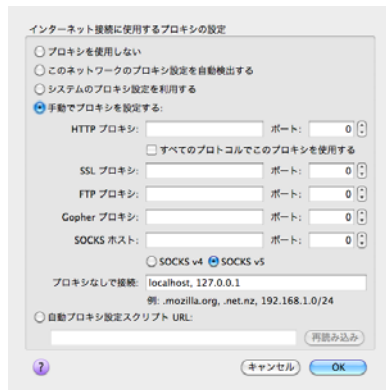
5 [接続設定] を選択します。

6 [手動でプロキシを設定する] を選択します。

7 [プロキシなしで接続] のテキストボックスに最後のエントリーの後にコンマを入力してから、本機の名前または IP アドレスを入力します。

8 [OK] をクリックして、Web ブラウザーのメインウィンドウに戻ります。

9 URL 入力ボックスに本機の名前または IP アドレスを入力して、本機の Web ページにアクセスします。



EpsonNet Config ウィンドウについて

以下の画面図では、EpsonNet Config ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

現在の
モードから
ログアウトする

ステータス表示

メインタブの切り替え



操作方法





メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

💡 設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。(「ログインの方法」(p.201)をごらんください。)

ステータス表示


本機の現在の状態（ステータス）は、EpsonNet Config ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	送受信可	本機がオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	印刷可能 インサチュウ
	警告	注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	しばらくお待ちください ウォーミングアップ
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	カバーオープン
	フェイタルエラー	本機を再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	サービスコール XXX

ログインの方法

ログイン画面

EpsonNet Config を使用する際に、ユーザー認証や言語選択を行うことができます。認証を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。

 EpsonNet Config にはユーザー、管理者あわせて 100 ユーザーが同時に接続できます。また、パブリックユーザー、レジスタユーザー、管理者とも複数同時に接続できます。
ただし、管理者としてログインできるのは、一度に 1 台のコンピューターからだけです。

言語設定

必要に応じて、EpsonNet Config で表示する言語を変更できます。


パブリックユーザーモード


パブリックユーザーモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

- 1 [パブリックユーザー] を選択します。
- 2 [ログイン] ボタンをクリックします。

レジスタユーザーモード

レジスタユーザーモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

 レジスタユーザーモードを使用するには、管理者モードでログインした後、[ユーザー認証] 画面 ([ネットワーク] - [認証] - [ユーザー認証]) で [ユーザー認証] を [オン] に設定して、[新規登録] 画面 ([システム] - [認証] - [ユーザー登録] - [新規登録]) で新規ユーザーの登録を行ってください。


 この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている必要があります。

- 1 [レジスタユーザー] を選択します。

- 2 テキストボックスに [ユーザー名] と [ユーザーパスワード] をそれぞれ入力します。
- 3 [ログイン] ボタンをクリックします。

管理者モード

管理者モードでは、設定内容を変更することができます。

- 1 [管理者] を選択します。
- 2 [ログイン] ボタンをクリックします。管理者パスワード入力画面が表示されます。
- 3 テキストボックスに管理者パスワードを入力します。
 パスワードの初期設定は「administrator」ですが、管理者モードでログイン後、[管理者パスワード] 画面（[システム] - [管理者パスワード]）でパスワードを変更することができます。
- 4 [OK] ボタンをクリックします。

本機ステータスの表示

【システム】タブ

【システム】タブでは、本機ステータス（状態）、現在のシステム構成、本機の名前が表示されます。

💡 【システム】タブ内の情報は、【ユーザー認証】 - 【パスワード変更】画面をのぞき、すべて表示されるのみで、変更はできません。

【デバイス情報】

【概要】（前ページ画面）

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【概要】画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【コピー RAM】	本機に装着されているコピーメモリーの量が表示されます。
【プリンター RAM】	本機に装着されているプリンターメモリーの量が表示されます。
【HDD】	本機に装着されているオプションの増設ストレージ HDD の容量が表示されます。 オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合は、「未装着」と表示されます。
【メモリーカード】	EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
【両面】	本機に両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
【給紙トレイ】	本機に装着されている給紙トレイが表示されます。 💡 オプションの給紙ユニットが装着されている場合に、トレイ 3 が表示されます。
【排紙トレイ】	本機に装着されている排紙トレイが表示されます。
【ネットワーク】	本機に装着されているネットワークインターフェースが表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）

【給紙トレイ】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【給紙トレイ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【給紙トレイ】	本機に装着されている給紙トレイ（トレイ 1/2/3）が表示されます。
【用紙サイズ】	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
【用紙種類】	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
【用紙】	各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
【詳細】 ボタン	給紙トレイ（詳細）画面が表示されます。

【給紙トレイ】（詳細）

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【給紙トレイ】 - 【詳細】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【給紙トレイ】	給紙トレイの名前が表示されます。
【用紙サイズ】	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
【用紙種類】	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
【容量】	給紙トレイの最大容量が表示されます。
【用紙】	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
【戻る】 ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

【排紙トレイ】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【排紙トレイ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【トレイ】	排紙トレイの名前が表示されます。
【用紙】	排紙トレイの状態（【あり】、【いっぱいです】）が表示されます。

【メモリー /HDD】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【メモリー /HDD】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【合計】	ハードディスクの総容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。
【使用中】	ハードディスクの使用容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。
【残り】	ハードディスクの残りの容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。

💡 EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

【インターフェース情報】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【インターフェース情報】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【プロトコル情報】	【TCP/IP】 TCP/IP が有効かどうか表示されます。
	【IPv6】 IPv6 が有効かどうか表示されます。
	【Bonjour】 Bonjour が有効かどうか表示されます。
	【FTP TX】 FTP 送信が有効かどうか表示されます。
	【FTP サーバー】 FTP サーバー機能が有効かどうか表示されます。
	【LDAP】 LDAP が有効かどうか表示されます。
	【SMB】 SMB が有効かどうか表示されます。
	【ダイナミック DNS】 ダイナミック DNS が有効かどうか表示されます。
	【IPP】 IPP が有効かどうか表示されます。

項目		説明
	[LPD]	LPD が有効かどうか表示されます。
	[RAW ポート]	RAW ポートが有効かどうか表示されます。
	[SLP]	SLP が有効かどうか表示されます。
	[SMTP]	SMTP が有効かどうか表示されます。
	[SNMP]	SNMP が有効かどうか表示されます。
	[WSDプリント]	WSD プリントが有効かどうか表示されます。
	[WSDスキャン]	WSD スキャンが有効かどうか表示されます。
	[LLTD]	LLTD が有効かどうか表示されます。
	[LLMNR]	LLMNR が有効かどうか表示されます。
	[AppleTalk]	AppleTalk が有効かどうか表示されます。
	[NetWare]	NetWare が有効かどうか表示されます。
	[IEEE802.1x]	IEEE802.1x が有効かどうか表示されます。
[ネットワーク情報]	[タイプ]	本機に装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。(Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)
	[Ethernet の速度]	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
	[IP アドレス]	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
	[IPv6 リンクローカルアドレス]	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
	[IPv6 グローバルアドレス]	IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
	[MAC アドレス]	イーサネットインターフェースの MAC (Media Access Control) アドレスが表示されます。
	[ホスト名]	本機のホスト名が表示されます。
	[プリントサーバー名 (NetWare)]	NetWare のプリントサーバー名が表示されます。
	[プリンター名 (AppleTalk)]	AppleTalk のプリンター名が表示されます。

項目		説明
	[現在のゾーン名 (AppleTalk)]	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	[Bonjour 名]	本機の Bonjour 名が表示されます。
	[Friendly Name]	フレンドリー名が表示されます。
	[WSD プリンター名]	WSD プrint のプリンター名が表示されます。
	[Scanner Name]	スキャナー名が表示されます。

【消耗品・定期交換部品】

[システム] - [デバイス情報] - [消耗品] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[消耗品・定期交換部品]	本機の消耗品が表示されます。
[ステータス]	各消耗品・定期交換部品の残りの寿命が表示されます。
[TYPE]	消耗品・定期交換部品の種類が表示されます。

【カウンタ】

【システム】 - 【カウンタ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トータル プリント]	これまでに印刷した枚数が表示されます。 ■ [トータルページカウンタ]、[カラー コピー]、[カラー プリント]、[モノクロ コピー]、[モノクロ プリント]、[ファクスプリント]、[トータル 両面 カウンター]、[両面 カラー コピー]、[両面 カラー プリント]、[両面 モノクロ コピー]、[両面 モノクロ プリント]、[両面ファクスプリント]、[大サイズ合計]、[大サイズカラーコピー]、[大サイズカラー印刷]、[大サイズ白黒コピー]、[大サイズ白黒プリント]、[大サイズファクスプリント]
[スキャン合計]	これまでにスキャンまたはファクスした枚数が表示されます。 ■ [スキャン / ファクス合計]、[大サイズスキャン / ファクス合計]、[スキャン合計]、[大サイズスキャン合計]、[カラースキャン]、[大サイズカラースキャン]、[白黒スキャン]、[大サイズ白黒スキャン]、[ファクス読込み合計]、[大サイズファクス読込み合計]、[カラーコピー読込み]、[大サイズカラーコピー読込み]、[白黒コピー読込み]、[大サイズ白黒コピー読込み]
[基準換算 トータル ページカウンタ]	これまでに印刷した枚数を、A4 の用紙サイズに換算した枚数で表示します。 ■ [カラー ページプリント]、[モノクロ ページプリント]、[合計]
[ファクスカウンター]	これまでに送受信したファクスの枚数が表示されます。 ■ [送信カウンター]、[受信カウンター]
[スキャンカウンター]	これまでにスキャンした枚数が表示されます。 ■ [IR]、[ADF]
[トレイカウンター]	トレイごとの枚数が表示されます。 ■ [トレイ 1]、[トレイ 2]、[トレイ 3]（装着されている場合）


項目	説明
[用紙サイズカウンター]	用紙サイズごとの枚数が表示されます。 ■ [A4]、[B5]、[A5]、[Legal]、[Letter]、[その他]
[用紙タイプカウンター]	用紙種類ごとの枚数が表示されます。 ■ [普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[封筒]、[レターヘッド]、[ハガキ]、[ラベル紙]、[両面不可紙]、[特殊紙]
[アプリケーションカウンター]	アプリケーションごとの枚数が表示されます。 ■ [コピープリント]、[ファクス受信プリント]、[レポート プrint]、[PC プrint]、[Scan To Fax]、[Scan To E-mail]、[Scan To FTP]、[Scan To SMB]、[Scan To USB]、[TWAIN]、[メモリダイレクト]

【オンラインヘルプ】

[システム] - [オンラインヘルプ] 画面では、以下の項目を確認できます。


項目	説明
[お問い合わせ先名称]	本機に関する問い合わせ先が表示されます。
[お問い合わせ先情報]	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
[製品ヘルプの URL]	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
[コーポレート URL]	エプソンの Web サイトの URL が表示されます。
[消耗品情報]	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL が表示されます。
[お問い合わせ先電話番号]	本機管理者の電話番号が表示されます。
[お問い合わせ住所]	サポート先の E-mail アドレスが表示されます。
[ユーティリティへのリンク]	本機の管理ユーティリティの Web サイトの URL が表示されます。

【ユーザー認証】

 この画面は、レジスタユーザーモードでログインした場合に表示されます。

【パスワード変更】

【システム】 - 【ユーザー認証】 - 【パスワード変更】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【ユーザー認証名】	ログインしているユーザーのユーザー名が表示されます。
【現在のパスワード】	ログインしているユーザーの現在のパスワードを入力します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
【新しいパスワード】	新しいパスワードを入力します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
【新しいパスワードの再入力】	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：（空白）
【適用】 ボタン	新しいパスワードを適用します。  テキストボックスに入力されたパスワードが合致しない場合には、【適用】をクリックしたときに、以下のメッセージが表示されます。「パスワードの変更が失敗しました。再度行ってください。」 【OK】をクリックして、テキストボックスにパスワードを再度入力してください。
【クリアー】 ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

【登録情報】

【システム】 - 【ユーザー認証】 - 【登録情報】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【登録ユーザー情報】	ログインしているユーザーの登録番号、ユーザー認証名、アカウント名が表示されます。
【機能許可情報】	ログインしているユーザーの機能許可情報が表示されます。
【出力許可情報】	ログインしているユーザーの出力許可情報が表示されます。

【ジョブ】 タブ

【ジョブ】 タブでは、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

【処理中ジョブリスト】

【ジョブ】 - 【処理中ジョブリスト】 画面では、最大 45 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
【ジョブ番号】	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
【ユーザー名】	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
【ファイル名】	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] - [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
【ジョブの状態】	プリントジョブの現在の状況（解析中、印刷中、キャンセル、保留中、停止）が表示されます。
【登録時刻】	ジョブの登録時刻が表示されます。
【削除】 ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして【削除】 ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

【処理済ジョブリスト】

【ジョブ】 - 【処理済ジョブリスト】 画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
【ジョブ番号】	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
【ユーザー名】	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。

項目	説明
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] - [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
[詳細] ボタン	[詳細] 画面が表示されます。

【処理済ジョブリスト】（詳細）

[ジョブ] - [処理済ジョブリスト] - [詳細] 画面では、選択されたプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。
[配信方法]	ジョブの配信方法（ボックス保存&印刷、確認プリント、IPP プリント、機密プリント、ボックス保存、レポートプリント、通常印刷、PC-FAX）が表示されます。
[登録時刻]	ジョブを登録した時刻が表示されます。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
[戻る] ボタン	[処理済ジョブリスト] 画面に戻ります。


【プリント】 タブ

【プリント】 タブでは、PDL プリンタードライバーを使わずに印刷する場合の設定値を確認することができます。

【デフォルト設定】

【一般設定】

[プリント] - [デフォルト設定] - [一般設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[PDL]	デフォルトとして選択されているプリンター制御言語が表示されます。
[給紙トレイ]	通常使用される給紙トレイが表示されます。
[両面]	[長辺綴じ] が選択されている場合は、長辺とじて両面印刷を行います。 [短辺綴じ] が選択されている場合は、短辺とじて両面印刷を行います。
[排紙トレイ]	排紙トレイの名称が表示されます。
[部数]	デフォルトとして設定されている印刷部数が表示されます。
[用紙サイズ]	デフォルトとして設定されている用紙のサイズが表示されます。
[幅]	[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
[長さ]	[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
[用紙種類]	デフォルトとして設定されている用紙の種類が表示されます。
[部単位印刷]	[オン] が表示されている場合、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 [オフ] が表示されている場合、文書は部単位で印刷されません。  この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。

〔給紙トレイ設定〕

〔プリント〕 - 〔デフォルト設定〕 - 〔給紙トレイ設定〕 画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
〔トレイ 1〕	〔用紙サイズ〕	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	〔幅〕	〔用紙サイズ〕 を 〔不定形サイズ〕 に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
	〔長さ〕	〔用紙サイズ〕 を 〔不定形サイズ〕 に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
	〔用紙種類〕	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。
〔トレイ 2〕	〔用紙サイズ〕	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	〔幅〕	〔用紙サイズ〕 を 〔不定形サイズ〕 に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
	〔長さ〕	〔用紙サイズ〕 を 〔不定形サイズ〕 に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
	〔用紙種類〕	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。
〔トレイ 3〕 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	〔用紙サイズ〕	トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	〔用紙種類〕	トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。

項目			説明
[任意トレイ設定]	[トレイ 1]	[用紙サイズ]	トレイ 1 に任意用紙サイズ設定を設定するかどうか表示されます。
		[用紙種類]	トレイ 1 に任意用紙種類設定を設定するかどうか表示されます。
	[トレイ 2]	[用紙サイズ]	トレイ 2 に任意用紙サイズ設定を設定するかどうか表示されます。
		[用紙種類]	トレイ 2 に任意用紙種類設定を設定するかどうか表示されます。
	[トレイ 3] この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	[用紙種類]	トレイ 3 に任意用紙種類設定を設定するかどうか表示されます。
[自動トレイ切替え]			[有効] が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 [無効] が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。

【トレイマッピング設定】

[プリント] - [デフォルト設定] - [トレイマッピング設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トレイマッピングモード]	トレイマッピング機能を使用するかどうかが表示されます。
[論理トレイ 0 ～ 9]	他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかが表示されます。

【PS 設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【PS 設定】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【印刷待ちタイムアウト】	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間が表示されます。 【0】が表示されている場合は、タイムアウトを行いません。
【PS プロトコル】	PS プロトコルの設定が表示されます。
【PS エラーの印刷】	エラープリントをするかどうかが表示されます。
【自動トラッピング】	自動トラッピング機能が有効かどうか表示されます。
【ブラックオーバープリント】	ブラックオーバープリント機能が有効かどうか表示されます。

【XPS 設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【XPS 設定】 画面では、以下の項目を確認できます。

💡 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合のみ、表示されます。

💡 本製品は XPS プリンタードライバーに対応していません。

項目	説明
【電子署名】	電子署名が有効かどうか表示されます。
【XPS エラープリント】	エラープリントをするかどうか表示されます。

【印刷品質設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【印刷品質設定】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
【印刷品質設定】	【カラーモード】	【カラー】 が表示されている場合は、フルカラーで印刷されます。 【モノクロ】 が表示されている場合は、モノクロで印刷されます。
	【色分解】	色分解を行うかどうかが表示されます。
	【明度】	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。
	【スクリーン】 (イメージ印刷 ／テキスト印刷 ／グラフィックス印刷)	イメージ、テキスト、グラフィックスの中間色の再現性が表示されます。 【高精細】 が表示されている場合は、高精細に中間色を再現します。 【精細】 が表示されている場合は、精細に中間色を再現します。 【スムーズ】 が表示されている場合は、スムーズに中間色を再現します。
	【エッジ強調】 (イメージ印刷 ／テキスト印刷 ／グラフィックス印刷)	イメージ、テキスト、グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかが表示されます。
	【エッジ強度】	エッジ強調を行う場合のエッジ強度の設定が表示されます。
	【エコノミー印刷モード】	エコノミー印刷モードが有効かどうかが表示されます。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。

項目		説明
[PS 印刷設定]	[RGB ソース] (イメージ印刷 ／テキスト印刷 ／グラフィックス印刷)	RGB データの色空間の設定が表示されます。
	[RGB 特性] (イメージ印刷 ／テキスト印刷 ／グラフィックス印刷)	RGB データを CMYK データに変換するときの特性が表示されます。
	[RGB グレー再現] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)	RGB データの黒色とグレーの再現方法が表示されます。
	[出力プロファイル] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)	印刷に使用される出力プロファイルが表示されます。
	[シミュレーションプロファイル] (シミュレーション)	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルが表示されます。
	[特性] (シミュレーション)	印刷に使用されるシミュレーション特性が表示されます。
	[CMYK グレー再現] (シミュレーション)	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法が表示されます。

項目		説明
[階調補正]	[濃度補正]	濃度補正を行うかどうかが表示されます。
	[ハイライト部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	ハイライト部の CMYK 濃度が表示されます。
	[中間部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	中間部の CMYK 濃度が表示されます。
	[シャドウ部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	シャドウ部の CMYK 濃度が表示されます。

【フォント / フォーム】

【PostScript フォント】

[プリント] - [フォント / フォーム] - [PostScript フォント] 画面では、本機が管理する PostScript フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
[番号]	フォントの管理番号が表示されます。
[フォント名]	フォント名称が表示されます。
[保存場所]	フォントの保存場所が表示されます。

【フォーム】

[プリント] - [フォント / フォーム] - [フォーム] 画面では、本機が管理するフォームの一覧を確認できます。

項目	説明
[番号]	フォームの管理番号が表示されます。
[ファイル名]	フォームのファイル名が表示されます。
[保存場所]	フォームの保存場所が表示されます。


【カラープロファイル】

【プリント】 - 【フォント / フォーム】 - 【カラープロファイル】 画面では、本機が管理するカラープロファイルの一覧を確認できます。

項目	説明
【番号】	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
【ファイル名】	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
【プロファイル名】	カラープロファイル名称が表示されます。
【クラス】	カラープロファイルの種類が表示されます。
【色空間】	カラープロファイルの色空間が表示されます。
【保存場所】	カラープロファイルの保存場所が表示されます。

【レポート印刷】


【プリント】 - 【レポート印刷】 画面では、以下のレポートを印刷できます。


項目	説明
【設定リストページ】	設定リストページを印刷します。
【UTILITY MAP】	設定メニュー一覧と設定内容を印刷します。
【PS Menu Map Page】	PS プリントメニュー一覧と設定内容を印刷します。
【PS フォントページ】	PostScript フォントの一覧を印刷します。
【ディレクトリーリストページ】	ハードディスクのディレクトリーの一覧を印刷します。  この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。
【プリント】 ボタン	選択したページを印刷します。
【クリアー】 ボタン	項目の選択を解除します。

【ダイレクトプリント】

【プリント】 - 【ダイレクトプリント】 画面では、アプリケーションを起動せずに、直接本機からファイルを印刷できます。

 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。

 この画面は、ユーザー認証の設定によって表示されない場合があります。

 ダイレクトプリントでは、PDF、TIF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。

項目	説明
[ファイル名]	印刷するファイルの場所を指定します。 [参照] ボタンをクリックしてファイルを指定することもできます。
[参照] ボタン	印刷するファイルを参照するダイアログボックスが表示されます。
[送信] ボタン	指定したファイルを本機へ転送します。

【スキャン】 タブ

【スキャン】 タブでは、現在登録されているダイアルの設定を確認できます。

【常用】

【スキャン】 - 【常用】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[番号]	常用に登録されている番号が表示されます。
[宛先名（カナ）]	常用に登録されている相手先の名前が表示されます。
[説明]	常用に登録されている相手先の説明が表示されます。
[宛先]	常用に登録されているファクス番号、メールアドレス、FTP または SMB アドレスが表示されます。

【短縮ダイアル設定】

【スキャン】 - 【短縮ダイアル設定】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[短縮ダイアルリスト]	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。
[スピード ダイアル リスト (Scan to Server)]	同じ画面内のスピードダイアルのリストにジャンプします。
[番号]	短縮ダイアル番号が表示されます。
[宛先名（カナ）]	短縮ダイアル番号に登録された相手先の名前が表示されます。

項目	説明
[説明]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先の説明が表示されます。
[宛先]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先のアドレスが表示されます。
[一括送信]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先に、メモリーに蓄積したデータを一括送信する時間が表示されます。

【グループダイヤル設定】

[スキャン] - [グループダイヤル設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[番号]	グループダイヤル番号が表示されます。 番号をクリックすると、登録されている送信先一覧が確認できます。
[宛先名（カナ）]	グループ名が表示されます。
[説明]	グループダイヤルの説明が表示されます。
[宛先]	グループダイヤルに登録された相手先がファクスのグループかメールのグループかが表示されます。

本機の設定

EpsonNet Config を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」(p.202)をごらんください。

【システム】 タブ

【システム】 タブでは、ユーザー設定と本機に関する設定を行うことができます。

【デバイス情報】

【概要】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【概要】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【コピー RAM】	本機に装着されているコピーメモリーの量が表示されます。
【プリンター RAM】	本機に装着されているプリンターメモリーの量が表示されます。
【HDD】	本機に増設ストレージ HDD が装着されている場合には、増設ストレージ HDD のサイズが表示されます。 増設ストレージ HDD が装着されていない場合は、「未装着」と表示されます。
【メモリーカード】	EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
【両面】	両面ユニットの装着状態が、「装着済」または「未装着」と表示されます。
【給紙トレイ】	本機に装着されている給紙トレイが表示されます。
【排紙トレイ】	本機に装着されている排紙トレイが表示されます。
【ネットワーク】	本機に装着されているネットワークインターフェースが表示されます。(Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)

【給紙トレイ】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【給紙トレイ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【給紙トレイ】	本機に装着されている給紙トレイ（1/2/3）が表示されます。
【用紙サイズ】	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
【用紙種類】	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
【用紙】	各トレイにセットされている用紙の残量（[あり] または [無し]）が表示されます。
【詳細】 ボタン	給紙トレイ（詳細）画面が表示されます。

【給紙トレイ】（詳細）

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【給紙トレイ】 - 【詳細】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【給紙トレイ】	給紙トレイの名前が表示されます。
【用紙サイズ】	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
【用紙種類】	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
【容量】	給紙トレイの最大容量が表示されます。
【用紙】	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
【戻る】 ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

【排紙トレイ】


【システム】 - 【デバイス情報】 - 【排紙トレイ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【トレイ】	排紙トレイの名前が表示されます。
【用紙】	排紙トレイの状態（[あり] または [いっぱいです]）が表示されます。

【メモリー /HDD】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【メモリー /HDD】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【合計】	ハードディスクの総容量が表示されます。 オプションのストレージが装着されていない場合には、「-」と表示されます。
【使用中】	ハードディスクの使用容量が表示されます。 オプションのストレージが装着されていない場合には、「-」と表示されます。
【残り】	ハードディスクの残りの容量が表示されます。 オプションのストレージが装着されていない場合には、「-」と表示されます。

 EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

【インターフェース情報】

【システム】 - 【デバイス情報】 - 【インターフェース情報】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目		説明
【プロトコル情報】	【TCP/IP】	【有効】が表示されているときは、TCP/IP が有効になっています。 【無効】が表示されているときは、TCP/IP が無効になっています。
	【IPv6】	【有効】が表示されているときは、IPv6 が有効になっています。 【無効】が表示されているときは、IPv6 が無効になっています。

項目		説明
	[Bonjour]	<p>[有効] が表示されているときは、Bonjour が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、Bonjour が無効になっています。</p>
	[FTP TX]	<p>[有効] が表示されているときは、FTP 送信 が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、FTP 送信 が無効になっています。</p>
	[FTP サーバー]	<p>[有効] が表示されているときは、FTP サーバーが有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、FTP サーバーが無効になっています。</p>
	[LDAP]	<p>[有効] が表示されているときは、LDAP が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、LDAP が無効になっています。</p>
	[SMB]	<p>[有効] が表示されているときは、SMB クライアントが有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、SMB クライアントが無効になっています。</p>
	[ダイナミック DNS]	<p>[有効] が表示されているときは、Dynamic DNS が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、Dynamic DNS が無効になっています。</p>
	[IPP]	<p>[有効] が表示されているときは、IPP が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、IPP が無効になっています。</p>
	[LPD]	<p>[有効] が表示されているときは、LPD が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、LPD が無効になっています。</p>


項目		説明
	[RAW ポート]	<p>[有効] が表示されているときは、RAW ポートが有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、RAW ポートが無効になっています。</p>
	[SLP]	<p>[有効] が表示されているときは、SLP が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、SLP が無効になっています。</p>
	[SMTP]	<p>[有効] が表示されているときは、SMTP が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、SMTP が無効になっています。</p>
	[SNMP]	<p>[有効] が表示されているときは、SNMP が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、SNMP が無効になっています。</p>
	[WSD プリント]	<p>[有効] が表示されているときは、WSD プリントが有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、WSD プリントが無効になっています。</p>
	[WSD スキャン]	<p>[有効] が表示されているときは、WSD スキャンが有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、WSD スキャンが無効になっています。</p>
	[LLTD]	<p>[有効] が表示されているときは、LLTD が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、LLTD が無効になっています。</p>
	[LLMNR]	<p>[有効] が表示されているときは、LLMNR が有効になっています。</p> <p>[無効] が表示されているときは、LLMNR が無効になっています。</p>

項目		説明
	[AppleTalk]	[有効] が表示されているときは、AppleTalk が有効になっています。 [無効] が表示されているときは、AppleTalk が無効になっています。
	[NetWare]	[有効] が表示されているときは、NetWare が有効になっています。 [無効] が表示されているときは、NetWare が無効になっています。
	[IEEE802.1x]	[有効] が表示されているときは、IEEE802.1x が有効になっています。 [無効] が表示されているときは、IEEE802.1x が無効になっています。
[ネットワーク情報]	[タイプ]	本機に装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。(Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)
	[Ethernet の速度]	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
	[IP アドレス]	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
	[IPv6 リンクローカルアドレス]	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
	[IPv6 グローバルアドレス]	IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
	[MAC アドレス]	イーサネットインターフェースの MAC (Media Access Control) アドレスが表示されます。
	[ホスト名]	本機のホスト名が表示されます。
	[プリントサーバー名 (NetWare)]	NetWare のプリントサーバー名が表示されます。
	[プリンター名 (Apple Talk)]	AppleTalk のプリンター名が表示されます。
	[現在のゾーン名 (AppleTalk)]	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	[Bonjour 名]	本機の Bonjour 名が表示されます。

項目		説明
	[Friendly Name]	フレンドリー名が表示されます。
	[WSD プリンター名]	WSD プリントのプリンター名が表示されます。
	[スキャナー名]	スキャナー名が表示されます。

【消耗品・定期交換部品】

[システム] - [デバイス情報] - [消耗品・定期交換部品] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[消耗品・定期交換部品]	本機の消耗品・定期交換部品が表示されます。
[ステータス]	<p>各消耗品・定期交換部品の残りの寿命が表示されます。</p> <p> 画面に表示される消耗品の%表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。</p>
[TYPE]	トナーカートリッジの種類が表示されます。

【カウンタ】

【システム】 - 【カウンタ】 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トータル プリント]	これまでに印刷した枚数が表示されます。 ■ [トータルページカウンタ]、[カラー コピー]、[カラー プリント]、[モノクロ コピー]、[モノクロ プリント]、[ファクスプリント]、[トータル 両面 カウンター]、[両面 カラー コピー]、[両面 カラー プリント]、[両面 モノクロ コピー]、[両面 モノクロ プリント]、[両面ファクスプリント]、[大サイズ合計]、[大サイズカラーコピー]、[大サイズカラー印刷]、[大サイズ白黒コピー]、[大サイズ白黒プリント]、[大サイズファクスプリント]
[スキャン合計]	これまでにスキャンまたはファクスした枚数が表示されます。 ■ [スキャン / ファクス合計]、[大サイズスキャン / ファクス合計]、[スキャン合計]、[大サイズスキャン合計]、[カラースキャン]、[大サイズカラースキャン]、[白黒スキャン]、[大サイズ白黒スキャン]、[ファクス読込み合計]、[大サイズファクス読込み合計]、[カラーコピー読込み]、[大サイズカラーコピー読込み]、[白黒コピー読込み]、[大サイズ白黒コピー読込み]
[基準換算 トータル ページカウンタ]	これまでに印刷した枚数を、A4 の用紙サイズに換算した枚数で表示します。 ■ [カラー ページプリント]、[モノクロ ページプリント]、[合計]
[ファクスカウンター]	これまでに送受信したファクスの枚数が表示されます。 ■ [送信カウンター]、[受信カウンター]
[スキャンカウンター]	これまでにスキャンした枚数が表示されます。 ■ [IR]、[ADF]
[トレイカウンター]	トレイごとの枚数が表示されます。 ■ [トレイ 1]、[トレイ 2]、[トレイ 3] (装着されている場合)

項目	説明
[用紙サイズカウンター]	用紙サイズごとの枚数が表示されます。 ■ [A4]、[B5]、[A5]、[Legal]、[Letter]、[その他]
[用紙タイプカウンター]	用紙種類ごとの枚数が表示されます。 ■ [普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[封筒]、[レターヘッド]、[ハガキ]、[ラベル紙]、[両面不可紙]、[特殊紙]
[アプリケーションカウンター]	アプリケーションごとの枚数が表示されます。 ■ [コピープリント]、[ファクス受信プリント]、[レポート プrint]、[PC プrint]、[Scan To Fax]、[Scan To E-mail]、[Scan To FTP]、[Scan To SMB]、[Scan To USB]、[TWAIN]、[メモリダイレクト]

【オンラインヘルプ】

[システム] - [オンラインヘルプ] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[お問い合わせ先名称]	本機に関する問い合わせ先の担当者や組織の名前を設定します。 範囲：半角 63 文字以下
[お問い合わせ先情報]	問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 127 文字以下
[製品ヘルプの URL]	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 127 文字以下
[コーポレート URL]	エプソンの Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 127 文字以下
[消耗品情報]	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 127 文字以下
[お問い合わせ先電話番号]	本機管理者の電話番号を設定します。 範囲：半角 31 文字以下

項目	説明
[お問い合わせ住所]	本機管理者の住所を設定します。 範囲：半角 320 文字以下
[ユーティリティへのリンク]	本機の管理ユーティリティの Web サイトの URL を設定します。 範囲：半角 127 文字以下

【インポート / エクスポート】

💡 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ、表示されます。

【ジョブログ】

[システム] - [インポート / エクスポート] - [ジョブログ] 画面では、以下の項目を設定できます。

💡 この画面は、[マシン設定] 画面（[システム] - [マシン設定]）で [ジョブログ] を [有効] に設定している場合に表示されます

項目	説明
[エクスポート]	取得するジョブログの個数を指定します。取得するジョブログは、最新のジョブログからの個数です。指定した個数分のジョブログが存在しない場合は、全てのジョブログを取得します。 設定値：[ラスト 10]、[ラスト 50]、[ラスト 100]、[ラスト 250]、[ラスト 500]、[全て] 初期値：[ラスト 10]
[エクスポート] ボタン	本機が保持するジョブログ情報をコンピューターへ転送します。
[クリアー] ボタン	本機に保持されているジョブログをクリアーします。

【ユーザー情報】

[システム] - [インポート / エクスポート] - [ユーザー情報] 画面では、以下の項目を設定できます。

💡 このメニューは [ユーザー認証] 画面 ([ネットワーク] - [認証] - [ユーザー認証]) で [ユーザー認証] を [オン] に設定している場合に表示されます。

項目	説明
[インポート]	インポートする認証ユーザー登録情報ファイルのファイル名を入力します。
[参照] ボタン	本機へ転送する認証ユーザー登録情報ファイルを参照するダイアログを表示します。
[インポート] ボタン	本機に認証ユーザー登録情報ファイルを転送します。
[エクスポート] ボタン	認証ユーザー登録情報をコンピューターへ転送します。

【認証】

💡 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ、表示されます。

デフォルト設定

💡 このメニューは [ユーザー認証] 画面 ([ネットワーク] - [認証] - [ユーザー認証]) で [ユーザー認証] を [オン] に設定している場合に表示されます。

[システム] - [認証] - [デフォルト設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
[機能許可]	[プリント]	パブリックユーザーとしてログインした場合に、印刷を許可するかどうかを設定します。 設定値：[許可]、[制限] 初期値：[許可]

【ユーザー登録】




💡 この画面は、[ユーザー認証] 画面 ([ネットワーク] - [認証]) で、[ユーザー認証] を [オン] に設定している場合にのみ、表示されます。

[システム] - [認証] - [ユーザー登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[新規登録] ボタン	新規にユーザーを登録します。
[番号検索]	選択した登録番号の範囲のユーザーが表示されます。 範囲： [1-1000] 初期値：[1-50]
[番号]	ユーザーの登録番号が表示されます。
[ユーザー名]	登録されているユーザー名が表示されます。
[編集] アイコン	ユーザー登録の編集を行います。
[削除] アイコン	ユーザー登録を削除します。

ユーザー登録（新規登録）

[システム] - [認証] - [ユーザー登録] - [新規登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[ユーザー登録]	[番号] 新規ユーザーの登録番号が表示されます。
	[ユーザー名] 新規ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：(空白)  ユーザー名を重複して設定することはできません。  ユーザー名を「Public」として設定することはできません。
	[ユーザーパスワード] 新規ユーザーのパスワードを設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：(空白)  パスワードは空白にできません。
	[ユーザーパスワード再入力] 確認のために、パスワードを再入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：(空白)
[機能許可]	[プリント] 印刷を許可するかどうかを設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]

項目		説明
[出力許可]	[カラー印刷]	印刷する場合に、カラー出力を許可するかどうかを設定します。 設定値：[許可]、[エコノミー印刷モードのみ]、[制限] 初期値：[許可]
	[白黒印刷]	印刷する場合に、モノクロ出力を許可するかどうかを設定します。 設定値：[許可]、[制限] 初期値：[許可]

[日付 / 時刻]

[マニュアル設定]

[システム] - [日付 / 時刻] - [マニュアル設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[年]	本機に内蔵されている時計の日付の、年を設定します。 範囲：[2008] - [2032] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]
[月]	本機に内蔵されている時計の日付の、月を設定します。 範囲：[1] - [12] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]
[日]	本機に内蔵されている時計の日付の、日を設定します。 範囲：[1] - [31] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]
[時]	本機に内蔵されている時計の時刻の、時間を設定します。 範囲：[0] - [23] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]

項目	説明
[分]	本機に内蔵されている時計の日付の、分を設定します。 範囲：[0] - [59] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]
[タイムゾーン]	E-mail 通知を行うときのタイムゾーンを設定します。 範囲：[-12:00] - [+12:00] 初期値：[+9:00] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザ設定] - [日付 / 時刻]


【時間補正設定】

[システム] - [日付 / 時刻] - [時間補正設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[時間補正]	NTP サーバーにより自動的に時刻を補正するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効]
[NTP サーバーアドレス]	NTP サーバーのアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または FQDN を設定できます。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：[0.0.0.0]
[ポート番号]	NTP サーバーのポート番号を設定します。 範囲： [1] - [65535] 初期値：[123]
[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。 範囲： [-12:00] - [+12:00] 初期値：[+9:00]
[補正時間]	最後に時間補正が行われた日時を表示します。 初期値：[不明]



【サマータイム設定】


【システム】 - 【日付 / 時刻】 - 【サマータイム設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【サマータイム設定】	<p>サマータイムを適用するかどうかを設定します。 設定値：【有効】、【無効】 初期値：【無効】</p> <p> 【有効】を選択した場合に、サマータイムの時間を調整することができます。(1 - 150 分) 初期値：60 分</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： 【設定メニュー】 - 【管理者設定】 - 【ユーザー設定】 - 【サマータイム】</p>

【管理者パスワード】


【システム】 - 【管理者パスワード】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【現在のパスワード】	<p>現在の管理者パスワードを入力します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値：(空白)</p>
【新しいパスワード】	<p>管理者モードでログインするための新しいパスワードを設定します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値：(空白)</p> <p> パスワードは、16 文字までの数字とアルファベット（大文字、小文字含む）を設定できます。</p>
【新しいパスワードの再入力】	<p>確認のため、新しい管理者パスワードを再入力します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値：(空白)</p> <p> テキストボックスに入力されたパスワードが合致しない場合には、【適用】をクリックしたときに、以下のメッセージが表示されます。 「パスワードの変更が失敗しました。再度行ってください。」 【OK】をクリックして、テキストボックスにパスワードを再度入力してください。</p>

 設定した新しいパスワードを忘れてしまった場合には、エプソンインフォメーションセンターに連絡してください。

【設定の保存】

【システム】 - 【設定の保存】 画面では、本機の設定をお使いのコンピューターにファイルとして保存できます。また、保存した設定を本機に読み込むこともできます。


 以下の設定はファイルに保存できません。


- － 電話帳


項目		説明
【設定の保存】	【装置設定】	【保存】 ボタンをクリックすると、本機の設定をファイルに保存します。
【復元設定】	【File Name】	本機の設定が保存されているファイルの名前を指定します。 【参照】 ボタンをクリックすると、本機の設定が保存されたファイルがあるフォルダを参照するダイアログを表示します。
	【ファイルの送信】	【呼出し】 ボタンをクリックすると、設定が保存されたファイルを本機に送信し、本機の設定を上書きします。

【マシン設定】

【システム】 - 【マシン設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【管理者名】	本機の管理者名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：（空白）
【装置名】	本機名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：（空白）  半角英数字、半角記号を使用してください。
【装置の設置場所】	本機の設置場所を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：（空白）
【装置情報】	本機の情報を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
[スタートページの印刷]	<p>本機の電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。</p> <p>設定値：[オン]、[オフ]</p> <p>初期値：[オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システム メニュー] - [スタート オプション] - [スタート ページ]</p>
[自動継続]	<p>プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。</p> <p>設定値：[オン]、[オフ]</p> <p>初期値：[オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [マシン設定] - [自動継続]</p>
[保存ジョブタイムアウト]	<p>ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。</p> <p>[無効] に設定した場合は、時間によるプリントジョブの消去を行いません。</p> <p>設定値：[無効]、[1 時間]、[4 時間]、[1 日]、[1 週間]</p> <p>初期値：[無効]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システム メニュー] - [保存ジョブ タイムアウト]</p> <p> この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。</p>
[スリープ時間]	<p>本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。</p> <p>設定値：[1 - 120 分]</p> <p>初期値：[1 分]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [マシン設定] - [スリープ モード]</p>

項目	説明
[モノクロページ]	<p>カラー印刷時におけるモノクロページの動作を設定します。</p> <p>[自動] に設定すると、印刷前にカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを自動判別します。</p> <p>[モノクロページ] に設定すると、ページごとにモノクロかどうかの判別を行います。印刷速度が遅くなる場合がありますが、カラーのトナーカートリッジと感光体ユニットの消費を抑えることができます。</p> <p>[カラーページ] に設定すると、モノクロページがあってもカラーで印刷します。</p> <p>設定値：[自動]、[モノクロページ]、[カラーページ]</p> <p>初期値：[自動]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [モノクロページ]</p>
[ジョブログ]	<p>ジョブログ機能を有効にするかどうかを設定します。</p> <p>設定値：[有効]、[無効]</p> <p>初期値：[無効]</p> <p> この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。</p>
[個人情報非表示]	<p>[ジョブ] タブの [ファイル名] 列を空白にするかどうかを選択します。</p> <p>設定値：[オン]、[オフ]</p> <p>初期値：[オフ]</p>

【ROM バージョン】

[システム] - [ROM バージョン] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[エンジン ROM バージョン]	プリンターエンジンの ROM バージョンが表示されます。
[コントローラー ROM バージョン]	コントローラーの ROM バージョンが表示されます。
[PS コントローラー ROM バージョン]	PS プリンターコントローラーの ROM バージョンが表示されます。
[ブート ROM バージョン]	ブート ROM のバージョンが表示されます。

項目	説明
[PS ブート ROM バージョン]	PS プリンターのブート ROM のバージョンが表示されます。
[CPLD バージョン]	CPLD バージョンが表示されます。

【メンテナンス】

【設定の初期化】

【システム】 - 【メンテナンス】 - 【設定の初期化】 画面では、本機の設定を工場出荷時の値に戻すことができます。

項目	説明
[プリンター設定]	本機のプリンター設定を初期値に戻します。 初期値に戻らない設定もあります。
[ネットワーク設定]	ネットワークの設定を初期値に戻します。 初期値に戻らない設定もあります。
[全ての設定]	すべての設定を初期値に戻します。 初期値に戻らない設定もあります。
[クリア] ボタン	クリックすると、[工場出荷時設定に戻しても良いですか?] というメッセージが表示されます。 [OK] をクリックすると、本機が自動的に再起動し、設定を工場出荷時の値に戻します。

【プリンターのリセット】

【システム】 - 【メンテナンス】 - 【プリンターのリセット】 画面では、プリンターコントローラーをリセットすることができます。

項目	説明
[リセット] ボタン	クリックすると、[プリンターをリセットしても良いですか?] というメッセージが表示されます。 [OK] をクリックすると、プリンターコントローラーをリセットします。

【通知先設定】

【状態通知設定】

【システム】 - 【通知先設定】 - 【状態通知設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
【IP アドレス】	【通知アドレス】	通知先の IP アドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を設定できます。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [0.0.0.0]
	【ポート番号】	SNMP トラップのポート番号を設定します。 範囲： [1] - [65535] 初期値： [162]
	【コミュニティ名】	SNMP トラップのコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [public]
【IPX アドレス】	【通知先アドレス】	通知先の IPX アドレスを設定します。 範囲： 半角 8 文字 初期値： 00000000
	【ノードアドレス】	通知先のノードアドレスを設定します。 範囲： 半角 12 文字 初期値： 000000000000
	【コミュニティ名】	SNMP トラップのコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [public]
【E-mail アドレス】	【E-mail 通知】	本機で警告が発生した場合に、E-mail で通知を送るかどうかを選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	【通知アドレス】	通知を行うメールアドレスを設定します。 範囲： 半角 320 文字以下 初期値： (空白)

項目		説明
[警告]	[用紙なし]	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[紙詰まり]	紙詰まりを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[メンテナンス]	定期点検時期を通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[トナー交換]	トナー交換を通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[排紙トレイフル]	排紙トレイがいっぱいであることを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[定着ユニット終了]	定着ユニットが寿命であることを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[オペレーターコール]	オペレーターを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[サービスコール]	サービスマンを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[ジョブ完了]	印刷ジョブが正常終了したことを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[ジョブエラー]	エラーが発生して印刷できなかったジョブがあることを通知するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

【トータルカウンター通知設定】

【システム】 - 【通知先設定】 - 【トータルカウンター通知設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
【トータルカウンター通知設定】	【モデル名】	本機のトータルカウンターの情報を通知するときに、E-mail に表示するモデル名を指定します。
【スケジュール設定】	【スケジュール 1】 / 【スケジュール 2】	通知スケジュールの条件を設定します。 【スケジュール 1】 と 【スケジュール 2】 で異なる設定を登録することができます。 【日】：日単位で通知します。何日ごとに通知するか入力します。 【週】：週単位で通知します。何週間ごとに通知するか入力します。また何曜日に通知するか選択します。 【月】：月単位で通知します。何か月ごとに通知するか入力します。また通知する月の何日に通知するか入力します。
【通知先登録】		スケジュールの通知を行うメールアドレスを設定します。また、通知するスケジュール設定も選択します。
【送信実行】 ボタン		指定したアドレスに、E-mail を送信します。

【ジョブ】 タブ

【ジョブ】 タブでは、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

【処理中ジョブリスト】

【ジョブ】 - 【処理中ジョブリスト】 画面では、以下の項目を、45 個のプリントジョブについて確認できます。

項目	説明
【ジョブ番号】	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
【ユーザー名】	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。

項目	説明
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] - [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[ジョブの状態]	プリントジョブの現在の状況（保留中、解析中、印刷中、停止、キャンセルまたは中止）が表示されます。
[登録時刻]	ジョブの登録時刻が表示されます。
[削除] ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

【処理済ジョブリスト】

[ジョブ] - [処理済ジョブリスト] - [プリント] 画面では、以下の項目を、50 個のプリントジョブについて確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] - [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
[詳細] ボタン	詳細画面が表示されます。

【処理済ジョブリスト】（【詳細】）

【ジョブ】 - 【処理済ジョブリスト】 - 【詳細】 画面では、選択したプリントジョブについて、以下の項目を確認できます。

項目	説明
【ジョブ番号】	プリントジョブの ID 番号が表示されます。本機に送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
【ユーザー名】	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
【ファイル名】	プリントファイル名が表示されます。 【個人情報非表示】（【システム】 - 【マシン設定】 画面）が【オン】に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
【配信方法】	ジョブが配信された方法（【通常印刷】、【ボックス保存 & 印刷】、【確認プリント】、【IPP プリント】、【機密プリント】、【ボックス保存】、【レポートプリント】、【PC-FAX】）が表示されます。
【登録時刻】	ジョブの登録時刻が表示されます。
【終了時刻】	印刷を終了した時刻が表示されます。
【結果】	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
【戻る】 ボタン	前の画面に戻ります。

【プリント】 タブ

【プリント】 タブでは、本機のプリント機能をより詳細に設定することができます。

【ローカルインターフェース】


【プリント】 - 【ローカルインターフェース】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【I/O タイムアウト】	受信タイムアウトになるまでの時間を指定します。 範囲： [5] - [300]（秒） 初期値： [15]

【デフォルト設定】

【一般設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【一般設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【PDL】	デフォルトのプリンター制御言語を設定します。 設定値：【自動】、【PS】 初期値：【自動】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【システムメニュー】 - 【エミュレーション】 - 【優先エミュレーション】
【給紙トレイ】	通常使用される給紙トレイを設定します。 設定値：【トレイ 1】、【トレイ 2】、【トレイ 3】 初期値：【トレイ 2】  【トレイ 3】 はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
【両面】	【長辺綴じ】 が選択されている場合は、長辺とじて両面印刷を行います。 【短辺綴じ】 が選択されている場合は、短辺とじて両面印刷を行います。 設定値：【オフ】、【短辺綴じ】、【長辺綴じ】 初期値：【オフ】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【用紙メニュー】 - 【両面印刷】
【排紙トレイ】	排紙トレイの名称が表示されます。
【部数】	デフォルトの印刷部数を設定します。 範囲： 【1】 - 【9999】 初期値：【1】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【用紙メニュー】 - 【印刷枚数】
【用紙サイズ】	デフォルトの用紙のサイズを設定します。 同機能の本機操作パネルのメニュー： 設定値：【Letter】、【Legal】、【EXE】、【A4】、【A5】、【A6】、【B5】、【GLT】、【HLT】、【F4】、【GLG】、【洋形 6 号】、【長形 3 号】、【ハガキ】、【往復ハガキ】、【不定形サイズ】 初期値：【A4】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【システムメニュー】 - 【用紙設定】 - 【デフォルト用紙】 - 【用紙サイズ】

項目	説明
[幅]	<p>[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。</p> <p>範囲： [92] - [216] (mm)</p> <p>初期値： [210] (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システム メニュー] - [用紙設定] - [デフォルト用紙] - [不定形 サイズ] - [幅]</p>
[長さ]	<p>[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。</p> <p>範囲： [148] - [356] (mm)</p> <p>初期値： [297] (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システム メニュー] - [用紙設定] - [デフォルト用紙] - [不定形 サイズ] - [長さ]</p>
[用紙種類]	<p>デフォルトの用紙種類を設定します。</p> <p>設定値： [普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[封筒]、[ハガキ]、[レターヘッド]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[両面不可紙]、[特殊紙]</p> <p>初期値： [普通紙]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システム メニュー] - [用紙設定] - [デフォルト用紙] - [用紙種類]</p>
[部単位印刷]	<p>[オン] に設定すると、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。</p> <p>[オフ] に設定すると、文書は部単位で印刷されません。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [部単位印刷]</p>

【給紙トレイ設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【給紙トレイ設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
【トレイ 1】	【用紙サイズ】	<p>【トレイ 1】 にセットする用紙のサイズを設定します。</p> <p>設定値： 【Letter】、【Legal】、【EXE】、【A4】、【A5】、【A6】、【B5】、【GLT】、【HLT】、【F4】、【GLG】、【洋形 6 号】、【長形 3 号】、【ハガキ】、【往復ハガキ】、【不定形サイズ】</p> <p>初期値： 【A4】</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： 【設定メニュー】 - 【用紙設定】 - 【トレイ 1 用紙】</p>
	【幅】	<p>【用紙サイズ】 を【不定形サイズ】 に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。</p> <p>範囲： 【92】 - 【216】 (mm)</p> <p>初期値： 【210】 (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： 【設定メニュー】 - 【用紙設定】 - 【トレイ 1 用紙】</p>
	【長さ】	<p>【用紙サイズ】 を【不定形サイズ】 に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。</p> <p>範囲： 【148】 - 【356】 (mm)</p> <p>初期値： 【297】 (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： 【設定メニュー】 - 【用紙設定】 - 【トレイ 1 用紙】</p>
	【用紙種類】	<p>【トレイ 1】 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <p>設定値： 【普通紙】、【厚紙 1】、【厚紙 2】、【ラベル紙】、【封筒】、【ハガキ】、【レターヘッド】、【光沢紙 1】、【光沢紙 2】、【両面不可紙】、【特殊紙】</p> <p>初期値： 【普通紙】</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： 【設定メニュー】 - 【用紙設定】 - 【トレイ 1 用紙】</p>


項目		説明
[トレイ 2]	[用紙サイズ]	<p>[トレイ 2] にセットする用紙のサイズを設定します。</p> <p>設定値： [Letter]、[EXE]、[A4]、[A5]、[A6]、[B5]、[GLT]、[HLT]、[ハガキ]、[往復ハガキ]、[不定形サイズ]</p> <p>初期値： [A4]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 2 用紙]</p>
	[幅]	<p>[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。</p> <p>範囲： [92] - [216] (mm)</p> <p>初期値： [210] (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 2 用紙]</p>
	[長さ]	<p>[用紙サイズ] を [不定形サイズ] に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。</p> <p>範囲： [148] - [297] (mm)</p> <p>初期値： [297] (mm)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 2 用紙]</p>
	[用紙種類]	<p>[トレイ 2] にセットする用紙の種類を設定します。</p> <p>設定値： [普通紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[ハガキ]、[レターヘッド]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[両面不可紙]、[特殊紙]</p> <p>初期値： [普通紙]</p>
[トレイ 3] この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	[用紙サイズ]	<p>[トレイ 3] にセットした用紙のサイズを表示します。</p>
	[用紙種類]	<p>[トレイ 3] にセットする用紙の種類を設定します。</p> <p>設定値： [普通紙]、[両面不可紙]、[特殊紙]</p> <p>初期値： [普通紙]</p>

項目			説明
[任意トレイ設定]	[トレイ 1]	[用紙サイズ]	<p>[トレイ 1] に任意用紙サイズ設定を設定するかどうかを選択します。</p> <p>設定値：[オフ]、[任意]</p> <p>初期値：[オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [任意のトレイ設定] - [トレイ 1 用紙] - [トレイ 1 任意のサイズ]</p>
		[用紙種類]	<p>[トレイ 1] に任意用紙種類設定を設定するかどうかを選択します。</p> <p>設定値：[オフ]、[任意]</p> <p>初期値：[オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [任意のトレイ設定] - [トレイ 1 用紙] - [トレイ 1 任意の種類]</p>

項目		説明
	[トレイ 2]	<p>[用紙サイズ]</p> <p>[トレイ 2] に任意用紙サイズ設定を設定するかどうかを選択します。 設定値：[オフ]、[任意] 初期値：[オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [任意のトレイ設定] - [トレイ 2 用紙] - [トレイ 2 任意のサイズ]</p>
		<p>[用紙種類]</p> <p>[トレイ 2] に任意用紙種類設定を設定するかどうかを選択します。 設定値：[オフ]、[任意] 初期値：[オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [任意のトレイ設定] - [トレイ 2 用紙] - [トレイ 2 任意の種類]</p>
	<p>[トレイ 3]</p> <p>この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。</p>	<p>[用紙種類]</p> <p>[トレイ 3] に任意用紙種類設定を設定するかどうかを選択します。 設定値：[オフ]、[任意] 初期値：[オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [任意のトレイ設定] - [トレイ 3 用紙] - [トレイ 3 任意の種類]</p>
[自動トレイ切り替え]		<p>[自動トレイ切り替え]</p> <p>[有効] を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズ用の紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 [無効] を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [自動トレイ切り替え]</p>

【トレイマッピング設定】

[プリント] - [デフォルト設定] - [トレイマッピング設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[トレイマッピングモード]	トレイマッピング機能を使用するかどうかを設定します。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [トレイ マッピング] - [トレイ マッピング モード]
[論理トレイ 0-9]	他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 [論理トレイ 1] のみ工場出荷時の設定値が [物理トレイ 1] に設定されています。[論理トレイ 1] 以外は、[物理トレイ 2] が工場出荷時の設定値です。 設定値：[物理トレイ 1]、[物理トレイ 2]、[物理トレイ 3] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [用紙メニュー] - [トレイ マッピング] - [論理トレイ 0-9]  [物理トレイ 3] はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

【PS 設定】

[プリント] - [デフォルト設定] - 【PS 設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[印刷待ちタイムアウト]	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 [0] を設定した場合は、タイムアウトを行いません。 範囲： [0] - [300] (秒) 初期値： [0] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト] - [ウェイトタイムアウト]
[PS プロトコル]	PS プロトコルを設定します。 設定値： [自動]、[標準]、[バイナリー] 初期値： [自動] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト] - [PS プロトコル]
[PS エラーの印刷]	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト] - [PS エラーページ]
[自動トラッピング]	自動トラッピング機能を有効にするかどうか設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト] - [自動トラッピング]
[ブラックオーバープリント]	ブラックオーバープリント機能を設定します。 設定値： [オフ]、[テキスト]、[テキストとグラフィック] 初期値： [オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [システムメニュー] - [エミュレーション] - [ポストスクリプト] - [ブラックオーバープリント]

【XPS 設定】

💡 本製品は XPS プリンタードライバーに対応していません。

💡 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合のみ、表示されます。

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【XPS 設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【電子署名】	電子署名を確認するかどうか設定します。[有効]を選択した場合、有効な電子署名がないと印刷されません。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【システム メニュー】 - 【エミュレーション】 - 【XPS】 - 【電子署名】
【XPS エラープリント】	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オン] 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【システム メニュー】 - 【エミュレーション】 - 【XPS】 - 【XPS エラープリント】

【印刷品質設定】

【プリント】 - 【デフォルト設定】 - 【印刷品質設定】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【印刷品質設定】 【カラーモード】	【カラー】 に設定すると、フルカラーで印刷されます。 【モノクロ】 に設定すると、モノクロで印刷されます。 設定値：【カラー】、【モノクロ】 初期値：【カラー】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【品質メニュー】 - 【カラーモード】
【色分解】	【オン】 に設定すると、色分解を行います。 【オフ】 に設定すると、色分解を行いません。 設定値：【オン】、【オフ】 初期値：【オフ】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【品質メニュー】 - 【色分解】
【明度】	印刷する画像の明るさを設定します。 設定値：【+15%】、【+10%】、【+5%】、【0】、【-5%】、【-10%】、【-15%】 初期値：【0】 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【品質メニュー】 - 【明るさ調整】
【スクリーン】 (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)	イメージ、テキスト、グラフィックスの中間色の再現性を設定します。 【高精細】 に設定すると、高精密に中間色を再現します。 【精細】 に設定すると、精細に中間色を再現します。 【スムーズ】 に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：【高精細】、【精細】、【スムーズ】 初期値：【精細】 (イメージ印刷／グラフィックス印刷)、【高精細】 (テキスト印刷) 同機能の本機操作パネルのメニュー： 【PS プリント】 - 【品質メニュー】 - 【スクリーン】 - 【イメージ印刷】 ／ 【テキスト印刷】 ／ 【グラフィックス印刷】

項目		説明
[印刷品質設定]	[エッジ強調] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)	<p>イメージ、テキスト、グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかを設定します。 [オン] に設定すると、エッジ強調が行われます。 [オフ] に設定すると、エッジ強調は行われません。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オフ] (イメージ印刷)、[オン] (テキスト印刷／グラフィックス印刷) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [エッジ強調] - [イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷]</p>
	[エッジ強度]	<p>エッジ強調を行う場合のエッジ強度を設定します。 [オフ] に設定すると、エッジ強調は行われません。 [下部] に設定すると、エッジがわずかに強調されます。 [中間部] に設定すると、エッジが平均的に強調されます。 [上部] に設定すると、エッジが強く強調されます。 設定値：[オフ]、[下部]、[中間部]、[上部] 初期値：[中間部] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [エッジ強度]</p>
	[エコノミー印刷モード]	<p>エコノミー印刷を行うかどうかを設定します。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [エコノミー印刷]</p>

項目	説明
PS印刷設定	<p>[RGB ソース] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)</p> <p>RGB データの色空間を設定します。 設定値：[デバイス色]、[sRGB]、 [AppleRGB]、[AdobeRGB1998]、 [ColorMatchRGB]、 [BlueAdjustRGB] 初期値：[sRGB] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [イメージ / テキスト / グラフィックス印刷] - [RGB ソース]</p>
	<p>[RGB 特性] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)</p> <p>RGB データを CMYK データに変換するときの特性を設定します。 設定値：[鮮やか]、[写真調]、[相対色]、 [絶対色] 初期値：[写真調] (イメージ印刷)、[鮮やか] (テキスト印刷、グラフィックス印刷) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [イメージ / テキスト / グラフィックス印刷] - [RGB 特性]</p>
	<p>[RGB グレー再現] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)</p> <p>RGB データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値：[4 色 (CMYK) トナー]、[全て黒 (K) トナー]、 [黒のみ黒 (K) トナー] 初期値：[4 色 (CMYK) トナー] (イメージ)、 [全て黒 (K) トナー] (テキスト・グラフィックス) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [イメージ / テキスト / グラフィックス印刷] - [グレー再現]</p>

項目	説明
[出力プロファイル] (イメージ印刷／テキスト印刷／グラフィックス印刷)	印刷に使用される出力プロファイルを設定します。 設定値：[自動] 初期値：[自動] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [イメージ / テキスト / グラフィックス印刷] - [出力プロファイル]
[シミュレーションプロファイル] (シミュレーション)	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルを設定します。 設定値：[なし]、[SWOP]、[Euroscale]、[CommercialPress]、[JapanColor]、[TOYO]、[DIC] 初期値：[なし] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [シミュレーション] - [シミュレーションプロファイル]
[特性] (シミュレーション)	印刷に使用されるシミュレーション特性を設定します。 設定値：[相対色]、[絶対色] 初期値：[相対色] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [シミュレーション] - [シミュレーション特性]
[CMYK グレー再現] (シミュレーション)	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値：[4 色 (CMYK) トナー]、[全て黒 (K) トナー]、[黒のみ黒 (K) トナー] 初期値：[4 色 (CMYK) トナー] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [PS 印刷設定] - [シミュレーション] - [CMYK グレー再現]

項目		説明
[階調補正]	[濃度補正]	<p>[オン] に設定すると、濃度補正が行われます。</p> <p>[オフ] に設定すると、濃度補正は行われません。</p> <p>設定値：[オン]、[オフ]</p> <p>初期値：[オン]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [階調補正] - [濃度補正]</p>
	[ハイライト部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	<p>ハイライト部の CMYK 濃度を設定します。</p> <p>設定値：[3]、[2]、[1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3]</p> <p>初期値：[0]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [階調補正] - [CMYK 濃度調整] - [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] - [ハイライト部]</p>
	[中間部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	<p>中間部の CMYK 濃度を設定します。</p> <p>設定値：[3]、[2]、[1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3]</p> <p>初期値：[0]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [階調補正] - [CMYK 濃度調整] - [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] - [中]</p>
	[シャドウ部] (シアン濃度／マゼンタ濃度／イエロー濃度／ブラック濃度)	<p>シャドウ部の CMYK 濃度を設定します。</p> <p>設定値：[3]、[2]、[1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3]</p> <p>初期値：[0]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [PS プリント] - [品質メニュー] - [階調補正] - [CMYK 濃度調整] - [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] - [シャドウ部]</p>

【フォント / フォームのダウンロード】

 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ、表示されます。

[PS フォント]

[プリント] - [フォント / フォームのダウンロード] - [PS フォント] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
[PS フォントのダウンロード]	保存場所	PostScript フォントをダウンロードする場所（[HDD]）を指定します。  EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
	テキストボックス	ダウンロードするフォントのファイル名を指定します。
	[参照] ボタン	フォントファイルを参照するダイアログを表示します。
	[送信] ボタン	指定した PostScript フォントファイルを、本機にダウンロードします。
[PS フォントの削除]	チェックボックス	削除したいフォントのチェックボックスを選択して [削除] をクリックすると、そのフォントが本機から削除されます。
	[番号]	フォントの管理番号が表示されます。
	[フォント名]	フォント名称が表示されます。
	[保存場所]	フォントが保存されている場所が表示されます。
[削除] ボタン		削除するフォントのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのフォントが削除されます。

【フォーム】

【プリント】 - 【フォント / フォームのダウンロード】 - 【フォーム】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明	
【フォームのダウンロード】	保存場所	フォームをダウンロードする場所（[HDD]）を指定します。
	テキストボックス	ダウンロードするフォームのファイル名を指定します。
	【参照】 ボタン	フォームのファイルを参照するダイアログを表示します。
	【送信】 ボタン	指定したフォームのファイルを、本機にダウンロードします。
【フォームの削除】	チェックボックス	削除したいフォームのファイルのチェックボックスを選択して【削除】をクリックすると、そのフォームが本機から削除されます。
	【番号】	フォームの管理番号が表示されます。
	【ファイル名】	フォームのファイル名が表示されます。
	【保存場所】	フォームが保存されている場所が表示されます。
【削除】 ボタン		削除するフォームのいちばん左側のチェックボックスをチェックして【削除】 ボタンをクリックすると、そのフォームが削除されます。

【カラープロファイル】

【プリント】 - 【フォント / フォームのダウンロード】 - 【カラープロファイル】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明	
【カラープロファイルのダウンロード】	保存場所	カラープロファイルをダウンロードする場所（[HDD]）を指定します。
	テキストボックス	ダウンロードするカラープロファイルのファイル名を指定します。
	【参照】 ボタン	カラープロファイルのファイルを参照するダイアログを表示します。
	【送信】 ボタン	指定したカラープロファイルのファイルを、本機にダウンロードします。

項目	説明	
[カラープロファイルの削除]	チェックボックス	削除したいカラープロファイルのファイルのチェックボックスを選択して [削除] をクリックすると、そのカラープロファイルが本機から削除されます。
	[番号]	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
	[ファイル名]	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
	[プロファイル名]	カラープロファイル名が表示されます。
	[クラス]	カラープロファイルのクラスが表示されます。
	[色空間]	カラープロファイルの色空間が表示されます。
	[保存場所]	カラープロファイルが保存されている場所が表示されます。
[削除] ボタン		削除するカラープロファイルのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのカラープロファイルが削除されます。

【スキャン】 タブ

【スキャン】 タブでは、本機に登録される宛先情報の設定やスキャンの送受信に関する設定を行うことができます。

【常用】

【スキャン】 - 【常用】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[短縮 ダイアル] ボタン	[短縮 ダイアル] ボタンをクリックし、短縮ダイアルリストから常用に追加したい番号を選択します。詳しくは、「[短縮ダイアル] からの登録」(p.264)をご覧ください。
[グループ ダイアル] ボタン	[グループ ダイアル] ボタンをクリックし、グループダイアルリストから常用に追加したい番号を選択します。詳しくは、「[グループダイアル] からの登録」(p.265)をご覧ください。
[番号]	常用に登録された番号が表示されます。

項目	説明
[宛先名（カナ）]	常用に登録された名前が表示されます。
[説明]	常用に登録されている相手先の説明が表示されます。
[宛先]	常用に登録された相手先の宛先が表示されます。 グループ宛先の場合は、「(グループ)」と表示されます。
ごみ箱アイコン	ごみ箱アイコンをクリックすると、常用リストから削除されます。

【短縮ダイアル】からの登録

[スキャン] - [常用] - [短縮ダイアルリスト] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[短縮ダイアルリスト]	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。
[スピード ダイアル リスト (Scan to Server)]	同じ画面内のスピードダイアルのリストにジャンプします。
ラジオボタン	登録された短縮ダイアルリストから追加したい番号のラジオボタンを選択します
[番号]	短縮ダイアル番号が表示されます。
[宛先名（カナ）]	短縮ダイアル番号に登録された相手先の名前が表示されます。
[説明]	短縮ダイアル番号に登録された相手先の説明が表示されます。
[宛先]	短縮ダイアル番号に登録された相手先のファクス番号、メール、FTP、SMB アドレスが表示されます。

【グループダイアル】からの登録

[スキャン] - [常用] - [グループダイアルリスト] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ラジオボタン	登録されたグループダイアルリストから追加したい番号のラジオボタンを選択します。
[番号]	グループダイアル番号が表示されます。 登録されたグループダイアルリストから追加したい番号のラジオボタンを選択します。
[宛先名（カナ）]	グループダイアルに登録されたグループ名が表示されます。
[説明]	グループダイアルの説明が表示されます。
[宛先]	グループダイアルに登録された相手先の宛先がメールアドレスかファクスかを表示します。

【短縮ダイアル設定】


[スキャン] - [短縮ダイアル設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[短縮ダイアルリスト]	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプします。 短縮ダイアル番号 001-220 はファクスとメールの宛先になります。 短縮ダイアル番号 221-250 は FTP と SMB の宛先になります。
[スピード ダイアル リスト (Scan to Server)]	同じ画面内のスピードダイアルのリストにジャンプします。

項目	説明
[番号]	<p>短縮ダイヤル番号が表示されます。</p> <p>短縮ダイヤルが登録されていない場合、番号をクリックすると短縮ダイヤル登録画面が表示されます。短縮ダイヤル登録画面で、登録したい送信タイプを選択して設定を行います。</p> <p>短縮ダイヤルがすでに登録されている場合、番号をクリックすると登録情報を編集できます。</p> <p>ファクス番号、メールアドレス、LDAP 検索したメールアドレスを短縮ダイヤルに登録する場合、「[短縮ダイヤル登録]」(p.267)をごらんください。</p> <p>FTP または SMB を短縮ダイヤルに登録する場合、「[短縮ダイヤル登録] (Scan to Server)」(p.269)をごらんください。</p>
[宛先名 (カナ)]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先の名前が表示されます。
[説明]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先の説明が表示されます。
[宛先]	短縮ダイヤル番号に登録された相手先アドレスが表示されます。
[一括送信]	短縮ダイヤルに登録された相手先に、メモリーに蓄積したデータを一括送信する時間を表示します。
[削除] ボタン	クリックした短縮ダイヤル番号の登録情報を削除します。


【短縮ダイヤル登録】

[スキャン] - [短縮ダイヤル設定] - [短縮ダイヤル登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[短縮ダイヤル登録]	<p>短縮ダイヤルに登録したい送信タイプを選択します。</p> <p>[ファクス] を選択すると、ファクス送信先画面が表示されます。詳しくは、「[ファクス宛先]」(p.267) をごらんください。</p> <p>[E-mail] を選択すると、メール送信先画面が表示されます。詳しくは、「[E-mail 送信先]」(p.268) をごらんください。</p> <p>[LDAP 検索] を選択すると、LDAP 検索画面が表示されます。詳しくは、「[LDAP 検索]」(p.268) をごらんください。</p> <p>設定値：[ファクス]、[E-mail]、[LDAP 検索] 初期値：[ファクス]</p> <p> [LDAP] 画面（[ネットワーク] - [LDAP]）で [LDAP] が [無効] に設定されている場合は、[LDAP 検索] は表示されません。</p>

【ファクス宛先】

[スキャン] - [短縮ダイヤル設定] - [短縮ダイヤル登録] - [ファクス宛先] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[宛先名（カナ）]	<p>相手先の名前を指定します。</p> <p>範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）</p>
[宛先名説明]	<p>相手先の説明を入力します。</p> <p>範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）</p>
[ファクス番号]	<p>送信先のファクス番号を指定します。</p> <p>範囲： 半角 50 文字以内 初期値：（空白）</p> <p> P（ポーズ）は大文字で入力できますが、ファクス番号の最初に入力することはできません。</p>

項目	説明
[速度]	ファクスの伝送速度を設定します。 設定値： [9.6K]、[14.4K]、[33.6K] 範囲： [33.6K]
[一括送信タイム（時：分）]	メモリーに蓄積したデータを一括送信する時間を設定します。 範囲： [00:00] - [23:59] 初期値：（空白）

[E-mail 送信先]

[スキャン] - [短縮ダイヤル設定] - [短縮ダイヤル登録] - [E-mail 送信先] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[宛先名（カナ）]	相手先の名前を指定します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）
[宛先名説明]	相手先の説明を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）
[E-mail アドレス]	送信先のメールアドレスを指定します。 範囲： 半角 64 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）

[LDAP 検索]

[スキャン] - [短縮ダイヤル設定] - [短縮ダイヤル登録] - [LDAP 検索] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[LDAP 検索]	LDAP 検索時に検索対象とする項目を選択します。 設定値： [宛先名（カナ）]、[E-mai] 初期値： [宛先名（カナ）]
[LDAP 検索文字列]	検索する文字列を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）
[適用] ボタン	[適用] ボタンをクリックし、LDAP 検索を開始します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定をすべての設定変更をリセットし、初期設定に戻します。

💡 LDAP サーバーを使用する場合、Anonymous（匿名）権限でサーバーから検索すると、正しい検索結果が得られない場合があります。

【短縮ダイヤル登録】（Scan to Server）

［スキャン］ - ［短縮ダイヤル設定］ - ［短縮ダイヤル登録］ 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
［短縮ダイヤル登録］	短縮ダイヤルに登録したい送信タイプを選択します。 ［FTP］を選択する場合、「FTP サーバー設定」（p.269）をごらんください。 ［SMB］を選択する場合、「SMB サーバー設定」（p.272）をごらんください。 設定値：［FTP］、［SMB］ 初期値：［FTP］
［適用］ ボタン	［適用］ ボタンをクリックすると、それぞれの送信タイプの設定画面を表示します。
［クリアー］ ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットし、初期設定に戻します。

FTP サーバー設定

送信タイプとして FTP を選択した場合の設定画面では、以降の項目を設定できます。

💡 FTP サーバーへ送信する場合、[ネットワーク] - [FTP] - [Client] 画面の [送信] を有効に設定します。プロキシサーバーを使用する場合、プロキシサーバーの設定を行ってください。詳細については、「[FTP]」(p.307) をご覧ください。

項目		説明
[ファイル送信先]	[宛先名 (カナ)]	相手先の名前を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：(空白)
	[宛先名説明]	相手先の説明を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：(空白)
	[FTP サーバアドレス]	FTP サーバーの IP アドレスまたはサーバーのホスト名を入力します。DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名を入力できます。 範囲： 半角 64 文字以内 (英数字、記号) 初期値：(空白)
	[ディレクトリ]	FTP サーバーのディレクトリーを入力します。 範囲： 半角 127 文字以内 初期値：(空白)
	[プロキシを使用する]	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ
	[リモートポート番号]	FTP サーバーと通信するときに使用するポート番号を設定します。 範囲： [1] - [65535] 初期値： [21]
	PASV モード	FTP サーバーとの通信で、PASV モードを使用するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ

項目		説明
[基本設定]	[カラー設定]	カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを選択します。 設定値：[白黒]、[カラー / グレー] 初期値：[カラー / グレー]
	[解像度]	スキャンする解像度を選択します。 設定値：[150×150]、[300×300] 初期値：[300×300]
	[モード]	原稿の画質を選択します。 設定値：[文字]、[写真]、[文字 / 写真] 初期値：[文字 / 写真]
	[添付ファイル形式]	スキャンした画像を保存するファイル形式を選択します。 設定値：[TIFF]、[PDF]、[JPEG] 初期値：[PDF] 💡 カラー設定で [白黒] が選択されている場合、 [JPEG] を選択することができません。
	[圧縮方式]	白黒画像を送信する時の圧縮方式を選択します。 設定値：[MH]、[MR]、[MMR] 初期値：[MH] 💡 カラー設定で、[カラー / グレー] が選択されている場合、この設定は選択できません。
	[スキャン範囲]	スキャンする画像のサイズを選択します。 設定値：[A5]、[B5]、[A4]、[HLT]、[Letter]、 [Legal] 初期値：[A4]
[E-mail 通知]	[E-mail 通知を行う]	FTP サーバーへの送信を行った後、メール通知をするかどうかを設定します。 通知をする場合は、チェックをつけます。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 💡 [ネットワーク] - [E-mail] - [E-mail 送信] 画面の [SMTP] が [無効] になっている場合は、メール通知は行われません。
	[通知アドレス]	通知先のメールアドレスを設定します。 10 件の宛先を登録することができます。 範囲： 半角 64 文字以内（英数字、記号） 初期値：(空白)

項目		説明
[アカウント情報]	[共通名] / [プライベートサイト]	FTP サーバーにログインするアカウントの種類を選択します。 [共通名] を選択した場合、アカウント名は「Anonymous」、パスワードは「guest」としてログインします。 [プライベートサイト] を選択した場合、[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの再入力]を設定します。 設定値：[共通名]、[プライベートサイト] 初期値：[共通名]
	[ユーザー名]	FTP サーバーへログインするためのユーザー名を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）
	[パスワード]	FTP サーバーへログインするためのパスワードを入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）
	[パスワードの再入力]	確認のため、パスワードを再入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）

SMB サーバー設定

スキャン送信タイプとして SMB を選択した場合の設定画面では、以下の項目が設定できます。

💡 SMB サーバーへ送信する場合、[ネットワーク] - [SMB] 画面の「送信」を有効に設定します。詳細については、「[SMB]」（p.316）をごらんください。

項目		説明
[ファイル送信先]	[宛先名 (カナ)]	相手先の名前を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値：（空白）

項目		説明
	[宛先名説明]	相手先の説明を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値： (空白)
	[送信先アドレス]	SMB サーバーの IP アドレスまたは NetBIOS 名を入力します。 範囲： 半角 64 文字以内 (英数字、記号) 初期値： (空白)
	[ディレクトリ]	SMB サーバーのディレクトリーを入力します。 範囲： 半角 128 文字以内 (英数字、記号、/) 初期値： (空白)
[基本設定]	[カラー設定]	カラーでスキャンするか、白黒でスキャンするかを選択します。 設定値： [白黒]、[カラー / グレー] 初期値： [カラー / グレー]
	[解像度]	スキャンする解像度を選択します。 設定値： [150×150]、[300×300] 初期値： [300×300]
	[モード]	原稿の画質を選択します。 設定値： [文字]、[写真]、[文字 / 写真] 初期値： [文字 / 写真]
	[添付ファイル形式]	スキャンした画像を保存するファイルの形式を設定します。 設定値： [TIFF]、[PDF]、[JPEG] 初期値： [PDF] 💡 カラー設定で「白黒」が選択されている場合、「JPEG」を選択することができません。
	[圧縮方式]	白黒画像を送信する時の圧縮方式を選択します。 設定値： [MH]、[MR]、[MMR] 初期値： [MH] 💡 カラー設定で、[カラー / グレー] が選択されている場合、この設定はできません。
	[スキャン範囲]	スキャンする画像のサイズを選択します。 設定値： [A5]、[B5]、[A4]、[HLT]、[Letter]、[Legal] 初期値： [A4]

項目		説明
[E-mail 通知]	[E-mail 通知を行う]	<p>SMB サーバーへの送信を行った後、メール通知をするかどうかを設定します。 通知をする場合は、チェックをつけます。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ</p> <p>💡 [ネットワーク] - [E-mail] - [E-mail 送信] 画面の [SMTP] が [無効] になっている場合は、メール通知は行われません。</p>
	[通知アドレス]	<p>通知先のアドレスを設定します。10 件のアドレスを登録することができます。 範囲： 半角 64 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）</p>
[アカウント情報]	[共通名] / [プライベートサイト]	<p>SMB サーバーにログインするアカウントの種類を選択します。 [共通名] を選択した場合、アカウント名は「Anonymous」、パスワードは「guest」としてログインします。 [プライベートサイト] を選択した場合、[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの再入力] を設定します。 設定値：[共通名]、[プライベートサイト] 初期値：[共通名]</p>
	[ユーザー名]	<p>SMB サーバーへログインするためのユーザー名を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）</p>
	[パスワード]	<p>SMB サーバーへログインするためのパスワードを入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）</p>
	[パスワードの再入力]	<p>確認のため、パスワードを再入力します。 範囲： 半角 20 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白）</p>

【グループダイアル設定】

[スキャン] - [グループダイアル設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	グループダイアル番号が表示されます。 グループダイアルが登録されていない場合、番号をクリックするとグループダイアル登録画面が表示されます。詳しくは、「[グループダイアル登録] (宛先タイプ)」(p.275) をごらんください。 グループダイアルがすでに登録されている場合、番号をクリックすると登録情報を編集できます。
[宛先名 (カナ)]	グループ名が表示されます。
[説明]	グループダイアルの説明が表示されます。
[宛先]	グループダイアルが登録されている場合、「(ファクス) または (E-mail)」と表示されます。
[削除] ボタン	クリックしたグループダイアル番号の登録情報を削除します。


【グループダイアル登録】 (宛先タイプ)

[スキャン] - [グループダイアル設定] - [グループダイアル登録] 画面では、登録するグループダイアルの種類を選択します。

項目	説明
[グループダイアル登録]	グループダイアルに登録したい送信タイプを選択します。 [ファクス] を選択すると、グループのファクスの宛先が表示されます。 [E-mail] を選択すると、グループのメールの宛先が表示されます。 詳しくは、「[グループダイアル登録] (宛先の追加)」(p.276) をごらんください。 設定値：[ファクス]、[E-mail] 初期値：[ファクス]

【グループダイアル登録】（宛先の追加）

〔スキャン〕 - 〔グループダイアル設定〕 - 〔グループダイアル登録〕 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
〔グループダイアル名 (カナ)〕	グループダイアル名を指定します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値： (空白)
〔グループダイアル名 (説明)〕	グループダイアルの説明を入力します。 範囲： 半角 20 文字以内 初期値： (空白)
〔短縮ダイアルのイン デックス〕	同じ画面内の短縮ダイアルのリストにジャンプ します。
〔短縮 001-020〕 〔短縮 021-040〕 〔短縮 041-060〕 〔短縮 061-080〕 〔短縮 081-100〕 〔短縮 101-120〕 〔短縮 121-140〕 〔短縮 141-160〕 〔短縮 161-180〕 〔短縮 181-200〕 〔短縮 201-220〕	短縮ダイアルのリストが 20 件ごとに表示されま す。 登録された短縮ダイアル番号の左側のチェック ボックスをチェックすることで、短縮ダイアル の送信先をグループダイアルに登録することが できます。  SMB と FTP に登録された宛先をグループダイ アルに登録することはできません。また、 ファクスとメールの宛先を同じグループに登 録することはできません。

【ファクス設定】

【ユーザー登録】

〔スキャン〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ユーザー登録〕 画面では、ユーザー情報
の登録ができます。

項目	説明
〔発信者名 (カナ) (32 文字)〕	発信者名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以内 (カタカナ、英数字、記 号) 初期値： (空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： 〔設定メニュー〕 - 〔管理者設定〕 - 〔ユーザー設定〕 - 〔ユーザー名〕

項目	説明
[発信者名 (32 文字)]	発信者の説明を入力します。 範囲： 半角 32 文字以内 初期値： (空白)
[ファクス番号 (20 文字)]	ファクス番号を設定します。 範囲： 半角 20 文字以内 (数字、スペース、+、-) 初期値： (空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー設定] - [ファクス番号]

[送信設定]

[スキャン] - [ファクス設定] - [送信設定] 画面では、以下の項目を設定できます。



項目	説明
[濃度レベル]	スキャン原稿の読み取り濃度を設定します。 設定値： [-1]、[0]、[+1] 初期値： [0] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス送信設定] - [濃度レベル]
[優先画質]	優先する画質を設定します。 設定値： [標準・文字]、[精細・文字]、[高精細・文字]、[標準・写真]、[精細・写真]、[高精細・写真] 初期値： [精細・文字] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス送信設定] - [優先画質]
[優先送信モード]	優先して原稿を送信するモードを設定します。 設定値： [メモリ送信]、[ダイレクト送信] 初期値： [メモリ送信] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス送信設定] - [優先送信モード]
[ヘッダー]	送信する文書に本機の発信元情報 (送信日時、送信者名、送信者ファクス番号など) を印字するかどうかを設定します。 設定値： オン、オフ 初期値： オン 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス送信設定] - [ヘッダー]

[受信設定]

[スキャン] - [ファクス設定] - [受信設定] 画面では、以下の項目を設定できます。



項目	説明
[メモリ受信モード]	<p>メモリ受信する（オン）か、しない（オフ）かを設定します。</p> <p>機密文書を受信する場合や、夜間などの無人時に印刷出力をしたくない場合にオンにします。</p> <p>受信文書はメモリに蓄積され、指定された時間や、メモリ受信がオフに設定されたときに印刷されます。</p> <p>パスワードを設定すると、メモリ受信の開始時間と終了時間を設定したり、この機能を中止したりできます。</p> <p>開始時間と終了時間の設定は、メモリ受信を無効にするまで、毎日有効になります。</p> <p>設定値：オン、オフ 初期値：オフ</p> <p>■ [開始時間] 範囲： [00:00] - [23:59] 初期値：（空白）</p> <p>■ [終了時間] 範囲： [00:00] - [23:59] 初期値：（空白）</p> <p>■ [パスワード] 範囲： 4桁（数字のみ） 初期値：（空白）</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [メモリ受信モード]</p>
[呼び出し回数]	<p>ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を設定します。</p> <p>範囲： [0] - [15]（回） 初期値： [3]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [呼び出し回数]</p>

項目	説明
[縮小受信]	<p>本機の印刷用紙よりも長い文書を受信した場合に、縮小するか（オン）、分割するか（オフ）、破棄するか（カット）を選択します。</p> <p>[オン] に設定すると、受信した文書は縮小されて印刷されます。</p> <p>[オフ] に設定すると、受信した文書はフルサイズのまま、複数のページに分割して印刷されます。</p> <p>[カット] に設定すると、受信した文書のうち、ページに収まらない部分は消去されて印刷されます。ただし、送信された文書が、用紙よりも 24 mm 以上長い場合には、[カット] は利用できません。（この場合、文書は分割されます。）</p> <p>設定値：[オン]、[オフ]、[カット]</p> <p>初期値：[オン]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [縮小受信]</p>
[受信プリント]	<p>ファクス受信時に、受信が完了してから印刷するか、受信しながら印刷するかを設定します。</p> <p>[メモリ受信] に設定すると、すべてのページを受信してから印刷します。</p> <p>[プリント受信] に設定すると、最初のページを受信した後に印刷を開始します。</p> <p>設定値：[メモリ受信]、[プリント受信]</p> <p>初期値：[メモリ受信]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [受信プリント]</p>
[受信モード]	<p>受信モードを設定します。</p> <p>設定値：[自動受信]、[手動受信]</p> <p>初期値：[自動受信]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [受信モード]</p>
[転送モード]	<p>転送モードを設定します。</p> <p>設定値：[オフ]、[オン]、[オン（プリント）]</p> <p>初期値：[オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [転送]</p>

項目	説明
[転送宛先]	<p>転送する宛先のメールアドレスまたはファクス番号を設定します。</p> <p>設定値 ファクス：半角 50 文字以内（数字、スペース、*、#、-、P（ポーズ）） メール：半角 64 文字以内（英数字、記号） 初期値：（空白） 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [転送]</p>
[フッタープリント]	<p>受信した文書にフッターを印字するかどうかを設定します。</p> <p>設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [フッター]</p>
[トレイ選択]	<p>受信ドキュメントや、送信レポートを印刷する場合の給紙トレイを選択します。</p> <p>設定値：[有効]、[無効]（トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3） 初期値：[有効]（トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3） 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [トレイ選択]</p> <p> [トレイ 3] はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。</p>
[転送受信]	<p>外付け電話を接続している場合に転送受信をするかどうかを設定します。</p> <p>設定値：オン、オフ 初期値：オフ</p> <p> 「オン」を選択すると、番号を 0 ～ 9 の範囲で設定することができます（デフォルト：[3]）。</p>
[両面印刷]	<p>受信した文書に複数のページがある場合、両面印刷を行うかどうかを設定します。</p> <p>設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [両面印刷]</p>

【通信設定】


[スキャン] - [ファクス設定] - [通信設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[トーン / パルス]	お使いの電話回線のダイヤルを設定します。この設定が正しく行われていないと、ファクスを送信できません。 設定値：[トーン]、[パルス (10PPS)]、[パルス (20PPS)] 初期値：[トーン] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [トーン / パルス]
[回線モニター音量]	回線モニターの音量を選択します。 設定値：[上部]、[下部]、[オフ] 初期値：[下部] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [回線モニター]  この設定を [オフ] にしても、本機の操作パネルの [オンフック] ボタンを押せば、モニター音を聞くことができます。
[PSTN/PBX]	[PSTN] または [PBX] は、ご利用の環境に合わせて選択してください。 [PSTN] は、ご利用の環境に電話交換機などがいない場合に選択します。 [PBX] は、ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。 設定値：[PSTN]、[PBX] 初期値：[PSTN] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [PSTN/PBX]  [PBX] を選択すると、PBX 番号を 0 ～ 9999 の範囲で設定することができます（デフォルト：[空白]）。

項目	説明
[TEL/FAX 自動切り替え]	<p>チェックすると、着信後、相手がファクスなのか電話なのかを検知します。</p> <p>設定値：オン、オフ</p> <p>初期値：オフ</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [電話 / ファクス モード]</p>
[電話呼び出し時間]	<p>相手が電話をかけてから呼び出すまでの時間を設定します。</p> <p>設定値：[5]、[10]、[15]、[20]、[25]、[30]、[60]、[90]、[120]、[150]、[180]、[240]（秒）</p> <p>初期値：[20]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [電話 呼出し時間]</p>
[留守番電話接続]	<p>留守番電話に接続するかどうかを設定します。</p> <p>設定値：オン、オフ</p> <p>初期値：オフ</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [送信設定] - [留守 番電話接続]</p>

【レポート設定】

[スキャン] - [ファクス設定] - [レポート設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[通信管理レポート]	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オン] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [レポート設定] - [通信管理レポート]
[送信結果レポート]	送信後に、送信結果を印刷するかどうかを設定します。 [オン] に設定した場合、送信ごとに送信結果を印刷します。 [オン（エラー）] に設定した場合、送信エラーが発生したときのみ、送信結果を印刷します。  送信エラーとなった文書の 1 ページ目を縮小し、エラー結果とともに印刷します。 [オフ] に設定した場合、送信結果を印刷しません。エラーが発生した場合でも、レポートは印刷されません。 設定値：[オン]、[オン（エラー）]、[オフ] 初期値：[オン（エラー）] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [レポート設定] - [送信結果レポート]
[受信結果レポート]	受信後に、受信結果を印刷するかどうかを設定します。 [オン] に設定した場合、受信ごとに受信結果を印刷します。 [オン（エラー）] に設定した場合、受信エラーが発生したときのみ、受信結果を印刷します。 [オフ] に設定した場合、受信結果を印刷しません。エラーが発生した場合でも、レポートは印刷されません。 設定値：[オン]、[オン（エラー）]、[オフ] 初期値：[オン（エラー）] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [レポート設定] - [受信結果レポート]

【ユーザー設定】

[スキャン] - [ファクス設定] - [ユーザー設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[日付種類]	日付の表示形式を設定します。 設定値：[MM/DD/YY]、[DD/MM/YY]、[YY/MM/DD] 初期値：[YY/MM/DD] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー設定] - [日付種類]
[固定倍率]	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。 設定値：[インチ]、[メトリック] 初期値：[メトリック] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー設定] - [固定倍率]

【オートリダイヤル設定】

[スキャン] - [ファクス設定] - [オートリダイヤル設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[オートリダイヤル回数]	最後に送信したファクス番号を呼び出す回数を設定します。 設定値：[1 ～ 10 回] 初期値：[1]
[オートリダイヤル間隔]	最後に送信したファクス番号をリダイヤルする間隔を設定します。 設定値：[2 ～ 99 分] 初期値：[2]

【相手先リストのダウンロード／アップロード】

[スキャン] - [相手先リストのダウンロード／アップロード] 画面では、宛先情報のダウンロードとアップロードができます。

項目	説明
[ダウンロード]	[適用] ボタンをクリックすると、登録情報ファイルをコンピューターに保存します。
[アップロード]	登録情報ファイルの場所を指定し、[適用] ボタンをクリックすると本機に登録情報をアップロードします。

💡 ダウンロードした CSV ファイルを修正したい場合は、テキストエディタを使用してください。テキストエディタ以外で保存した場合、アップロード時にエラーが発生します。

💡 不意の故障などに備え、ファクス宛先リストのデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。

【ネットワーク】 タブ

[ネットワーク] タブでは、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 7 章「ネットワーク印刷」をご覧ください。

【TCP/IP】

【TCP/IP】

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [TCP/IP] 画面では、以下の項目を設定できます。





TCP/IP の詳細については、第 7 章「ネットワーク印刷」をごらんください。


項目	説明
[TCP/IP]	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP]
[速度]	イーサネットの動作モードと速度を設定します。 設定値：[自動]、[10Base-T (Half)]、[10Base-T (Full)]、[100Base-TX (Half)]、 [100Base-TX (Full)]、[1000Base-T (Full)] 初期値：[自動] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SPEED/DUPLEX]
[LPD]	LPD を使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[SLP]	SLP を使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SLP]
[LLMNR]	LLMNR を使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

[IPv4 設定]

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPv4 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。



TCP/IP の詳細については、第 7 章「ネットワーク印刷」をごらんください。

項目	説明
[Auto IP]	<p>本機の IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。</p> <p>設定値：[DHCP]、[BootP]、[ARP/PING]</p> <p> 複数の項目を選択できます。</p> <p>初期値：[DHCP]</p> <p>同機能の本機操作パネルの設定メニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [DHCP]、[BOOTP]、[ARP/PING]</p> <p> 手動で IP アドレスを設定した場合、[DHCP]、 [BootP]、[ARP/PING] は自動で [オフ] になり、初期値は何も設定されていない状態になります。</p>
[IP アドレス] *	<p>本機の IP アドレスを設定します。</p> <p>書式：*.*.*.* (* の入力範囲：0-255)</p> <p> 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p> <p>同機能の本機操作パネルの設定メニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス フィルター]</p>
[サブネットマスク] *	<p>本機のサブネットマスクアドレスを設定します。</p> <p>書式：*.*.*.* (* の入力範囲：0-255)</p> <p>初期値：[0.0.0.0]</p> <p> 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p> <p>同機能の本機操作パネルの設定メニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス設定]</p>

項目	説明
[デフォルトゲートウェイ] *	<p>ネットワークでルーターを使用している場合は、ルーターのアドレスを設定します。 書式：*.*.*. (*の入力範囲：0-255) 初期値：[0.0.0.0]</p> <p> 範囲外の数値のルーターのアドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p> <p>同機能の本機操作パネルの設定メニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス設定]</p>
[ドメイン名自動取得]	<p>ドメイン名の自動取得を行うかどうかを選択します。DHCP が有効の場合に設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]</p>
[DNS サーバー自動取得]	<p>DNS サーバーアドレスの自動取得を行うかどうかを設定します。DHCP が有効の場合に設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]</p>
<p>* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。</p>	

【IPv6 設定】

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPv6 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[IPv6]	IPv6 を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPv6] - [禁止 / 許可]
[IPv6 自動設定]	IPv6 アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPv6] - [自動設定]
[IPv6 リンクローカルアドレス]	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPv6] - [リンクローカルアドレス]
[IPv6 グローバルアドレス]	IPv6 グローバルアドレスを設定します。 範囲： 半角 4 - 43 文字 初期値： ::/0 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPv6] - [グローバルアドレス]  [IPv6 自動設定] が [有効] に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません
[IPv6 ゲートウェイアドレス]	IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します。 範囲： 半角 6 - 39 文字 初期値： :: 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPv6] - [ゲートウェイ]  [IPv6] が [有効] に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。

項目	説明
[DHCPv6]	DHCPv6 を使用して IPv6 アドレスを取得するかどうかを選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[DNS サーバー自動取得]	DNS サーバーアドレスを自動取得するかどうかを選択します。DHCPv6 が有効の場合に設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[検索ドメイン名の自動取得]	検索ドメイン名の自動取得を行うかどうかを選択します。DHCPv6 が有効の場合に設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[NTP サーバーの自動取得]	NTP サーバーの IPv6 アドレスを自動取得するかどうかを選択します。 DHCPv6 が有効の場合に設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

[RAW ポート設定]


[ネットワーク] - [TCP/IP] - [RAW ポート設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[RAW ポート]	RAW ポートを使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [RAW ポート] - [禁止 / 許可]

項目	説明
[RAW ポート番号]	<p>本機の TCP/IP の RAW ポート番号を設定します。 設定値：[1] - [65535] 初期値：[9100]</p> <p> 現在使用しているポート番号と、80、161、427、443、515、631 および 4567 は指定できません。</p>
[RAW ポート双方向]	<p>RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [RAW ポート] - [双方向]</p>

[DNS 設定]

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [DNS 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[ホスト名]	<p>ホスト名を設定します。 範囲：半角 1 - 63 文字 初期値：[LP-M720-xxxxxx]</p> <p> [xxxxxx] には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。</p>
[ドメイン名]	<p>ドメイン名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：(空白)</p>
[DNS サーバー (IPv4)]	<p>IPv4 の DNS サーバーを設定します。 最大 3 つまで登録できます。 初期値：[0.0.0.0]</p>
[DNS サーバー (IPv6)]	<p>IPv6 の DNS サーバーを設定します。 最大 3 つまで登録できます。 初期値：[::]</p>

項目	説明
[検索ドメイン名]	DNS 検索ドメイン名を設定します。 初期値：(空白)
[ダイナミック DNS]	ダイナミック DNS を使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [ダイナミック DNS]



【IP アドレスフィルタリング】

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IP アドレスフィルタリング] 画面では、以下の項目を設定できます。

💡 以下の設定は、DNS サーバーと DHCP サーバーに対しては適用されません。

💡 [許可アドレス] で許可した IP アドレスの範囲が、[拒否アドレス] で拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、[拒否アドレス] の拒否設定が優先されます。

項目	説明
[許可アドレス]	<p>[有効] に設定すると、本機へのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。アクセスを許可する IP アドレスの範囲を、5 つまで指定できます。また、指定した範囲外の IP アドレスからはアクセスできません。</p> <p>[無効] に設定すると、アクセス許可の設定は無効になります。</p> <p>設定値：[有効]、[無効]</p> <p>初期値：[無効]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレスフィルタ] - [アクセス許可]</p>
アクセスを許可する IP アドレス範囲	<p>アクセスが許可されている範囲の開始 IP アドレスと、終了 IP アドレスを指定します。</p> <p>書式： *.*.*.* (* の入力範囲：0-255)</p> <p>初期値：[0.0.0.0]</p> <p>💡 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスと同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに [0.0.0.0] を入力します。</p> <p>💡 終了 IP アドレスよりも開始 IP アドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。</p>

項目	説明
[拒否アドレス]	<p>[有効] に設定すると、本機へのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。アクセスを拒否する IP アドレスの範囲を、5 つまで指定できます。</p> <p>[無効] に設定すると、アクセス拒否の設定は無効になります。</p> <p>設定値：[有効]、[無効]</p> <p>初期値：[無効]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IP アドレス フィルター] - [アクセス拒否]</p>
アクセスを拒否する IP アドレス範囲	<p>アクセスが拒否されている範囲の開始 IP アドレスと、終了 IP アドレスを指定します。</p> <p>書式： *.*.*.* (* の入力範囲：0-255)</p> <p>初期値： [0.0.0.0]</p> <p> 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスと同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに [0.0.0.0] を入力します。</p> <p> 終了 IP アドレスよりも開始 IP アドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。</p>

【IPsec】

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPsec] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[一般設定]	IPsec が有効かどうかが表示されます。
[IKE 使用期限]	IKE の使用期限が表示されます。
[IKE Diffie-Hellman グループ]	IKE Diffie-Hellman グループが表示されます。
[IPsec SA 使用期限]	IPsec SA の使用期限が表示されます。
[編集] アイコン	クリックすると、[一般設定] 画面が表示されます。

項目	説明
[IKE 設定]、[IPsec SA 設定]、[IPsec Peer 設定]	登録されている設定が表示されます。
[編集] アイコン	クリックすると、設定画面が表示されます。
[削除] アイコン	クリックすると、設定を削除します。

【一般設定】（【編集】）

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPsec] - [一般設定] - [編集] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[IPsec]	IPsec を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPSEC]
[IKE 使用期限]	IKE の使用期限を設定します。 範囲： [80] - [604800] (秒) 初期値： [28800]
[IKE Diffie-Hellman グループ]	IKE Diffie-Hellman グループを選択します。 設定値：[グループ 1]、[グループ 2] 初期値：[グループ 2]
[IPsec SA 使用期限]	IPsec SA の使用期限を設定します。 範囲： [120] - [604800] (秒) 初期値： [3600]

【IKE 設定】（【編集】）

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPsec] - [IKE 設定] - [編集] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。

項目	説明
[暗号化アルゴリズム]	制御用トンネルを作るときに使用する暗号化アルゴリズムを指定します。 設定値：[DES-CBC]、[3DES-CBC] 初期値：[DES-CBC]
[認証アルゴリズム]	制御用トンネルを作るときに使用する認証アルゴリズムを指定します。 設定値：[MD5]、[SHA-1] 初期値：[MD5]


【IPsec SA 設定】（【編集】）

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPsec] - [IPsec SA 設定] - [編集] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。
[セキュリティプロトコル]	セキュリティプロトコルを設定します。 設定値：[AH]、[ESP]、[ESP & AH] 初期値：[AH]
[ESP 暗号化アルゴリズム]	[セキュリティプロトコル] が [ESP] に設定されている場合、ESP 暗号化アルゴリズムを設定します。 設定値：[なし]、[DES-CBC]、[3DES-CBC]、[AES-CBC]、[AES-CTR] 初期値：[なし]
[ESP 認証アルゴリズム]	[セキュリティプロトコル] が [ESP] に設定されている場合、ESP 認証アルゴリズムを設定します。 設定値：[なし]、[MD5]、[SHA-1] 初期値：[なし]
[AH 認証アルゴリズム]	[セキュリティプロトコル] が [AH] に設定されている場合、AH 認証アルゴリズムを設定します。 設定値：[MD5]、[SHA-1] 初期値：[MD5]

【IPsec Peer 設定】（【編集】）

[ネットワーク] - [TCP/IP] - [IPsec] - [IPsec Peer 設定] - 【編集】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。
[パーフェクトフォワードセキュリティ]	IKE の強度を上げたい場合は、[使用] を選択します。 設定値：[使用しない]、[使用] 初期値：[使用しない]
[Peer アドレス]	通信先の IP アドレスを設定します。 範囲： 半角 2-39 文字以下 初期値：（空白）  IPv4 または IPv6 アドレスで指定できます。
[プレ共有キー]	通信相手先と共有するプレ共有キー文字列を設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
[カプセル化モード]	IPsec の動作モードを設定します。 設定値：[使用しない]、[トンネルモード]、 [トランスポートモード] 初期値：[使用しない]

【Bonjour】

[ネットワーク] - [Bonjour] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[Bonjour]	Bonjour 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [BONJOUR]
[Bonjour 名]	本機の Bonjour 名を設定します。 範囲：半角 1 - 63 文字 初期値：[LP-M720-xxxxxx.local]
[優先プロトコル]	Bonjour で優先的に接続するプロトコルを指定します。 設定値：[LPD]、[RAW ポート]、[IPP] 初期値：[RAW ポート]


【LDAP】

【ネットワーク】 - 【LDAP】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
【LDAP】	LDAP サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [有効 / 無効]
【サーバーアドレス】	LDAP サーバーアドレスを設定します。 IPv4 アドレスまたは FQDN（Fully Qualified Domain Name）で指定できます。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：[0.0.0.0] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [LDAP サーバ アドレス]
【ポート番号】	LDAP サーバーのポート番号を設定します。 設定値：[1] - [65535] 初期値：[389] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [LDAP ポート番号]
【SSL 使用設定】	SSL/TLS を使用するかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [SSL 設定]
【ポート番号（SSL）】	SSL 通信で使用するポート番号を入力します。 設定値：[1] - [65535] 初期値：[636]
【検索ベース】	LDAP サーバーに配置されているディレクトリー構造の中の検索起点を入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：(空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [検索ベース]

項目	説明
[属性]	<p>情報を取得するノードの属性を指定します。</p> <p>範囲： 半角 32 文字以内</p> <p>初期値： [cn]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [属性]</p>
[検索方法]	<p>検索で指定した文字が、最初か、含まれるか、最後に出現するかを選択します。</p> <p>設定値： [始まる]、[含む]、[終わる]</p> <p>初期値： [含む]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [検索方法]</p>
[タイムアウト]	<p>LDAP 検索のタイムアウトの時間を設定します。</p> <p>設定値： [5] - [300] (秒)</p> <p>初期値： [60]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [LDAP タイムアウト]</p>
[最大検索数]	<p>LDAP の検索結果として表示する最大数を入力します。</p> <p>設定値： [5] - [100]</p> <p>初期値： [100]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [検索最大表示件数]</p>


項目	説明
[認証方式]	<p>LDAP サーバーへログインするときの認証方式を選択します。</p> <p>[共通名] を選択した場合は、[ドメイン名]、[パスワード] の設定は不要です。</p> <p>[Simple] を選択した場合は、[ドメイン名] と [パスワード] の設定が必要です。</p> <p>[Digest-MD5] を選択した場合は、一般的な LDAP サーバーの設定が必要です。これは Active Directory で使用することはできません。</p> <p>[GSS-SPNEGO] を選択した場合は、Windows の Active Directory を使用します。</p> <p>[NTLMv2] を選択した場合は、Windows の NTLM 認証を使用します。</p> <p>設定値：[共通名]、[Simple]、[Digest-MD5]、[GSS-SPNEGO]、[NTLMv2]</p> <p>初期値：[共通名]</p>
[LDAP アカウント]	<p>LDAP サーバーへログインするためのログイン名を入力します。</p> <p>範囲： 半角 64 文字以下</p> <p>初期値：(空白)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [LDAP アカウント]</p>
[パスワード]	<p>LDAP サーバーへログインするためのパスワードを入力します。</p> <p>範囲： 半角 32 文字以下</p> <p>初期値：(空白)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [LDAP パスワード]</p>
[ドメイン名]	<p>LDAP サーバーへログインするためのドメイン名を入力します。</p> <p>範囲： 半角 64 文字以下</p> <p>初期値：(空白)</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [LDAP 設定] - [ドメイン名]</p>
[接続を確認してください] ボタン	<p>クリックすると、設定した内容で LDAP サーバーに接続できるかどうか確認します。</p>

 匿名で LDAP サーバーにアクセスしている場合は、正しい検索結果が取得できないことがあります。

【Web サービス設定】

【共通設定】

[ネットワーク] - [Web サービス設定] - [共通設定] 画面では、以下の項目を設定します。

項目	説明
[Friendly Name]	Friendly Name を入力します。 初期値：LP-M720-xxxxxx
[セキュリティモード]	SSL を有効にする場合は、[有効] を選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効]  この項目は、SSL/TSL が有効な場合にのみ表示されます。

【プリンター設定】

[ネットワーク] - [Web サービス設定] - [プリンター設定] 画面では、以下の項目を設定します。

項目	説明
[プリント機能]	WSD 印刷を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[プリンター名]	本機のプリンター名を設定します。 初期値：LP-M720-xxxxxx
[プリンター設置場所]	本機の設置場所を設定します。 初期値：(空白)
[プリンター情報]	本機の情報を設定します。 初期値：(空白)

【スキャナー設定】

[ネットワーク] - [Web サービス設定] - [スキャナー設定] 画面では、以下の項目を設定します。

項目	説明
[スキャン機能]	WSD スキャンを有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
[スキャナー名]	スキャナー名を設定します。 初期値：LP-M720-xxxxxx
[スキャナー設置場所]	スキャナーの設置場所を設定します。 デフォルト：-
[スキャナー情報]	スキャナーの情報を設定します。 デフォルト：-

【LLTD】

[ネットワーク] - [LLTD] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[LLTD]	LLTD 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

【NetWare】

【NetWare】

[ネットワーク] - [NetWare] - [NetWare] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
[NetWare]	[NetWare 印刷]	NetWare 印刷を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [NETWARE]
	[フレームタイプ]	使用するフレームタイプを選択します。 設定値：[自動]、[Ethernet 802.2]、[Ethernet 802.3]、[Ethernet II]、[Ethernet SNAP] 初期値：[自動]

項目		説明
	[モード]	NetWare のモードを設定します。 設定値：[無効]、[PServer]、[NPrinter/RPrinter] 初期値：[無効]
[PServer]	[プリントサーバー名]	プリンターのサーバー名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：[LP-M720-xxxxxx] "xxxxxx" には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	[プリントサーバーパスワード]	プリントサーバーのパスワードを設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値：(空白)
	[パスワードの再入力]	確認のためにパスワードを再入力します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値：(空白)
	[プリントキュー取得間隔]	キュースキャン間隔を設定します。 範囲： [1] - [65535] (秒) 初期値：[1]
	[Bindery/NDS]	Bindery の設定を行います。 設定値：[NDS]、[Bindery/NDS]、[Bindery] 初期値：[NDS]
	[優先ファイルサーバー]	プリンターの優先ファイルサーバーを設定します。 範囲： 半角 47 文字以下 初期値：(空白)
	[優先 NDS コンテキスト名]	プリンターの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲： 半角 191 文字以下 初期値：(空白)
	[優先 NDS ツリー名]	プリンターの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：(空白)

項目		説明
[NPrinter/ RPrinter]	[プリン ター名]	本機のプリンター名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [LP-M720-xxxxxx] 💡 "xxxxxx" には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進 数で表示されます。
	[プリン ター番号]	本機のプリンター番号を設定します。 範囲： [0] - [255] 初期値： [255]

【NetWare ステータス】

[ネットワーク] - [NetWare] - [NetWare ステータス] 画面では、以下の項目を設定できます。





項目	説明
[ファイルサーバー]	NetWare のファイルサーバーが表示されます。
[キュー名]	NetWare のキュー名が表示されます。
[キューの状態]	NetWare のキューの状態が表示されます。

【IPP】

[ネットワーク] - [IPP] 画面では、以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 7 章 [ネットワーク印刷] をごらんください。

💡 設定を有効にするためには、設定後に本機を再起動してください。

項目	説明
[IPP 印刷]	IPP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IPP]
[IPP ジョブの受信]	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]

項目	説明
[プリンター名]	<p>本機のプリンター名が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： [LP-M720-xxxxxx]</p> <p> この設定は、[システム] - [マシン設定] で設定します。</p>
[プリンターの場所]	<p>本機の設置場所が表示されます。 初期値： (空白)</p> <p> この設定は、[システム] - [マシン設定] で設定します。</p>
[プリンターの情報]	<p>本機の情報が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)</p> <p> この設定は、[システム] - [マシン設定] で設定します。</p>
[プリンター URI]	<p>本機の URI が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ http://<IP アドレス >/ipp ■ http://<FQDN>/ipp ■ ipp://<IP アドレス >/ipp ■ ipp://<FQDN>/ipp ■ https://<IP アドレス >/ipp ■ https://<FQDN>/ipp <p> "https:// < IPアドレス > /ipp" および "https:// < FQDN > /ipp" は、SSL/TLS 設定が有効な場合にのみ表示されます。</p>

項目		説明
[サポートする操作]	[ジョブのプリント]	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブの確認]	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブのキャンセル]	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブ属性の取得]	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブの取得]	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[プリンター属性の取得]	この項目をチェックすると、本機のプリンターの属性を取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
[IPP 認証]		IPP 印刷時の認証方式を設定します。 設定値：[なし]、[要求ユーザー名]、[ベーシック認証]、[ダイジェスト認証] 初期値：[要求ユーザー名]
[ユーザー認証名]		[ベーシック認証]、[ダイジェスト認証] で使用するユーザー名を設定します。 範囲： 半角 1 - 20 文字 初期値：[user]
[パスワード]		[ベーシック認証]、[ダイジェスト認証] で使用するパスワードを設定します。 範囲： 半角 1 - 20 文字 初期値：[pass]
[領域]		認証方式が [ベーシック認証] または [ダイジェスト認証] の場合、領域を設定します。 範囲： 半角 1 - 127 文字 初期値：[IPP]

【FTP】

【サーバー】

[ネットワーク] - [FTP] - [サーバー] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[FTP サーバー]	FTP サーバーを有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [FTP サーバー]

【クライアント】


[ネットワーク] - [FTP] - [クライアント] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[送信]	FTP 通信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [FTP 送信]
[プロキシサーバー]	プロキシサーバーアドレスを設定します。 IPv4 アドレスまたは FQDN（Fully Qualified Domain Name）で指定できます。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：[0.0.0.0]
[Proxy ポート番号]	プロキシサーバーのポート番号を設定します。 設定値：[1] - [65535] 初期値：[21]
[接続タイムアウト]	FTP サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。 設定値：[5] - [300]（秒） 初期値：[60]

【SNMP】

【ネットワーク】 - 【SNMP】 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
【SNMP】	【SNMP】	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - 【SNMP】
	【SNMP v1/ v2c(IP)】	SNMP v1/v2c (IP) を使用する場合は、[有効] を選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	【SNMP v3(IP)】	SNMP v3 (IP) を使用する場合は、[有効] を選 択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	【SNMP v1(IPX)】	SNMP v1 (IPX) を使用する場合は、[有効] を 選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 💡 この項目は 【ネットワーク】 - 【NetWare】 - 【サーバー】 画面で 【NetWare 印刷】 を [有 効] に設定している場合のみ表示されます。
	【UDP ポート】	UDP ポート番号を設定します。 範囲：[1] - [65535] 初期値：[161] 💡 ポート番号 [427] と [500] は設定できま せん。
【SNMP v1/ v2c/(IP)】	【リードコ ミュニティ 名】	読み取り時に使用されるコミュニティ名を設 定します。 範囲：半角 15 文字以下 初期値：[public]
	【ライト】	読み書きを有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	【ライトコ ミュニティ 名】	読み書き時に使用されるコミュニティ名を設 定します。 範囲：半角 1 - 15 文字 初期値：[private]

項目		説明
[SNMP v3]	[コンテキスト名]	コンテキスト名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：(空白)
	[開示]	検出用ユーザー名を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[開示ユーザー名]	検出用ユーザー名を設定します。 範囲： 半角 1 - 32 文字 初期値：[public]
	[リードユーザー名]	読み取り専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値：[initial]  [開示ユーザー名]、[ライトユーザー名] とは別の名前を設定してください。
	[リードセキュリティレベル]	読み取り専用ユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値：[なし]、[認証パスワード]、[認証パスワード / プライバシーパスワード] 初期値：[認証パスワード / プライバシーパスワード]
	[リード認証パスワード]	読み取り専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8-32 文字 初期値：[AuthPassword]
	[リードプライバシーパスワード]	プライバシー（暗号）に使用する読み取り専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8-32 文字 初期値：[PrivPassword]

項目		説明
	[ライトユーザー名]	読み書き専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： [restrict]  [開示ユーザー名]、[ライトユーザー名] とは別の名前を設定してください。
	[ライトセキュリティレベル]	読み書き専用ユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値： [なし]、[認証パスワード]、[認証パスワード / プライバシーパスワード] 初期値： [認証パスワード / プライバシーパスワード]
	[ライト認証パスワード]	読み書き専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8-32 文字 初期値： <Mac アドレス> (コロンは含まない)
	[ライトプライバシーパスワード]	プライバシー (暗号化) に使用される読み書き専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8-32 文字 初期値： <Mac アドレス> (コロンは含まない)
	[暗号化アルゴリズム]	暗号化アルゴリズムを選択します。 設定値： [DES]、[AES-128] 初期値： [DES]
	[認証方法]	認証方式を選択します。 設定値： [MD5]、[SHA-1] 初期値： [MD5]
[TRAP 設定]	[許可設定]	TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
	[認証失敗時の TRAP 設定]	認証失敗時に TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]

[AppleTalk]


[ネットワーク] - [AppleTalk] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[AppleTalk]	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [APPLETALK]
[プリンター名]	本機のプリンター名を設定します。 範囲： 半角 1 - 31 文字 初期値： [LP-M720-xxxxxx] "xxxxxx" には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進 数で表示されます。
[ゾーン名]	ゾーン名を設定します。 範囲： 半角 1 - 31 文字 初期値： [*]
[現在のゾーン名]	現在設定されているゾーン名が表示されます。

[E-mail]

[E-mail 送信]

[ネットワーク] - [E-mail] - [E-mail 送信] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
[E-mail]	[SMTP]	電子メールの送信を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP]
	[スキャン送信]	スキャンしたデータをメールで送信する機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]
	[発信元名]	スキャンしたデータをメールで送信する場合に、メール発信元の名前を設定します。 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [発信元名] 初期値：Epson LP-M720
	[E-mail アドレス]	スキャンしたデータをメールで送信する場合に、メール発信元のメールアドレスを設定します。 範囲：半角 64 文字以下 初期値：(空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [E-mail アドレス]  [E-mail アドレス] が空欄のまま [適用] をクリックすると、エラーとなります。適切に設定を行ってください。
	[件名]	スキャンしたデータをメールで送信する場合の、メールの件名を設定します。 範囲：半角 20 文字以下 初期値：[from Epson LP-M720] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [件名初期値]

項目		説明
	[SMTP サーバーアドレス]	<p>SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を指定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値： [0.0.0.0] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP サーバ アドレス]</p> <p> SMTP サーバーアドレスを設定した場合は、[E-mail アドレス] も設定してください。</p>
	[ポート番号]	<p>SMTP サーバーと通信時に使用するポート番号を設定します。 設定値： [1] - [65535] 初期値： [25] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP ポート番号]</p>
	[接続タイムアウト]	<p>SMTP サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。 範囲： [30] - [300] (秒) 初期値： [60] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP タイムアウト]</p>
	[テキスト挿入]	<p>スキャンしたデータをメールで送信する場合に、メール本文にテキストを挿入するかどうか選択します。 設定値： オン、オフ 初期値： オフ 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [テキスト挿入]</p>
[認証]	[POP before SMTP]	<p>POP before SMTP 認証を行う場合は、[有効] を選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [無効 / 有効]</p>

項目	説明
[POP before SMTP 時間]	POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーにアクセスするまでの時間を入力します。 設定値：[0] - [60] (秒) 初期値：[1]
[POP3 サーバアドレス]	POP before SMTP の認証に使用する POP3 サーバーの、IP アドレスまたはホスト名を指定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：[0.0.0.0] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [POP3 サーバ アドレス]
[アカウント名]	POP3 サーバーで使用するアカウント名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：(空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [POP3 アカウント]
[パスワード]	POP3 サーバーで使用するパスワードを設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値：(空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [POP3 パスワード]
[ポート番号]	SMTP サーバーとの通信で使用するポート番号を設定します。 範囲： [1] - [65535] 初期値：[110] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [POP3 ポート番号]

項目	説明
[POP3 タイムアウト]	POP3 サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。 範囲： [30] - [300] (秒) 初期値： [30] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [POP BEFORE SMTP] - [POP3 タイムアウト]
[SMTP 認証]	SMTP 認証を行う場合は、[有効] を選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP 認証] - [無効 / 有効]
[ユーザー認証名]	SMTP 認証のユーザー ID を入力します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP 認証] - [SMTP ユーザー名]
[パスワード]	SMTP 認証のパスワードを入力します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： (空白) 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [メール設定] - [SMTP 認証] - [SMTP パスワード]
[領域]	認証方式が [Digest-MD5] の場合に設定が必要になります。SMTP 認証のドメイン名 (realm) を入力します。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値： (空白)

[SMB]

[SMB 送信]

[ネットワーク] - [SMB] - [SMB 送信] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[送信]	SMB 送信機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SMB 宛先]
[NTLM 設定]	NTLM のバージョンを設定します。 設定値：[v1]、[v2]、[v1/v2] 初期値：[v1]
[ユーザー認証]	NTLM のユーザー認証を行うかどうかを選択します。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オン]
[DFS]	分散ファイルシステム（DFS）を用いて構築された環境で SMB 送信を行う場合は、[有効] を選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

[Direct Hosting 設定]


[ネットワーク] - [SMB] - [Direct Hosting 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[Direct Hosting]	IPv6 アドレスで通信する場合は、[有効] を選択します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[有効]

[SSL/TLS]

[SSL/TLS 情報]

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [SSL/TLS 情報] 画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

 SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。[設定] ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[設定] ボタン	SSL/TLS 設定画面が表示されます。

[SSL/TLS 設定]（証明書がインストールされていない場合）

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [SSL/TLS 設定] 画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
[証明書の自己作成]	証明書を自己作成します。
[証明書の要求]	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
[証明書のインストール]	認証局が発行した証明書をインストールします。
[次へ] ボタン	選択した画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


[SSL/TLS 設定]（証明書がインストールされている場合）


[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [SSL/TLS 設定] 画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
[SSL/TLS 暗号化強度の設定]	暗号化の強度を設定できます。
[証明書の破棄]	証明書を破棄できます。
[SSL/TLS で通信するモード]	SSL/TLS を有効にするかどうかを設定します。
[次へ] ボタン	選択した画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

【自己作成証明書の設定】


[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [自己作成証明書の設定] 画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[Common Name]	SSL 証明書の作成に使用する、本機のコモンネームが表示されます。コモンネームは [本機のホスト名 .DNS サーバー名] で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、コモンネームには本機のホスト名のみが使用されます。  この文字列は変更できません。
[Organization]	組織名または団体名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Organization Unit]	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Locality]	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[State/Province]	州名または県名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[Country]	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲： 半角 2 文字 初期値： (空白)
[Email Address]	電子メールのアドレスを指定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[有効期間開始日]	現在時刻が表示されます。
[有効期間]	有効期間を設定します。 範囲： [1] - [3650] (日) 初期値： [1]

項目	説明
[暗号化の強度]	<p>暗号の強度を選択します。</p> <p>設定値：</p> <ul style="list-style-type: none"> － [AES_256bits] － [AES_256bits, 3DES_168bits] － [AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits] － [AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits, RC4_40bits] <p>初期値：[AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits, RC4_40bits]</p>
[作成] ボタン	<p>自己証明書を作成します。</p> <p> 証明書を作成するために数分かかります。自己作成証明書が作成された後、以下のメッセージが表示されたときは、[ブロックされたコンテンツを表示] をクリックして、操作を続けてください。</p> <p>「セキュリティ保護のため、セキュリティ証明書にエラーのあるコンテンツの表示が Internet Explorer によりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください ...」</p>
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

【証明書の要求】

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [証明書の要求] 画面では、以下の項目が設定できます。

項目	説明
[Common Name]	<p>SSL 証明書の作成に使用する、本機の共通名が表示されます。共通名は [本機のホスト名 .DNS サーバー名] で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、共通名には本機のホスト名のみが使用されます。</p> <p> この文字列は変更できません。</p>
[Organization]	<p>組織名または団体名を設定します。</p> <p>範囲： 半角 63 文字以下</p> <p>初期値：(空白)</p>

項目	説明
[Organization Unit]	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：(空白)
[Locality]	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：(空白)
[State/Province]	州名または県名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：(空白)
[Country]	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲： 半角 2 文字 初期値：(空白)
[Email Address]	電子メールのアドレスを指定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値：(空白)
[次へ] ボタン	証明書発行のための要求データを作成します。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

【証明書の要求】

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [証明書の要求] 画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。


項目	説明
[証明書の要求]	認証機関に提出するためのデータを表示します。 このデータは証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）と呼ばれ、ユーザーから認証機関に提出されることになります。
[保存] ボタン	証明書発行要求用データを、名前を付けて保存します。
[OK] ボタン	SSL/TLS 情報画面に戻ります。

【証明書のインストール】

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [証明書のインストール] 画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
[証明書のインストール]	署名済みの証明書署名要求 (CSR、Certificate Signing Request) をこのテキストエリアに貼り付けます。
[次へ] ボタン	暗号化の強度の設定画面が表示されます。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


【暗号化の強度の設定】

 この画面は、証明書がインストールされている場合に表示されます。

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [暗号化の強度の設定] 画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
[暗号化の強度]	暗号の強度を設定します。 設定値： - [AES_256bits] - [AES_256bits, 3DES_168bits] - [AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits] - [AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits, RC4_40bits] 初期値：[AES_256bits, 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits, RC4_40bits]
[作成] ボタン	暗号化の強度を設定します。[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [証明書のインストール] 画面から移動してきた場合には、証明書をインストールします。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


【証明書の破棄】

 この画面は、証明書がインストールされている場合に表示されます。

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [証明書の破棄] 画面では、インストールされている証明書を破棄することができます。

項目	説明
[OK] ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で [OK] ボタンをクリックすると、証明書が破棄されます。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

[SSL/TLS で通信するモード]


 この画面は、証明書がインストールされている場合に表示されます。

[ネットワーク] - [SSL/TLS] - [SSL/TLS で通信するモード] 画面では、SSL で通信するモードを設定できます。

項目	説明
[SSL/TLS で通信するモード]	SSL/TLS を有効にするかどうかを設定します。 設定値：[無効]、[有効] 初期値：[無効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

[認証]

[ユーザー認証]

 この画面は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ、表示されます。

[ネットワーク] - [認証] - [ユーザー認証] 画面では、以下の項目を設定できます。

💡 ユーザー認証画面で、[ユーザー認証] を [オン] に、[パブリック許可] を [制限] に設定した場合、認証設定可能なホスト（Windows 用プリンタードライバー）以外からの印刷はできなくなります。また、リソース（フォント、カラープロファイル、フォーム）のダウンロード、ファームウェアのアップデートも行うことができなくなります。

項目	説明
[ユーザー認証]	ユーザー認証を行うかどうかを設定します。 設定値：[オン]、[オフ] 初期値：[オフ]
[パブリック許可]	ユーザー認証有効時に、パブリックユーザーのログインを許可するかどうかを設定します。 設定値：[許可]、[制限] 初期値：[許可]


【オートログアウト】




[ネットワーク] - [認証] - [オートログアウト] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[管理者モードログアウト時間]	管理者モードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： [1] - [60]（分） 初期値： [10]
[ユーザーモードログアウト時間]	ユーザーモードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： [1] - [60]（分） 初期値： [60]

[IEEE802.1x]

[ネットワーク] - [認証] - [IEEE802.1x] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[IEEE802.1x]	IEEE802.1x を使用するかどうかを設定します。 設定値：[有効]、[無効] 初期値：[無効] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [IEEE802.1x]
[EAP タイプ]	IEEE802.1x で使用する認証方式を指定します。 設定値：[なし]、[EAP-MD5]、[EAP-TLS]、 [EAP-TTLS]、[PEAP]、[サーバーの規格 に従う] 初期値：[なし]
[ユーザー ID]	EAP タイプを [EAP-MD5]、[EAP-TLS]、 [EAP-TTLS]、[PEAP] または [サーバーの規格に 従う] に設定した場合、ユーザー ID を設定しま す。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：(空白)
[パスワード]	EAP タイプを [EAP-MD5]、[EAP-TTLS]、[PEAP] または [サーバーの規格に従う] に設定した場合、 パスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：(空白)
[TTLS 匿名]	EAP-TTLS の認証で使用するログイン名を設定しま す。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [サーバ ーの規格に従う] に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値：[anonymous]  EAP タイプが [サーバーの規格に従う] で実際 の認証方式が EAP-MD5 の場合、ユーザー ID と 同じ値を入力してください。
[TTLS 認証タイプ]	EAP-TTLS の phase2 認証手順を指定します。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [サーバーの規格に 従う] に設定した場合に設定します。 設定値：[PAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2] 初期値：[MS-CHAPv2]

項目	説明
[サーバー証明書検証]	<p>サーバー証明書の検証を行うときに、どの項目を確認するか選択します。EAP タイプを [EAP-TLS]、[EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。</p> <p>設定値：[有効期間]、[CA チェイン]、[サーバー ID]</p> <p> 複数の項目を選択できます。</p> <p>初期値：[有効期間]</p>
[クライアント証明書送信]	<p>サーバーからクライアント証明書を要求された場合に、クライアント証明書を送付するかどうかを設定します。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。</p> <p>設定値：[有効]、[無効]</p> <p>初期値：[無効]</p>
[クライアント証明書]	<p>クライアント証明書がインストールされているかどうかが表示されます。</p> <p> 証明書のインストールは [ネットワーク] - [SSL/TLS] 画面で行います。</p>
[CA 証明書]	<p>サーバー証明書の CA 信頼性検証に使用される CA 証明書がインストールされているかどうかが表示されます。</p> <p> 証明書のインストールは [ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] 画面で行います。</p>
[サーバー ID]	<p>サーバー証明書の CN アトリビュート値と後方一致で検証させるための文字列を設定します。EAP タイプを [EAP-TLS]、[EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。</p> <p>範囲： 半角 64 文字以下</p> <p>初期値：(空白)</p>

項目	説明
[暗号化の強度]	EAP-TLS/TTLS/PEAP での TLS パケットの暗号化強度を設定します。 EAP タイプを [EAP-TLS]、[EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。 設定値：[下部]、[中間]、[上部] 初期値：[下部]
[ネットワーク停止までの時間]	認証が成功しない場合の、認証開始からネットワーク停止までの猶予時間を設定します。 範囲： [0]、[60] - [255] (秒) 初期値： [0]

【CA 証明書】

【CA 証明書情報】

[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書情報] 画面では、CA 証明書の情報を確認することができます。

💡 初期状態では、CA 証明書はインストールされていません。証明書をインストールする場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。

項目	説明
[設定] ボタン	CA 証明書設定画面が表示されます。

【CA 証明書設定】（証明書がインストールされていない場合）

[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[証明書のインストール]	認証局で発行された証明書をインストールします。
[次へ] ボタン	選択した設定画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	証明書情報画面に戻ります。

【CA 証明書設定】（証明書がインストールされている場合）

[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[証明書の破棄]	認証局で発行された証明書を破棄します。
[次へ] ボタン	選択した設定画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	証明書情報画面に戻ります。

【証明書のインストール】

[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [証明書のインストール] 画面では、認証局で発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
[証明書のインストール]	認証局から送付されてきたテキスト形式の CSR（証明書署名要求）をこのテキストエリアに貼り付けてインストールします。
[次へ] ボタン	クリックすると、[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [証明書のインストール] 画面を表示します。
[戻る] ボタン	クリックすると、[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書設定] 画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	クリックすると、入力した内容を破棄して、[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書情報] 画面に戻ります。

【証明書の破棄】

[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [証明書の破棄] 画面では、インストールされた証明書を破棄することができます。

項目	説明
[OK] ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で [OK] をクリックすると、証明書が破棄されます。
[戻る] ボタン	クリックすると、[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書設定] 画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	クリックすると、[ネットワーク] - [認証] - [CA 証明書] - [CA 証明書情報] 画面に戻ります。